

[第 4 回]

第二次いわき市都市計画マスタープラン等策定委員会

2 報告事項

- (1) 第 3 回第二次都市計画マスタープラン等策定委員会以降の取り組みについて

平成31年 3月26日（火）市役所本庁舎 第 8 会議室
いわき市都市建設部都市計画課



1. 策定に向けたこれまでの取り組み状況	・・・P2
2. 第3回策定委員会以降の取り組みの概要	・・・P4
3. 若い世代とのワークショップ	
(1) ワークショップの概要	・・・P7
(2) ワークショップでの主な意見（いわき明星大学教養学部）	・・・P8
(3) ワークショップでの主な意見（東日本国際大学経済経営学部）	・・・P12
(4) ワークショップでの主な意見（いわき明星大学看護学部）	・・・P18
(5) ワークショップでの主な意見（いわき明星大学薬学部）	・・・P20
4. 若い世代を対象としたアンケート調査	
(1) アンケート調査の概要	・・・P26
(2) アンケート調査の結果	・・・P27
5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等	
(1) ワークショップ等の概要	・・・P46
(2) 講演会での主な意見（いわき商工会議所地域振興委員会及びいわき政策塾）	・・・P47
(3) ワークショップでの主な意見（小名浜まちづくり市民会議）	・・・P48
(4) ワークショップでの主な意見（内郷まちづくり市民会議）	・・・P54
(5) ワークショップでの主な意見（勿来ひと・まち未来会議）	・・・P60
(6) ワークショップでの主な意見（四倉ふれあい市民会議）	・・・P64
(7) 各支所等で実施したポスター掲示の概要	・・・P70
(8) イオンモールいわき小名浜で実施したポスターセッションの概要	・・・P70
6. 各地区まちづくり団体等を対象としたアンケート調査	
(1) アンケート調査の概要	・・・P71
(2) アンケート調査の結果	・・・P72

1. 策定に向けたこれまでの取り組み状況

↓平成29年度（2017年度）

[7月] 第1回庁内連絡会議において関係各課等からの意見照会を実施

[8月] 策定委員会の設置、第1回会議の開催

[9月] 両計画の策定について市都市計画審議会への報告

[9月～]民間団体へのヒアリングの実施

➡14団体へのヒアリング

[10月] 市民アンケートの実施

➡市内男女2,000人

金融機関をはじめとした民間企業へのヒアリングの実施

➡日本銀行福島支店、日本政策投資銀行など5企業

[11月] 策定委員会アドバイザーとの意見交換（事務局）

[12月] 若い世代の意見を反映するためのワークショップを開催

➡福島工業高等専門学校都市システム工学科5年生への講義

ワークショップ形式により、テーマを定め各グループ毎に討論し発表

[1月] 第2回庁内連絡会議の開催において関係各課等からの意見照会を実施

[2月] 第2回策定委員会の開催

➡全体構想、まちづくりの方針（ターゲット）等の検討

[3月] 策定委員会の検討結果を市都市計画審議会へ報告



※第1回策定委員会



※高専学生とのワークショップ



※第2回庁内連絡会議



※第2回策定委員会

1. 策定に向けたこれまでの取り組み状況



↓平成30年度（2018年度）

[5～6月] 住民懇談会及びポスター掲示の実施

[7月] 策定委員会アドバイザー及び国交省との意見交換（事務局）

[7月] 第3回庁内連絡会議の開催

[8月] 第3回策定委員会の開催

→部門別・地域別構想、誘導方針等の検討

[9月] 策定委員会の検討結果を市都市計画審議会へ報告

～ 両計画素案（たたき台）の作成
立地適正化計画キャラバン（国土交通省都市局によるコンサルティング）
各支所等での意見募集及びポスターセッションの実施

→支所等15ヶ所での掲示、イオンモールいわき小名浜でのセッション

若い世代とのワークショップの実施

→いわき明星大学（地域教養学科、看護学科、薬学科）

東日本国際大学（経済経営学部）の学生 計：約120名

各地区まちづくり団地等のワークショップ等の実施

→いわき商工会議所地域振興委員会及びいわき政策塾、

各地区まちづくり計画協定締結団体（小名浜、内郷、南部、四倉）

[12月] 第4回庁内連絡会議の開催

→素案の検討、誘導施策の検討

[1月～2月] 庁内意見照会の実施



※ポスター掲示



※住民懇談会



※立地適正化計画キャラバン



※ポスターセッション
（イオンモールいわき小名浜）



※いわき明星大学学生との
ワークショップ

2. 第3回策定委員会以降の取り組みの概要



○ 立地適正化計画キャラバンの実施（国土交通省都市局都市計画課によるコンサルティング）

都市局からの主な意見

【人口密度の維持について】

- 現時点で居住誘導区域内の将来人口密度が30人/haを下回ることを踏まえたうえで、現在の41人/haを維持しようと考えているが、実現可能な目標であるのか。

【都市農地について】

- いわき市は、都市農地（市街化区域内の農地）が全国的に見ても多い（約680haで全国7位）都市となっている。国は、都市農地が容易に宅地に変換されてしまうことについて、土地利用の観点において不安定であると捉えているが、市は立地適正化計画にどのように位置づけていくのか。



市の対応方針

【人口密度の維持について】

- 人口密度の維持については、意見のとおり困難を極めるという認識をもちながらも、市内経済界からの意見を踏まえ、市が取り組むべき目標として、当初設定値のとおり41人/haとする。

【都市農地について】

- 立地適正化計画では、誘導施策の部分において、生産緑地地区や田園住居地域の指定など、将来的な都市農地のあり方の検討について記載する。

2. 第3回策定委員会以降の取り組みの概要



○ 若い世代とのワークショップ、アンケート調査

・ ワークショップの概要

若い世代とのワークショップは、平成30年11月中旬から概ね1ヶ月の期間において、計4回実施した。対象は、「立地適正化計画」において**主なターゲット**としている、**本市の将来を担う若い世代の東日本国際大学及びいわき明星大学3学部（教養、看護、薬学）の学生**とした。

・ ワークショップの目的

本ワークショップの**目的**は、若い世代との意見交換等を実施し、**若い世代が考える都市の課題や、その解決を図るための施策、本市に求める都市機能などを把握しながら、それらの意見を主に「立地適正化計画」へ反映するもの。**

・ ワークショップの結果及び意見反映の方針

分類	主な意見	計画への反映方針
ひと	● 子育てしやすい環境を整備するべき	● 医療・福祉施設の立地誘導について記載（立地適正化計画）
まち	● 電車の本数を多くして欲しい	● 公共交通の活性化を部門別構想、居住誘導区域内の施策へ反映（都市計画マスタープラン、立地適正化計画）
	● いわき駅以外の各駅周辺の活性化が必要	● 都市機能誘導区域の設定に反映（立地適正化計画）
	● 若い世代向けの娯楽施設が欲しい	● 娯楽施設の立地誘導について記載（立地適正化計画）
しごと	● IT企業を誘致が必要	● 業務施設等の立地誘導について記載（立地適正化計画）

2. 第3回策定委員会以降の取り組みの概要



○ 各まちづくり団体とのワークショップ等、アンケート調査

・ ワorkshop等の概要

- **各まちづくり団体とのワークショップ**は、平成30年9月下旬から現在にかけて計5回実施した。また、対象は各地区まちづくり※協定締結5団体とし、平地区においては講演会形式で行った。いずれも意見交換後にアンケート調査を実施。※協定締結5団体（内郷、小名浜、勿来、四倉、常磐）
- **ポスター掲示及びアンケート募集**は、都市計画課窓口をはじめ、市内各12支所、中央台及び泉市民サービスセンターの計15会場で実施。
- **ポスターセッション**は、多くの市民が集積する「イオンモール小名浜」で、職員の説明を交えながらアンケートを1日間実施。

・ ワorkshop等の目的

ワークショップ等の**目的**は、主に各地区の市街地の課題や将来の展望などについて、意見交換を行い**地区の意向などを把握**するとともに、あわせて広く意見を募り、それらの意見を「**第二次都市計画マスタープラン**」、「**立地適正化計画**」に反映させながら、**今後の都市（市街地）の再生を図るもの**。

・ ワorkshop等の結果及び意見反映の方針

分類	主な意見	計画への反映方針
ひと	● 市外の方の移住促進に力を入れるべき	● 財政支援を含め居住誘導区域内の施策へ反映（立地適正化計画）
	● 学校教育に係る施設や設備の更新、整備に力を注ぐべき	● 都市機能誘導区域内の施策へ反映（立地適正化計画）
まち	● 土地区画整理事業などで整備された土地は誘導区域にいれるべき	● 居住誘導区域の設定に反映（立地適正化計画）
	● 中山間地域における生活・交通インフラの整備	● 部門別、地域別構想に反映（都市計画マスタープラン）
しごと	● 各駅周辺の無秩序な空き地などを利活用、改善することで、より生活しやすくなると感じる	● 部門別構想、都市機能誘導区域内の施策へ反映（都市計画マスタープラン、立地適正化計画）
	● 起業による新たなビジネス創出の支援に取り組むべき	● 都市機能誘導区域内の施策へ反映（立地適正化計画）
	● 総合電機メーカーや大手自動車会社等の誘致を進めるべき	● 業務施設等の立地誘導について記載（立地適正化計画）

3. 若い世代とのワークショップ



(1) ワークショップの概要

本ワークショップは、「立地適正化計画」において主なターゲットとしている、本市の将来を担う若い世代との意見交換等を実施し、意見等を当該計画に反映することを目的に、いわき明星大学学生及び東日本国際大学の学生と実施した。

【参考：過去に実施した若い世代とのワークショップ（第2回庁内連絡会議資料編にて配布）】

- 開催日：平成29年12月18日（月）
- 対象：福島工業高等専門学校 都市システム工学科 5年生
- 参加者：41人



福島高専でのワークショップの様子

【今回実施した若い世代とのワークショップ（全4回）】

第1回

- 開催日：平成30年11月13日（火）
- 対象：いわき明星大学 教養学部 地域教養学科 3年生
- 参加者：17人

第2回

- 開催日：平成30年11月14日（水）
- 対象：東日本国際大学 経済経営学部 1年生
- 参加者：31人

第3回

- 開催日：平成30年12月13日（木）
- 対象：いわき明星大学 看護学部 看護学科 2年生
- 参加者：10人

第4回

- 開催日：平成30年12月18日（火）
- 対象：いわき明星大学 薬学部 薬学科 2年生
- 参加者：63人

●ワークショッププログラム

step 1 解決を図る都市づくりの課題を選択しよう(3分)

- 「①若い世代の流出抑制」
- 「②過度に車に頼らない日常生活の確保」
- 「③第二次・三次産業の活性化」

step 2 選択した都市づくりの課題を解決するため、「どういった都市機能を」、「どこ の拠点に配置し」、「どのような取り組み」を行えば、選択した課題を解決できるか検討しよう！(35分)

Step 3 発表を準備を行い、発表しよう！ (発表準備：10分、発表：2分/班、質疑応答：1分)



いわき明星大学でのワークショップの様子



東日本国際大学でのワークショップの様子

3. 若い世代とのワークショップ

(2) ワークショップでの主な意見 (いわき明星大学教養学部)

(1班)

選択した課題：①若い世代の流出抑制

②過度に車に頼らない日常生活の確保

【課題解決のため市内に配置してほしい施設など】

(平地区)

- 大企業
- 建築専門学校（奨学金助成）
- 音楽ホール
- ROUND 1

(植田地区)

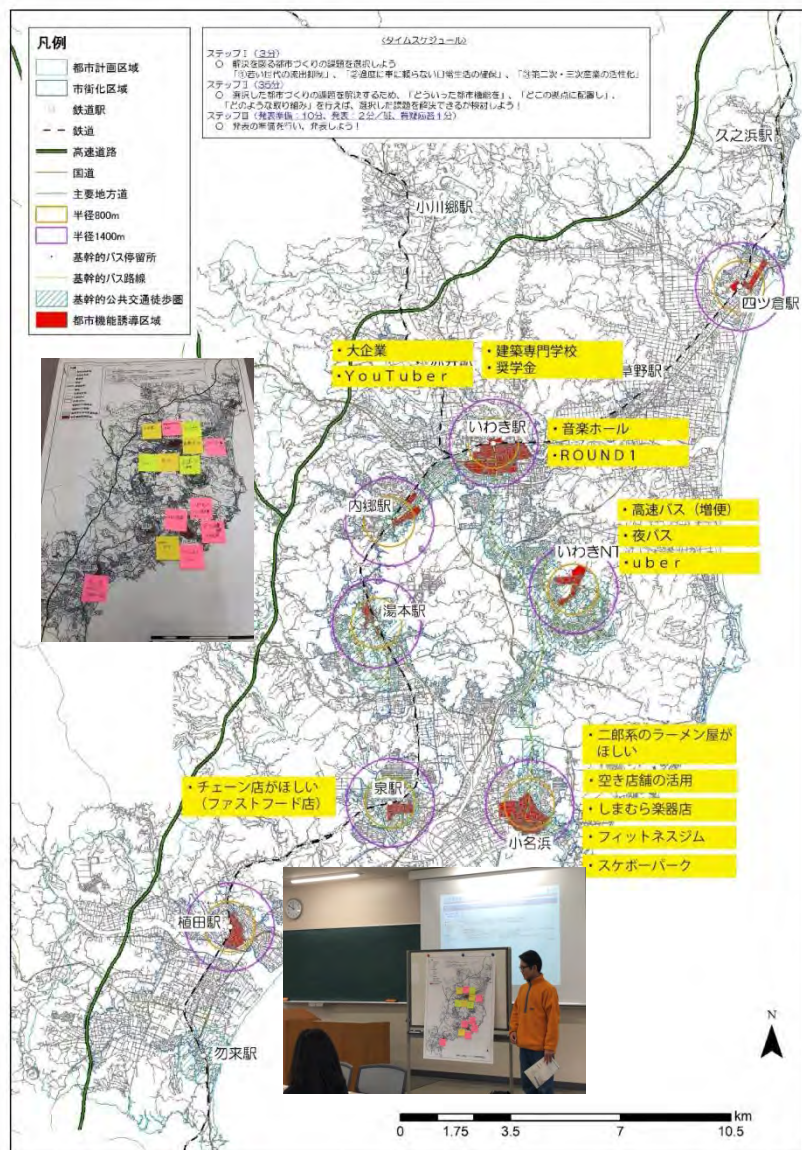
- チェーン店がほしい
(ファストフード店)

(小名浜地区)

- 二郎系のラーメン店
- 空き店舗を活用したコンテンツ
- しまむら楽器店
- フィットネスジム
- スケボーパーク

(交通)

- 高速バスを増便する
- 夜バスを運行させる
- Uberの導入



3. 若い世代とのワークショップ

(2) ワークショップでの主な意見（いわき明星大学教養学部）

選択した課題：①若い世代の流出抑制

②過度に車に頼らない日常生活の確保

③第二次・三次産業の活性化

(2班)

【課題（問題点）】

【①若い世代の流出】

- 学んだものを地元で活かせない
- 専門学校はあるが、その先がない
- 建築系の学科がない
- 外資系の会社でないと給料が高くない
- 地元にある仕事に魅力を感じない
- 働き場所がない/給料が少ない
- 共働きの世帯が少ない
(女性が就職しててもパート)

【②過度に車に頼らない日常生活の確保】

- イノシシが出ると電車が止まる
- 磐越東線の本数の少なさ/終電早すぎ問題
- いわき駅と他の駅の差がある
- 小名浜へのアクセスが悪い/バスの時間が早い

【③第二次・三次産業の活性化】

- 有名ブランドが全体的に無いor少ない
- 飲み屋の集中化（田町や白銀）
- 夜と昼の人口滞在差（年齢・性別）
- 駅ビルの中が魅力的でない
- 駅周辺に若者向けの施設や店がない
- 外に出て飲みにいけるけど、チェーン店が駅前しかない
- 温泉街の静けさ（楽しみがない）

【解決を図るための施策など】

- 女将になれる体験の実施（湯本温泉）
- 子供が多い地域における教育機関の強化と補助



3. 若い世代とのワークショップ

(2) ワークショップでの主な意見 (いわき明星大学教養学部)

(3班)

選択した課題：①若い世代の流出抑制

②過度に車に頼らない日常生活の確保

【課題（問題点）】

【①若い世代の流出抑制】

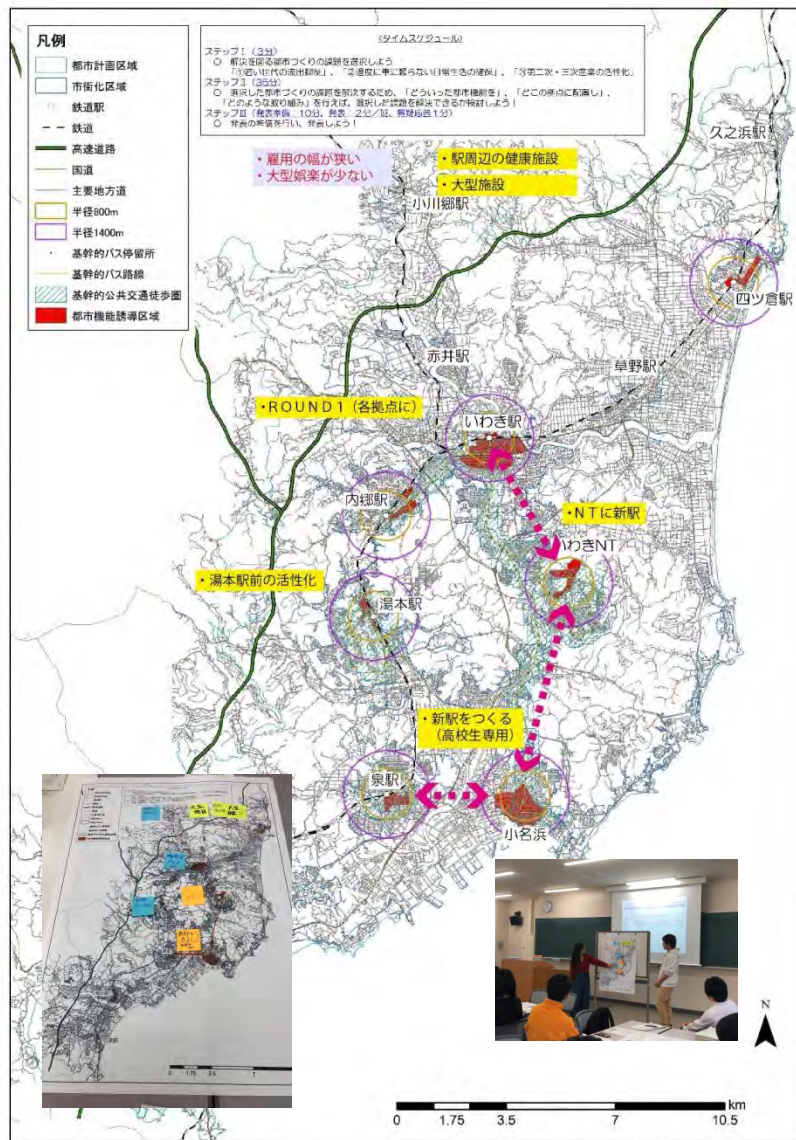
- 雇用場が少ない
- 大型娯楽施設が少ない

【②過度に車に頼らない日常生活の確保】

- 各地区が公共交通（鉄道）で結ばれていない
(泉 ⇄ 小名浜 ⇄ いわきNT ⇄ いわき駅など)

【解決を図るための施策など】

- ROUND 1を各拠点に誘致する
- 駅周辺に健康施設を整備する
- 大型施設を誘致する
- 湯本駅前の活性化を推進する
- いわきNTに新駅を整備する
- 小名浜に新駅を整備する（高校生専用）



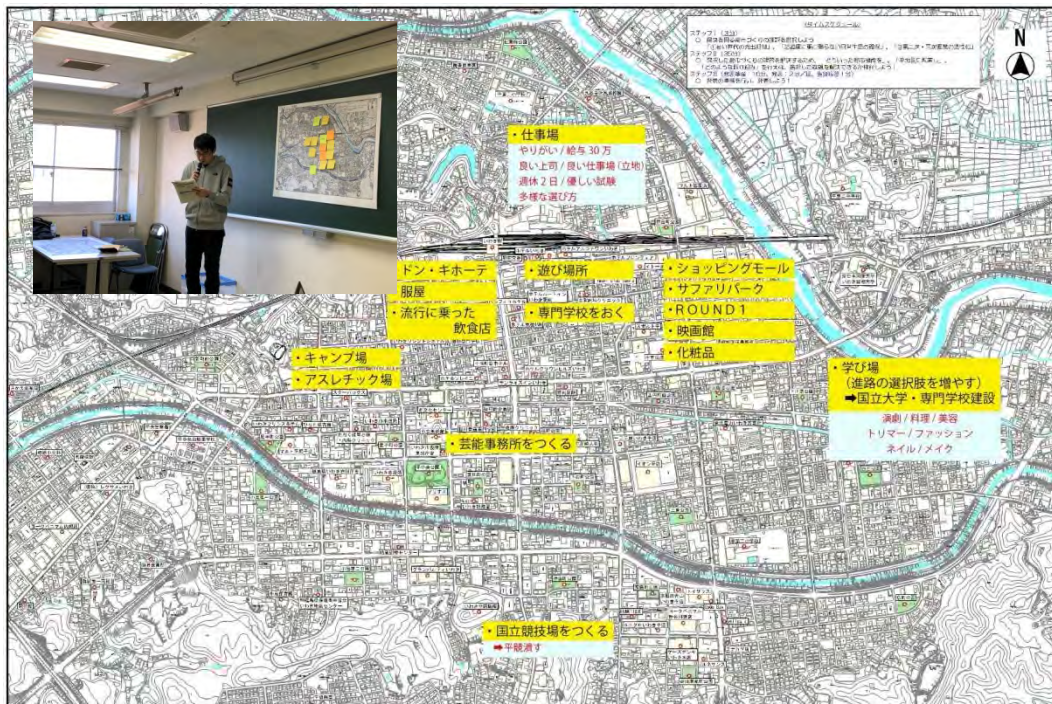
3. 若い世代とのワークショップ



(3) ワークショップでの主な意見 (東日本国際大学経済経営学部)

(A班)

選択した課題：①若い世代の流出抑制



【課題解決のため、平地区に配置してほしい施設など】

- ドン・キホーテ
- 服屋
- 流行に乗った飲食店
- ショッピングモール
- ROUND 1
- 映画館
- 化粧品
- 芸能事務所
- 国立競技場
- キャンプ場
- アスレチック場
- サファリパーク

⇒いわき平競輪場を潰す

進路の選択肢を増やす

(国立大学・専門学校の建設)

- 演劇
- 料理
- ファッション
- ネイル
- メイク
- 美容
- トリマー
- ファッション

職場環境の向上

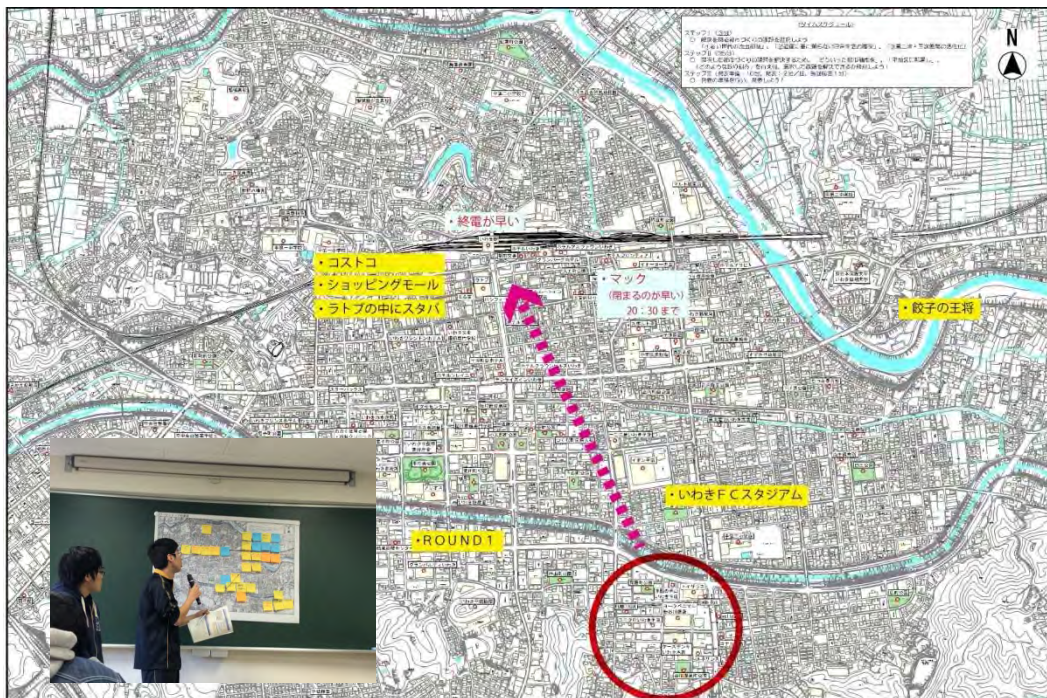
- 多様な仕事の選び方
- 週休2日制
- 給与30万円
- 優しい入社試験
- やりがいの向上

3. 若い世代とのワークショップ

(3) ワークショップでの主な意見 (東日本国際大学経済経営学部)

(B班)

選択した課題：①若い世代の流出抑制



【課題解決のため、平地区に配置してほしい施設など】

- コストコ
- ショッピングモール
- スターバックス (ラトブ内に)
- 谷川瀬のようなヨークベニマル
- ROUND 1
- 餃子の王将
- いわき F C スタジアム

施設利用時間の改善

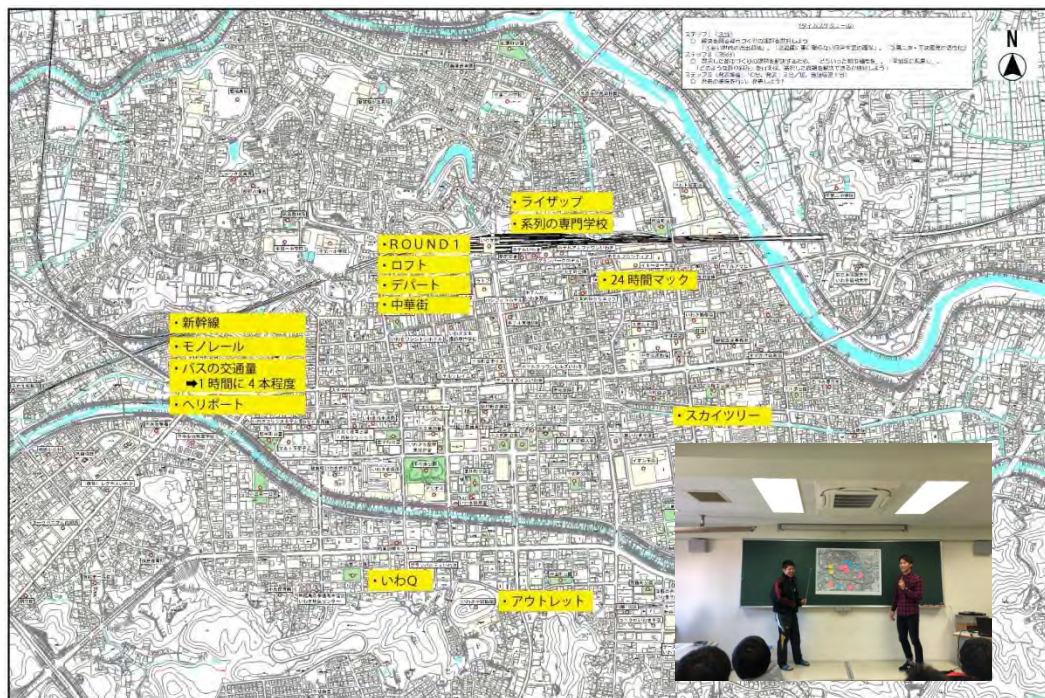
- 終電時間の延長
- マクドナルドなどファストフード店の閉店時間を延長 (現在は20時30分で閉店)

3. 若い世代とのワークショップ

(3) ワークショップでの主な意見 (東日本国際大学経済経営学部)

(C班)

選択した課題：①若い世代の流出抑制 ②過度に車に頼らない日常生活の確保



【課題解決のため、平地区に配置してほしい施設など】

- ロフト
- デパート
- 中華街
- ライザップ系列の専門学校
- 24時間マック
- アウトレット
- スカイツリー
- いわQ
- ROUND1

公共交通等の抜本的な改革

- 新幹線誘致
- バスの増便（1時間に4本程度）
- モノレール整備
- ヘリポート整備

3. 若い世代とのワークショップ

(3) ワークショップでの主な意見 (東日本国際大学経済経営学部)

(D班)

選択した課題：①若い世代の流出抑制 ②過度に車に頼らない日常生活の確保



都市環境等の改善

- 外灯が少ない
- 歩道が狭かったりデコボコして危ない
- 病院がある場所はたくさんあるが、無いところは遠い所にしかないのでもちなかに移動してほしい
- 小名浜へ抜ける道が少ない
- ドンキまでのアクセス確保

【課題解決のため、平地区に配置してほしい施設など】

- 電気屋
- びっくりドンキー
- 大型ショッピングモール
- ROUND 1
- 遊園地
- すき家
- スターバックス
- ドン・キホーテ
- 駅ビル内に魅力的な店舗
- 大きな公園、ランニングコース

店舗等の立地の拡充

- 服屋をもっと誘致
- スポーツショップを誘致

公共交通の見直し

- 電車やバスの本数を増やす
- 新駅を検討
- バス運賃の引き下げ
- 駅前の駐輪場を増やす
- バスを深夜12時まで運行
- 小名浜への鉄道開通

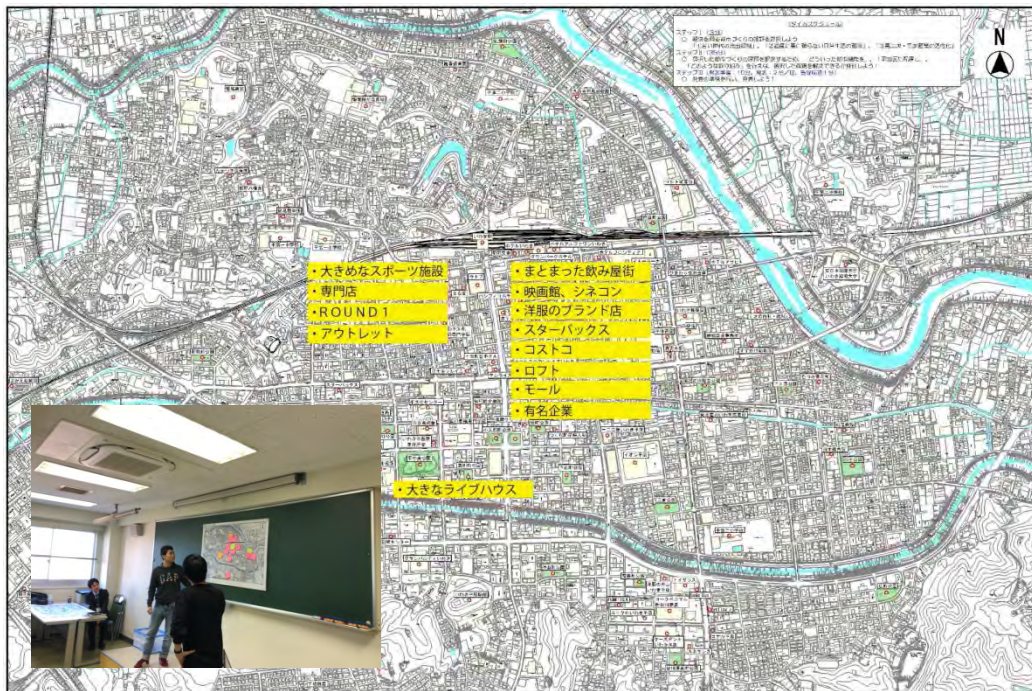
3. 若い世代とのワークショップ



(3) ワークショップでの主な意見 (東日本国際大学経済経営学部)

(E 班)

選択した課題：①若い世代の流出抑制



【課題解決のため、平地区に配置してほしい施設など】

- 大型スポーツ施設
- 専門店
- アウトレット
- まとまった飲み屋街
- ROUND 1
- 映画館、シネコン
- 洋服のブランド店
- スターバックス
- コストコ
- ロフト
- モール
- 大型ライブハウス
- 有名企業

3. 若い世代とのワークショップ

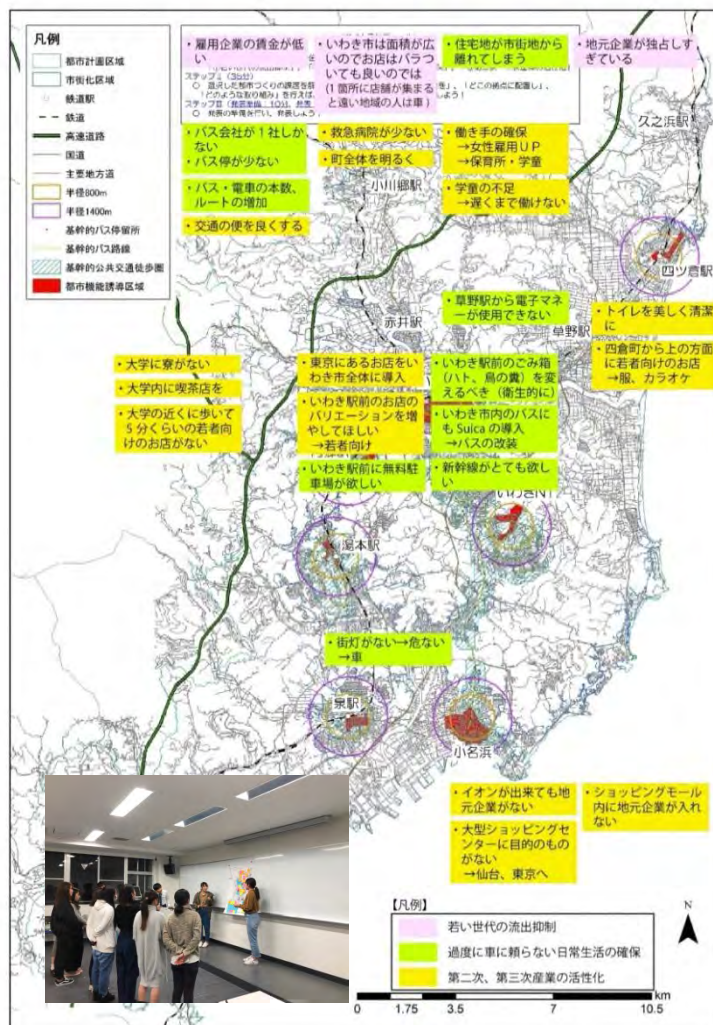
(4) ワークショップでの主な意見 (いわき明星大学看護学部)

選択した課題：①若い世代の流出抑制

②過度に車に頼らない日常生活の確保

③第二次・三次産業の活性化

(1班)



【解決を図るための取り組みなど】

①若い世代の流出抑制

- いわき市に有名な企業をつくる
- 子育てしやすい環境づくり
- 若者が好きなブランド店の誘致や駅ビルの改良
- 男女の交流を増やす(お見合いパーティー、デートスポットを増やす)

②過度に車に頼らない日常生活の確保

- 終電時間の延長と大人の利用促進を図る
- 交通系ICカード(suica)の利用推進
- まちなかなどで、貸出自転車の施策を検討
- 小名浜に駅をつくる

③第三次産業の活性化

- 高齢者と若い人の交流の場を増やす
- 高齢者施設と子どもの施設を併設させて、高齢者に面倒を見てもらう
- 高齢者が働ける場を増やす(食堂など)
- 高齢者による子育て支援、学童支援などの取り組みを検討する

【その他】

- 中央台は街灯整備とスーパーが必要
- 若者が選挙に興味を持てるようにしたい
- 小名浜にスーパー銭湯、イオンモール内では公民館で実施しているような各種教室を開く
- ラトブに女子高生が集まるようなお店がほしい(プリクラも増やす)
- いわきの特産物をもっとつくる
- 大きなフェスを開催
- 犬猫の殺処分を減らす交流が必要

3. 若い世代とのワークショップ

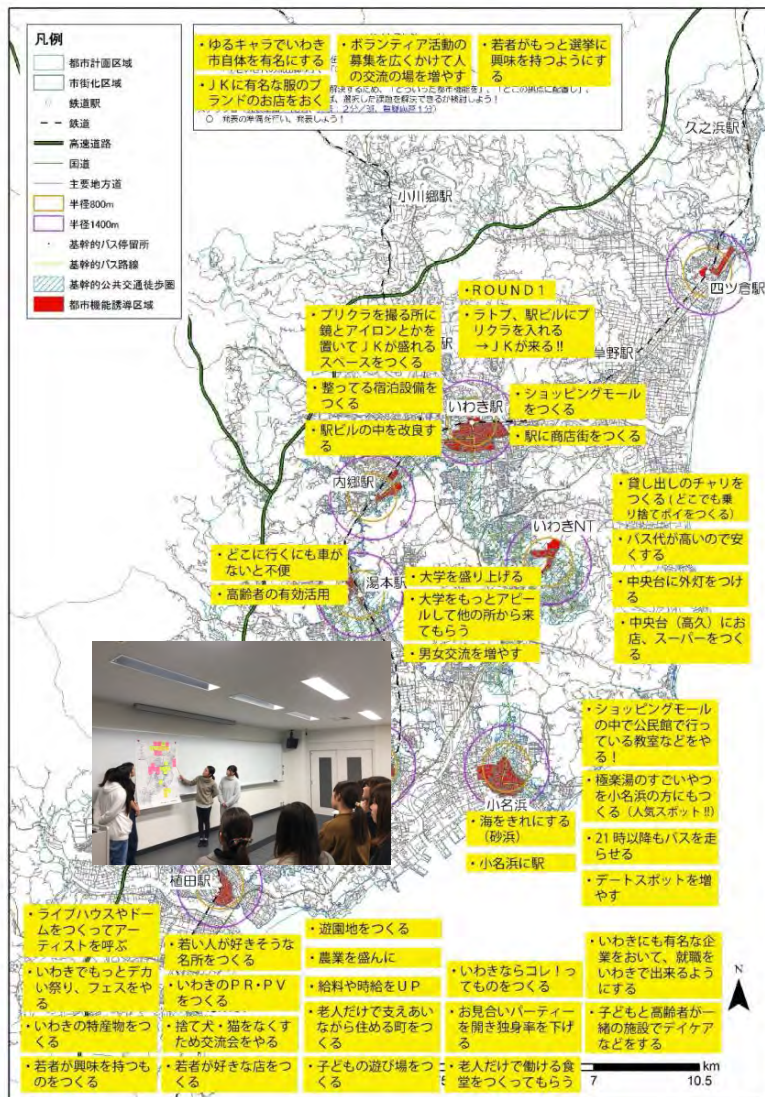
(4) ワークショップでの主な意見 (いわき明星大学看護学部)

(2班)

選択した課題：①若い世代の流出抑制

②過度に車に頼らない日常生活の確保

③第二次・三次産業の活性化



【解決を図るための取り組みなど】

【①若い世代の流出抑制】

- 賃金の改善
- 地元企業の独占環境を抑制し、大企業を誘致
- 大学の周りに魅力的な店を増やす(多くの人がいわきで学びたいと思える環境づくり)

【②過度に車に頼らない日常生活の確保】

- バスの運行本数を増やす
- バス会社が1社で独占の状態なので、他企業の参画など競争が必要
- バス路線の廃止が、高齢者の運転免許返納率が低い一つの要因であるため、路線廃止はよく検討するべき
- ICカード(suica)が使えない駅がある(草野駅など)ため、各駅の電子環境の改善が必要

【③第三次産業の活性化】

- 保育施設の不足(日曜保育・延長保育・施設不足)しており、三次産業の担い手である女性が働きに出られないことから、施設の拡充を検討
- あわせて学童施設も拡充する
- 地元のお店の活力を取り戻す施策を展開

【その他】

- 四倉から北には救急病院、若者向けのお店もないので不便を感じる
- いわき駅前に若者向けのお店をつくる
- お店のバリエーションを増やす
- 街を明るくしたい(街灯が少ない)

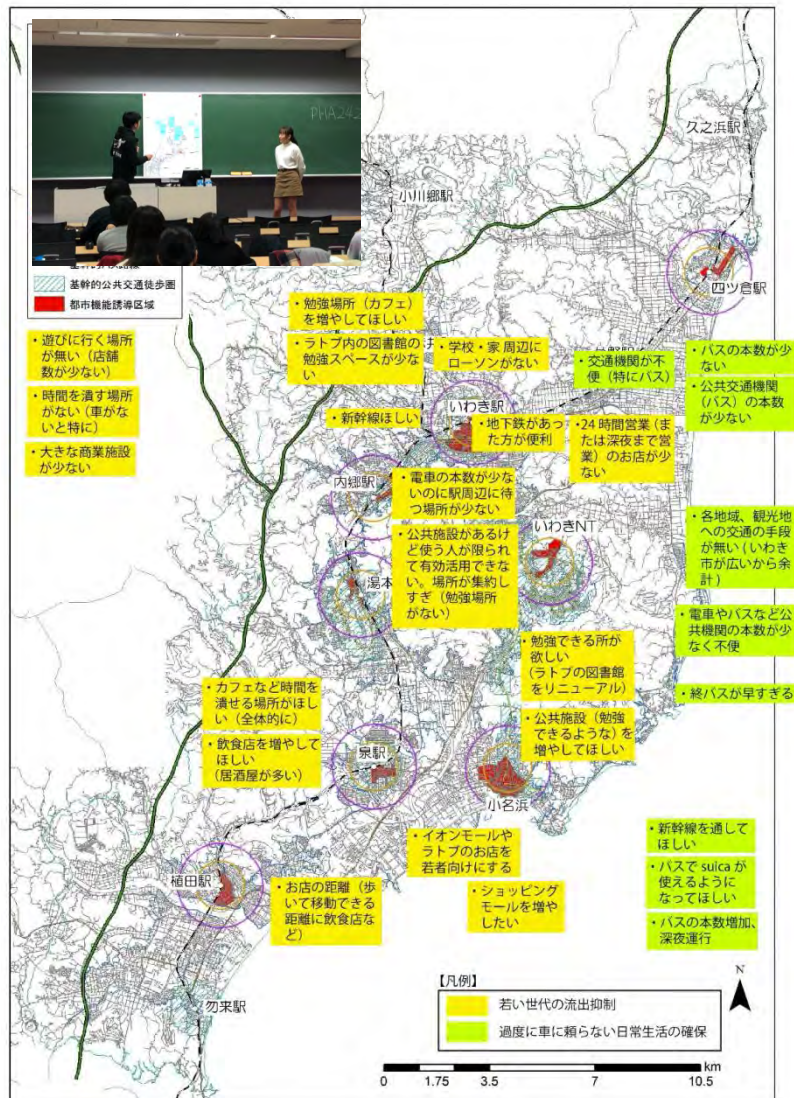
3. 若い世代とのワークショップ

(5) ワークショップでの主な意見 (いわき明星大学薬学部)

(1班)

選択した課題：①若い世代の流出抑制

②過度に車に頼らない日常生活の確保



【解決を図るための取り組みなど】

【①若い世代の流出抑制】

- 駅周辺に勉強スペースやカフェをつくる
- 娯楽施設などを市内の各拠点に整備する
- 大学周辺にも勉強できる空間をつくる
- ラトブ内は若者向けの店舗を増やす

【②過度に車に頼らない日常生活の確保】

- ICカードを使用できるようにする
- 新幹線の開通をめざす
- バス本数の増加、運行時間を延長する

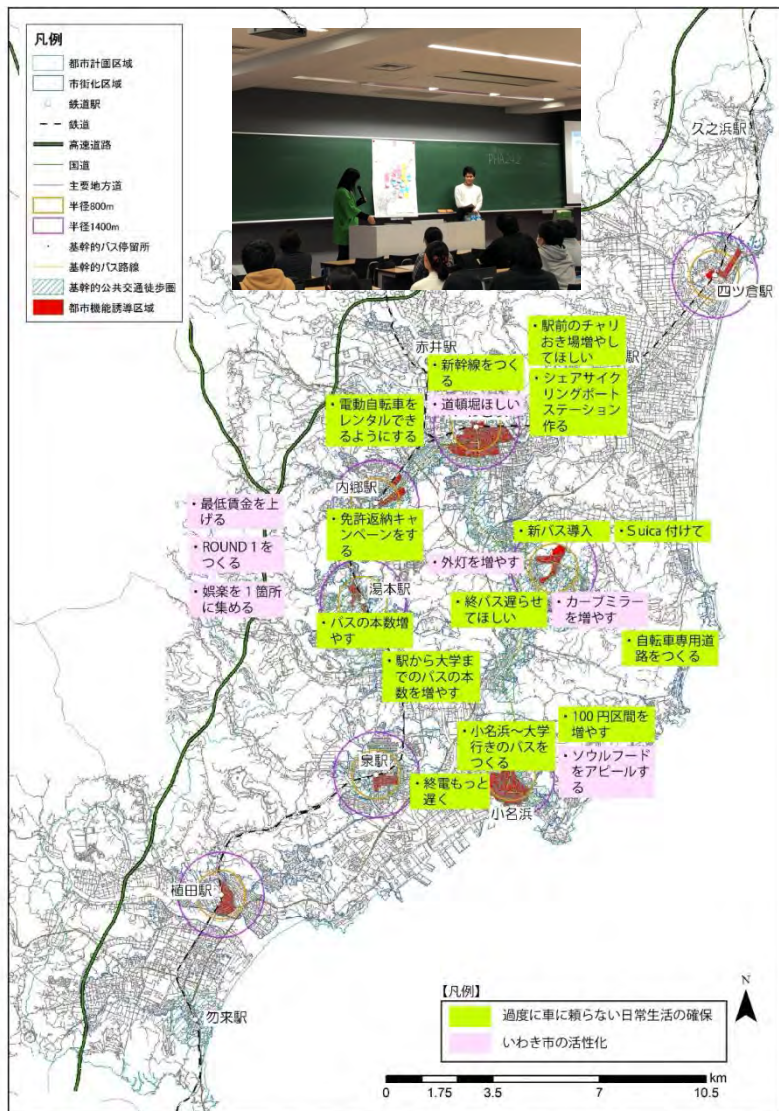
3. 若い世代とのワークショップ

(5) ワークショップでの主な意見（いわき明星大学薬学部）

選択した課題：①過度に車に頼らない日常生活の確保

(2班)

②いわき市をさらに活性化するために
はどうすれば良いか



【解決を図るための取り組みなど】

①過度に車に頼らない日常生活の確保

バス

- バスの本数を増やす（希望する路線は大学と駅間、小名浜地区）
- 終電、最終バスの時間を延長する
- Suicaを対応させる
- もっと人が乗れるように座席の工夫をする
- 商業施設までの区間など、特定区間の料金を安くする

自転車

- 電動自転車のレンタルを行う
- あわせてシェアサイクルポートステーションを作る
- 駅前の駐輪場台数を増やす
- 自転車専用道路をつくる

その他

- 車の生産自体を減らし、新たな交通を検討する
- 高齢者の事故が多くなっているため、運転免許返納キャンペーンなどの実施（返納の代わりにバスの定期券等を配布）
- 新幹線の開通（他都市との連携を充実させる）

②いわき市をさらに活性化するためにはどうすれば良いか

- 最低賃金を引き上げる
- いわき銘菓をさらにPRする
- ROUND 1のような娯楽施設をまちなかへ集中的に立地させる

3. 若い世代とのワークショップ

(5) ワークショップでの主な意見 (いわき明星大学薬学部)

選択した課題：①若い世代の流出抑制

(3班)

②過度に車に頼らない日常生活の確保

【解決を図るための取り組みなど】

【①若い世代の流出抑制】

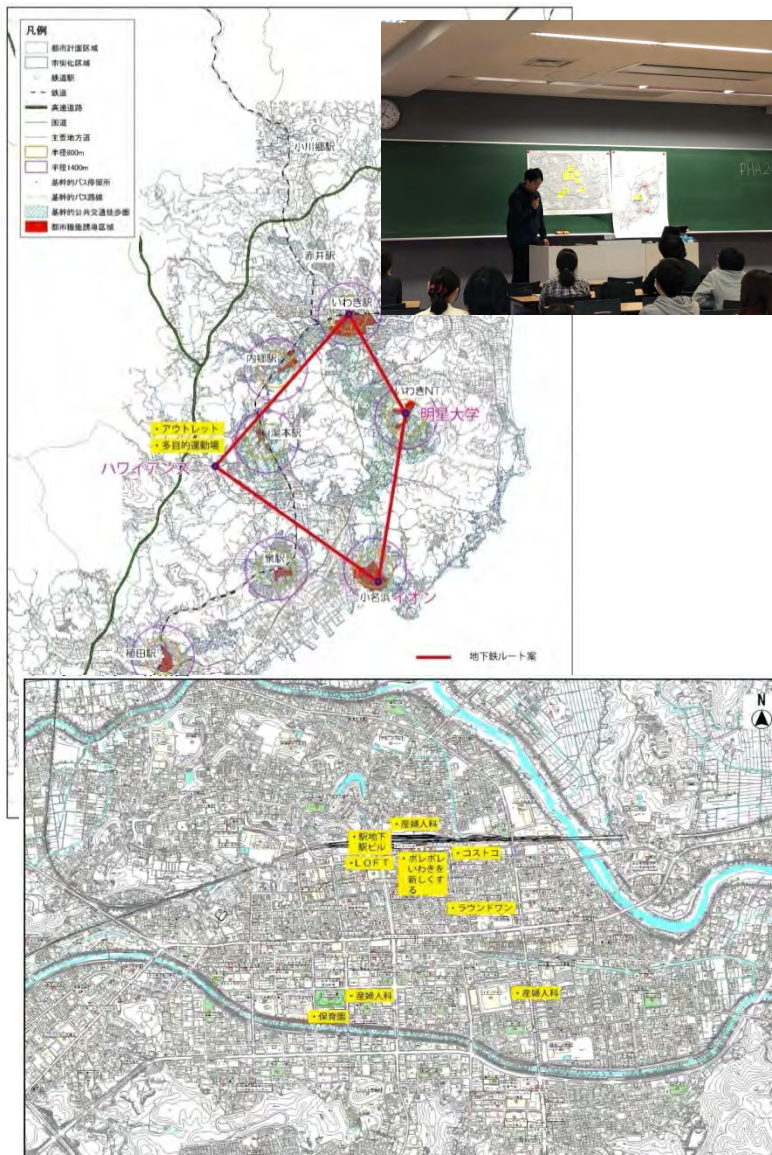
- イトーヨーカ堂をコストコに建替える
- スポルト平をROUND 1に建替える
- ラトブをロフトに建替える
- ハワイアンズ、いわきFCの近くにアウトレット、多目的運動場を整備
- 待機児童を解消する保育園整備、里帰り出産を叶える産婦人科を整備

【②過度に車に頼らない日常生活の確保】

- 日常サービス施設の付近にバス停を整備する
- まちなかの主要施設付近に小さな駅を整備し、その駅間を地下鉄でつなぐ (いわき駅⇔大学、ハワイアンズ⇔イオン)

【③その他】

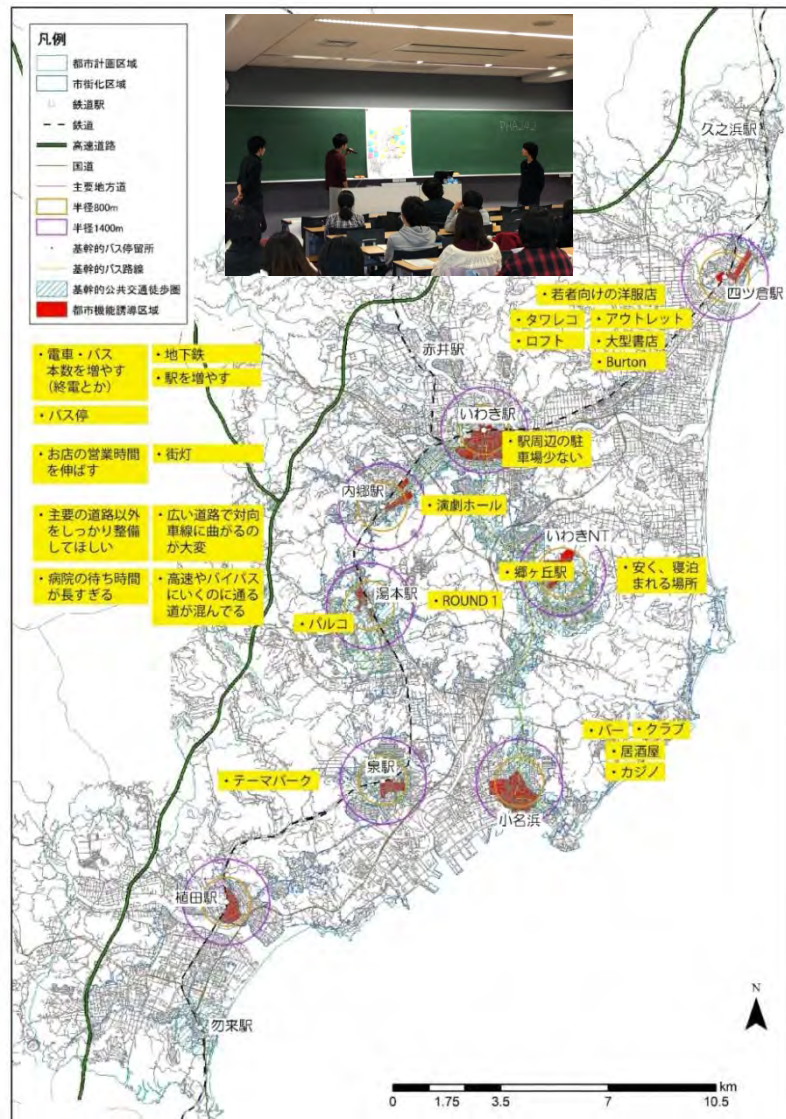
- 施設展開した内容をSNSを活用したり、駅にパンフレットを置いたりして、どんどんPRすることで、よりよい街になると感じる



(4班)

【解決を図るための取り組みなど】

- 店舗などの営業時間を延長する
- 山を切り開いてアウトレット、ロフト、大型書店等の立地により活性化を図る
- いわき駅周辺の駐車場を増やす
- いわきNTに安く寝泊まりできる場所を整備する
- 駅の立地が偏りすぎているので、郷ヶ丘駅をつくる
- ROUND 1、バー、クラブ、居酒屋、カジノ、テーマパーク等を小名浜方面に立地させ、泉地区など市以南地域の人達も楽しめるようにする

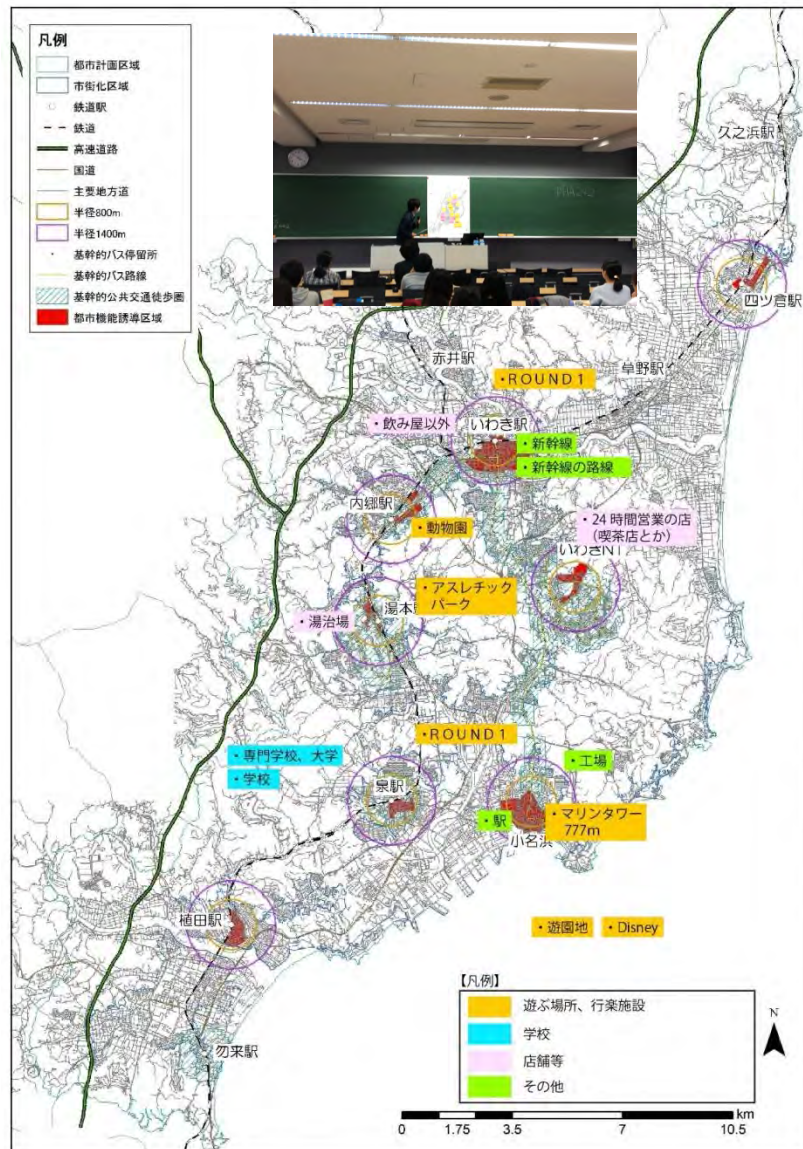


3. 若い世代とのワークショップ

(5) ワークショップでの主な意見 (いわき明星大学薬学部)

(5班)

解決を図る都市づくりのテーマ：①いわきを活性化させる施設を考える



【遊ぶ場所、行楽施設】

[いわき駅北側、小名浜周辺]

- ROUND 1をつくる

[21世紀の森公園周辺]

- 動物園、アスレチックパークをつくる

[小名浜]

- マリントワーを伸ばして777mにする
- 海を一部埋め立てディズニーランドをつくる

【学校】

[泉駅周辺]

- 大学（理学部）、専門学校（工業系）をつくり市内雇用環境を改善する

【店舗等】

[いわき駅周辺]

- 24時間営業のお店（喫茶店等）

[湯本]

- 湯治場をつくる

【その他】

[いわき駅]

- 新幹線を開通させる

[小名浜]

- 小名浜に駅をつくる

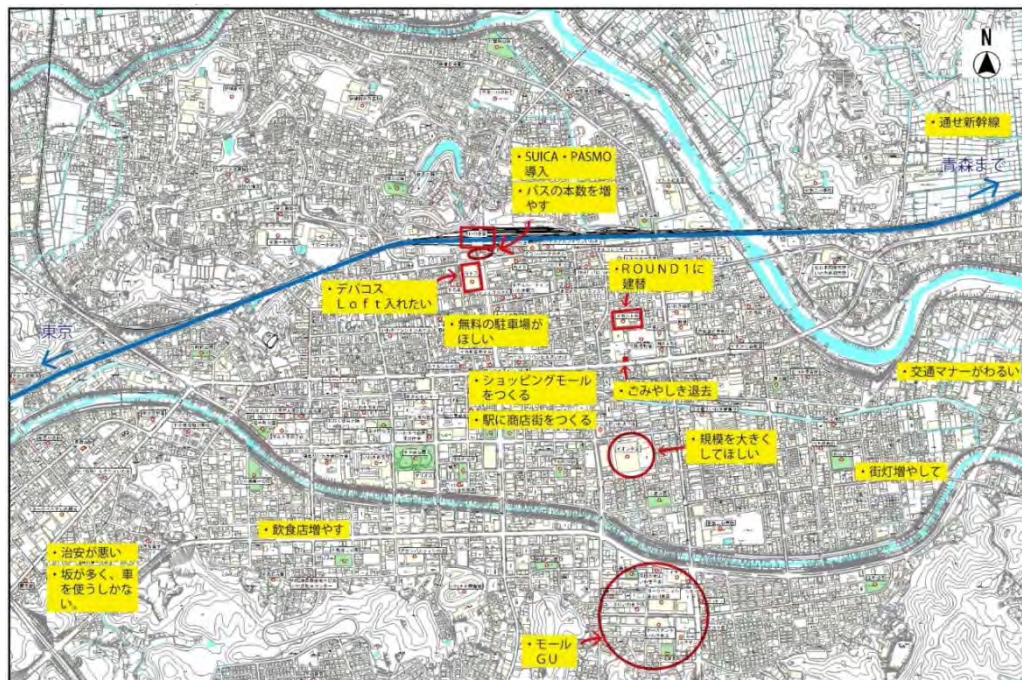
施設立地の結果

- 行楽施設は市民だけでなく、県外からもお客さんが来ること
で活性化につながる。
- 学校は進学の実選択肢の一つとなり、県外からも学生が来ること
で人口増加につながる。その後の就職、永住にも期待できる。

3. 若い世代とのワークショップ

(5) ワークショップでの主な意見 (いわき明星大学薬学部)

(6班)



選択した課題：①若い世代の流出抑制



【解決を図るための取り組みなど】

- Suica・PASMOを導入するとともにバス本数の増加を図る
- デパコス、ロフトを立地させる
- まちなかに無料駐車場を配置させる
- スポルト平をROUND 1に建替えし、若い世代のストレス発散の場をつくる
- イオン平店の規模が小さいので、規模を大きくする
- ユニクロがある場所にGUを新たに建てるなど服が買える場所を増やす
- 青森～いわき～東京間をつなぐ新幹線を開通

【その他の意見】

- ゴミ屋敷を撤去するべき
- いわきは治安が悪い、車のマナーが悪い
- 夜の路地裏が暗いので街灯を増やすべき

4. 若い世代を対象としたアンケート調査



(1) アンケート調査の概要

アンケート調査は、いわき明星大学、東日本国際大学のワークショップに参加した学生を対象に、ワークショップ終了後に実施した。また、いわき明星大学においては、全学年全学部を対象にワークショップとは別に同内容のアンケートを実施し、回答を得た。

○ アンケート回答総数：243

【アンケート調査項目】

1 回答者の属性

- ① 性別[問1]
- ② 年齢[問2]
- ③ 職業[問3] ※全て学生のため結果は未記載
- ④ お住まいの地域[問4]
- ⑤ 家族構成[問5]
- ⑥ 居住形態[問6]

2 若い世代の就職先や職業等についての意向

- ⑦ 自分のこどもに（学生であれば自分が）将来、就職してほしい（学生であれば就職したい）職場の立地場所について [問7]
- ⑧ 自分のこどもに（学生であれば自分が）将来、就職してほしい（学生であれば就職したい）職種について [問8] ※複数回答
- ⑨ 就職先を選ぶ理由 [問9] ※複数回答
- ⑩ 自身が就職するとして、市内にあって欲しい企業 [問10]

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

- ⑪ 市内にあって欲しい、店舗や飲食店、企業、施設など [問11]
- ⑫ 住んでみたい居住環境（都市機能誘導区域、居住誘導区域、区域外、その他） [問12]
- ⑬ 今後、具体的に住みたい地区 [問13] ※複数回答
- ⑭ 住みたい地区に転居する際の不安や課題 [問14] ※複数回答
- ⑮ 今後の自動車社会からの転換についての意向 [問15]

4 これからの都市づくりについての提案 [自由意見]

4. 若い世代を対象としたアンケート調査

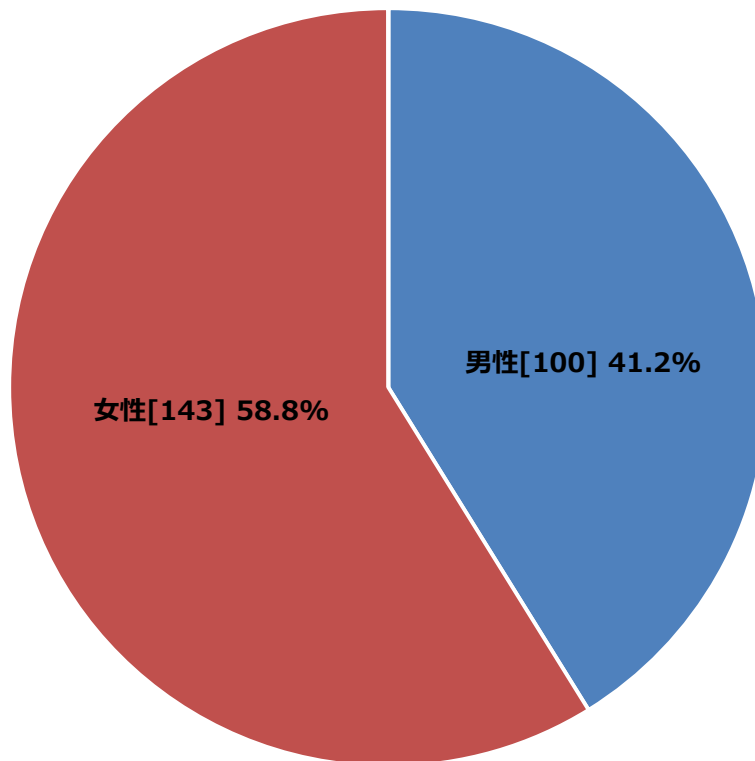


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

① 性別（問1）

- 「女性」の割合が58.8%と高くなっています。



4. 若い世代を対象としたアンケート調査

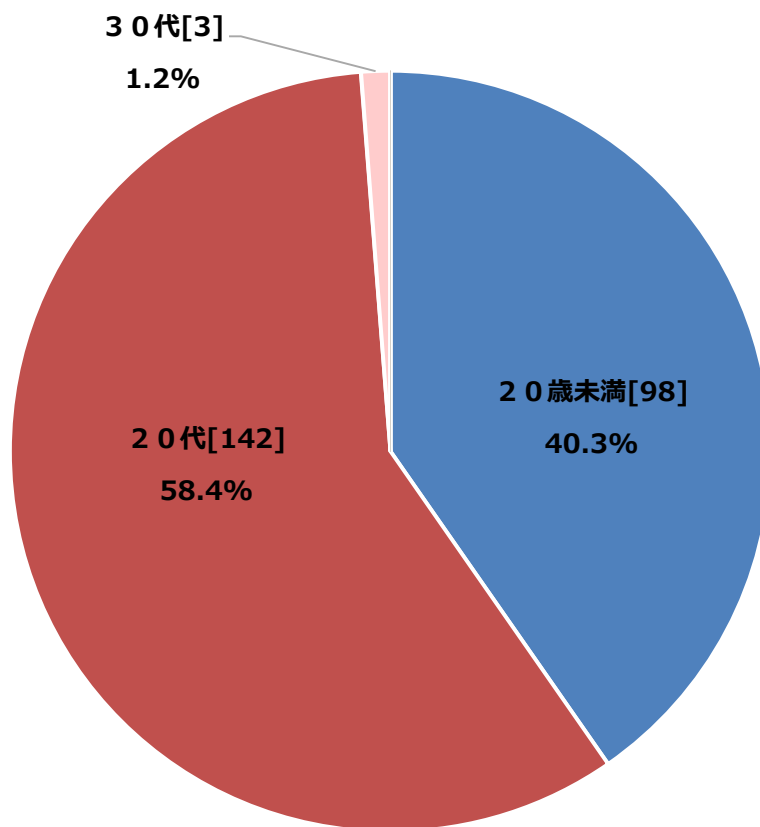


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

② 年齢（問2）

- 「20代未満」が約4割、「20代」が約6割の年齢構成となっています。



4. 若い世代を対象としたアンケート調査

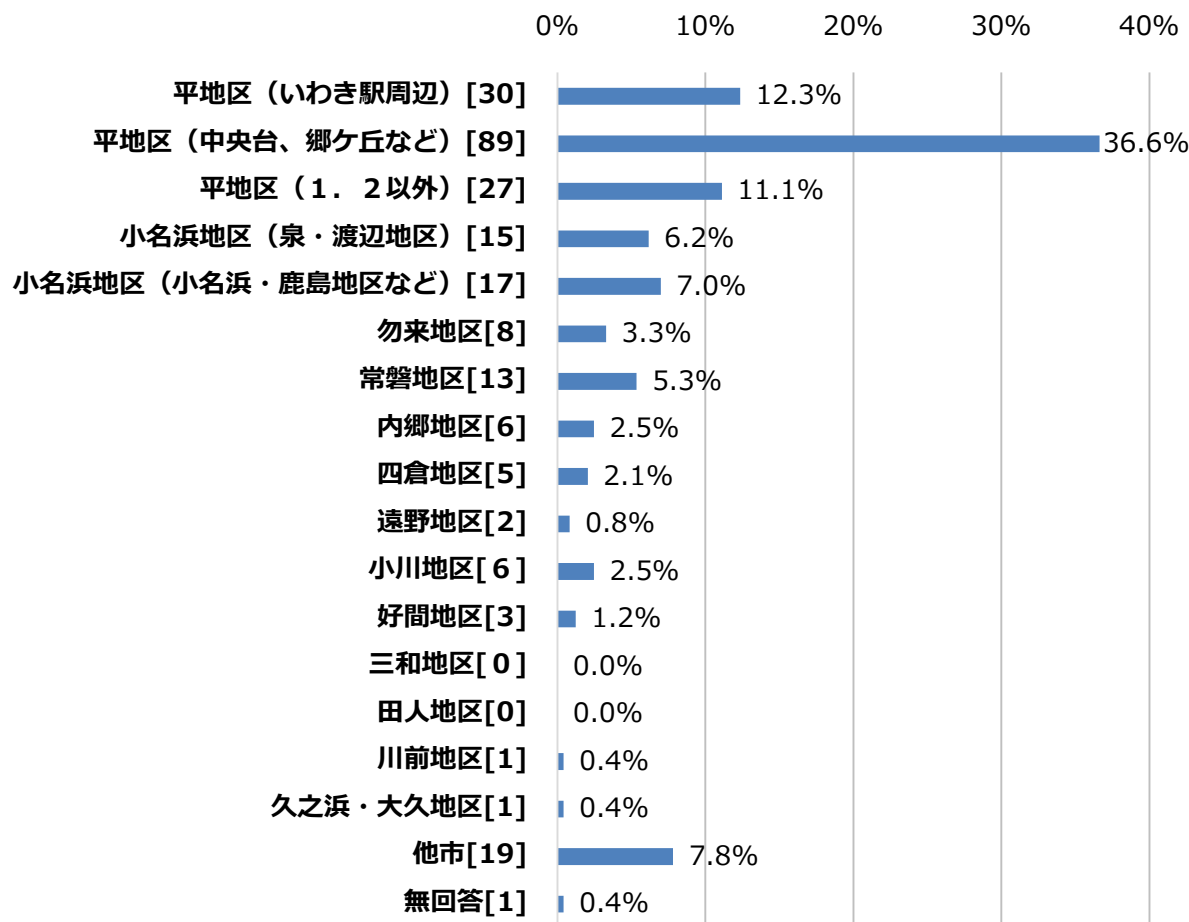


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

④ お住まいの地域（問4）

- 「平地区（中央台、郷ヶ丘など）」が36.6%で最も高く、次いで「平地区（いわき駅周辺）」12.3%、「平地区（中央台、いわき駅周辺以外）」11.1%の順となっています。



※ [] : 回答者数

4. 若い世代を対象としたアンケート調査

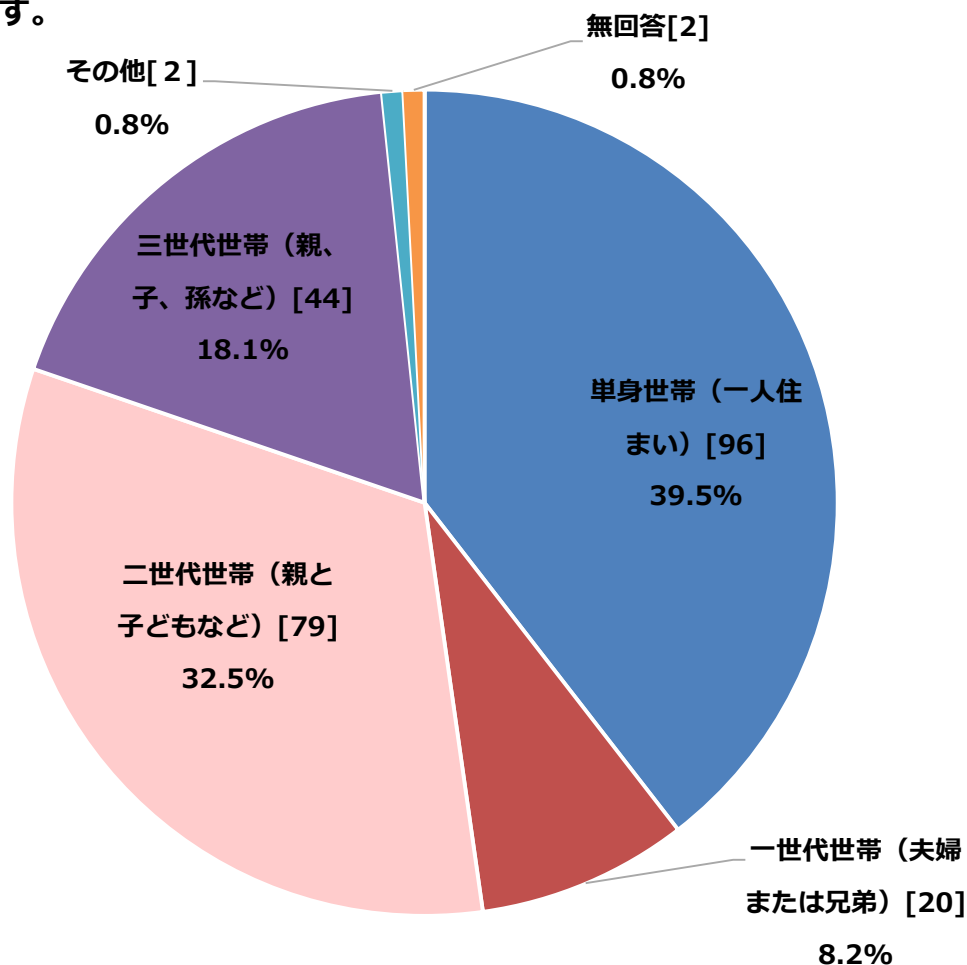


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

⑤ 家族構成（問5）

- 「単身世帯（一人住まい）」が39.5%で最も高く、次いで「二世世代世帯（親と子どもなど）」32.5%となっています。



※ [] : 回答者数

4. 若い世代を対象としたアンケート調査

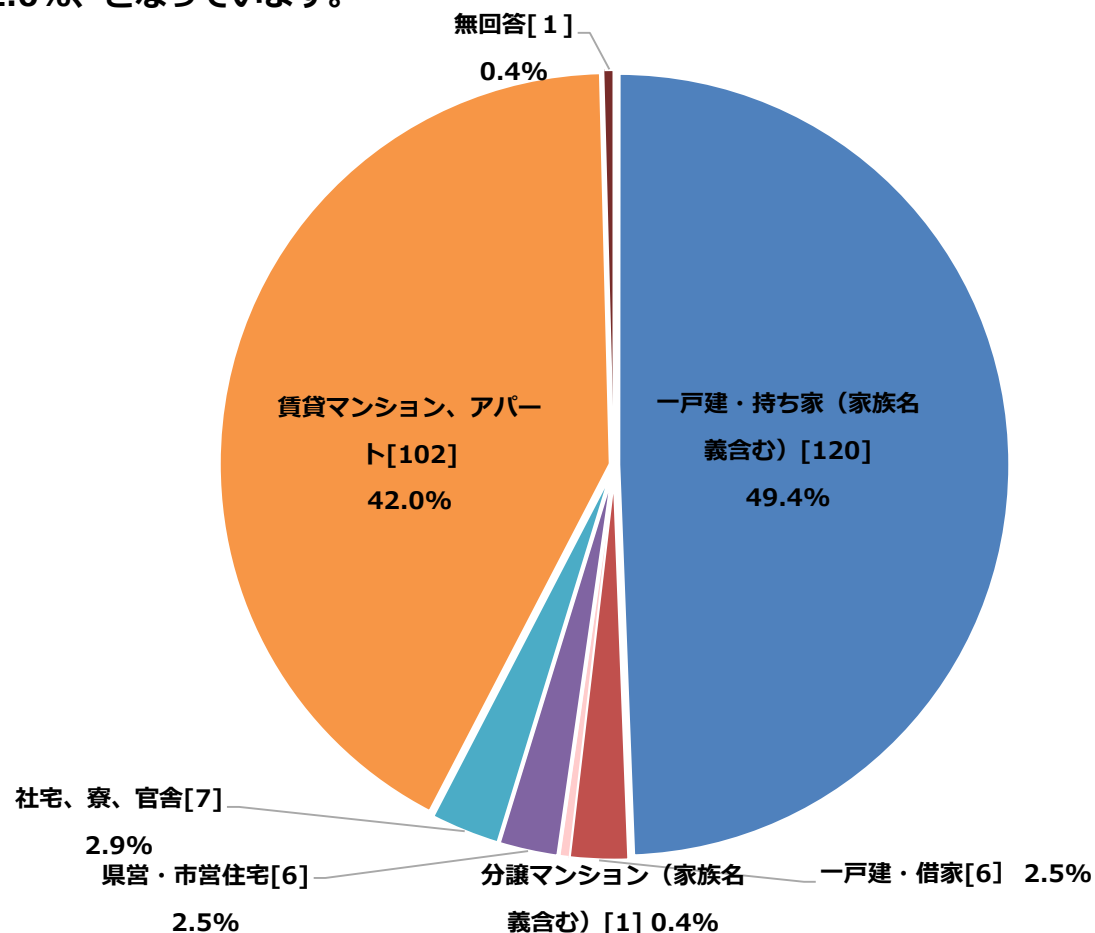


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

⑥ 居住形態（問6）

- 「一戸建・持ち家（家族名義含む）」全体の約半数を占め、次いで「賃貸マンション、アパート」が42.0%、となっています。



※ [] : 回答者数

4. 若い世代を対象としたアンケート調査

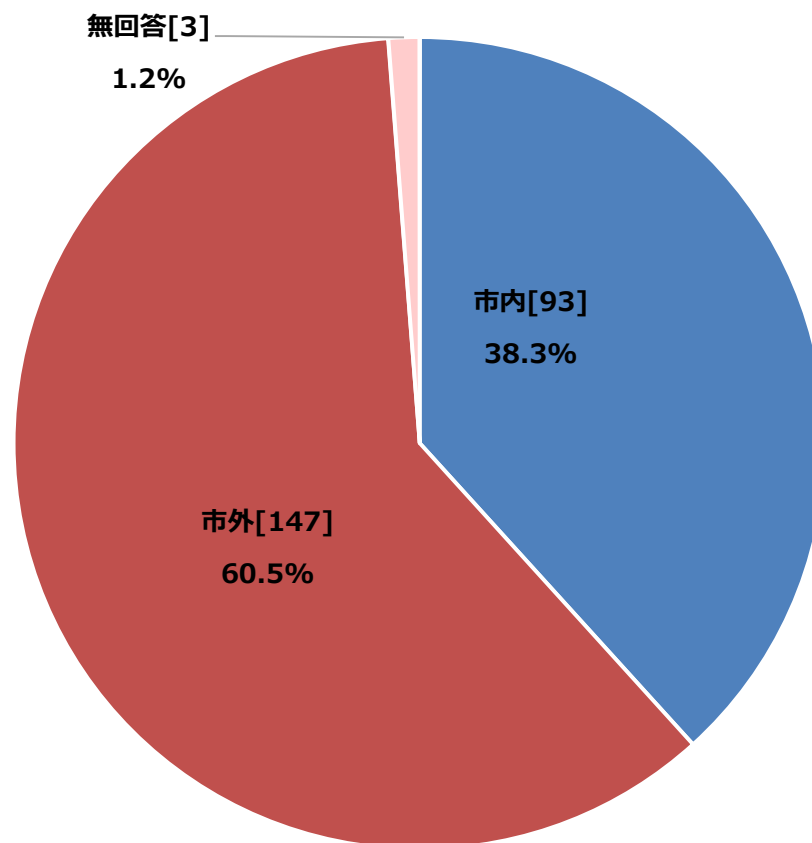


(2) アンケート調査の結果

2 若い世代の就職先や職業等についての意向

⑦ 自分のこどもに（学生であれば自分が）将来、就職してほしい（学生であれば就職したい）職場の立地場所について（問7）

- 若い世代が就職したい職場として、「市外」が60.5%、次いで「市内」の38.3%となっています。



4. 若い世代を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

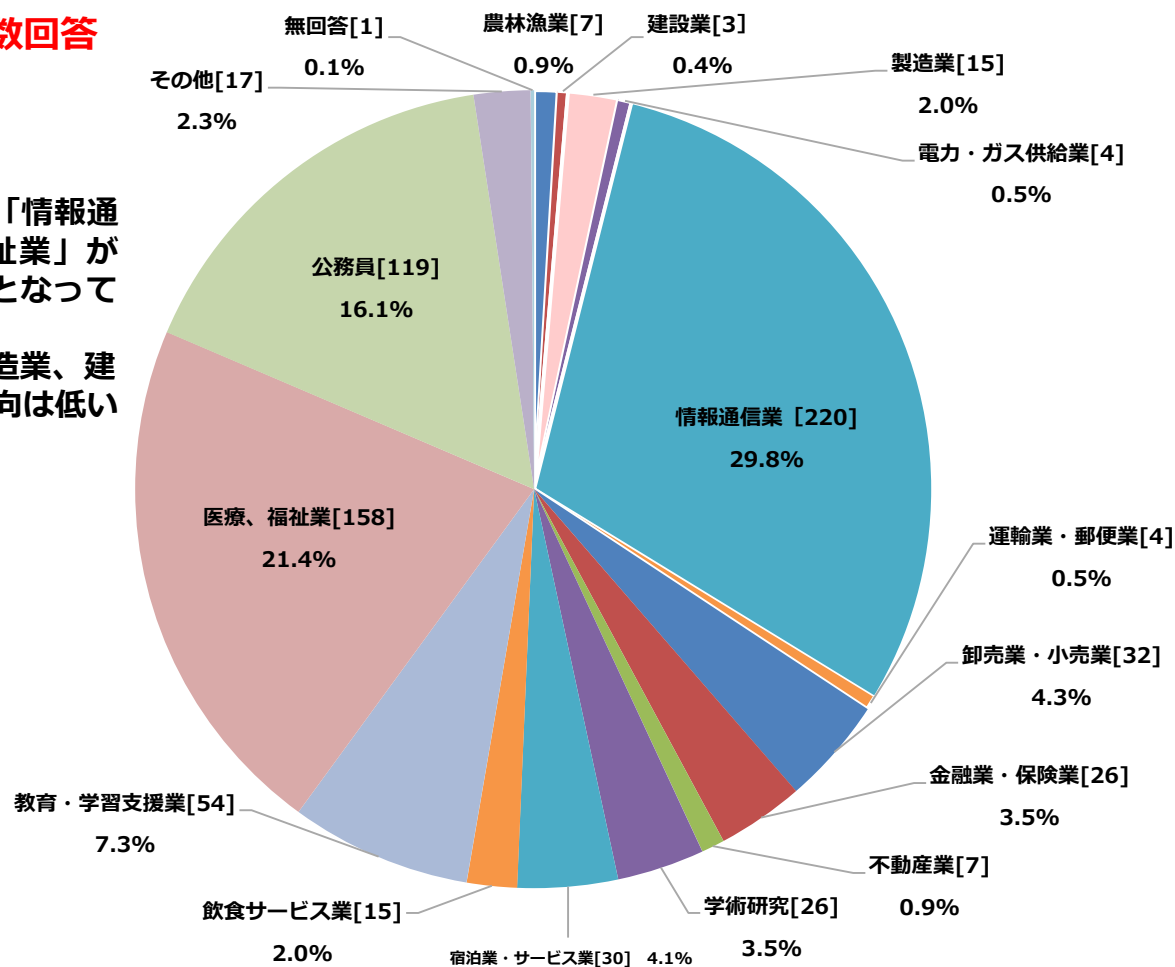
2 若い世代の就職先や職業等についての意向

⑧ 自分のこどもに（学生であれば自分が）将来、就職してほしい（学生であれば就職したい）

職種について（問8）※複数回答

- 若い世代が就職したい職種として、「情報通信業」が29.8%、次いで「医療、福祉業」が21.4%、次いで「公務員」の16.1%となっています。

一方で、本市経済を牽引している製造業、建設業はそれぞれ2.0%、0.4%と就職意向は低い結果となっています。



※ [] : 回答数

4. 若い世代を対象としたアンケート調査

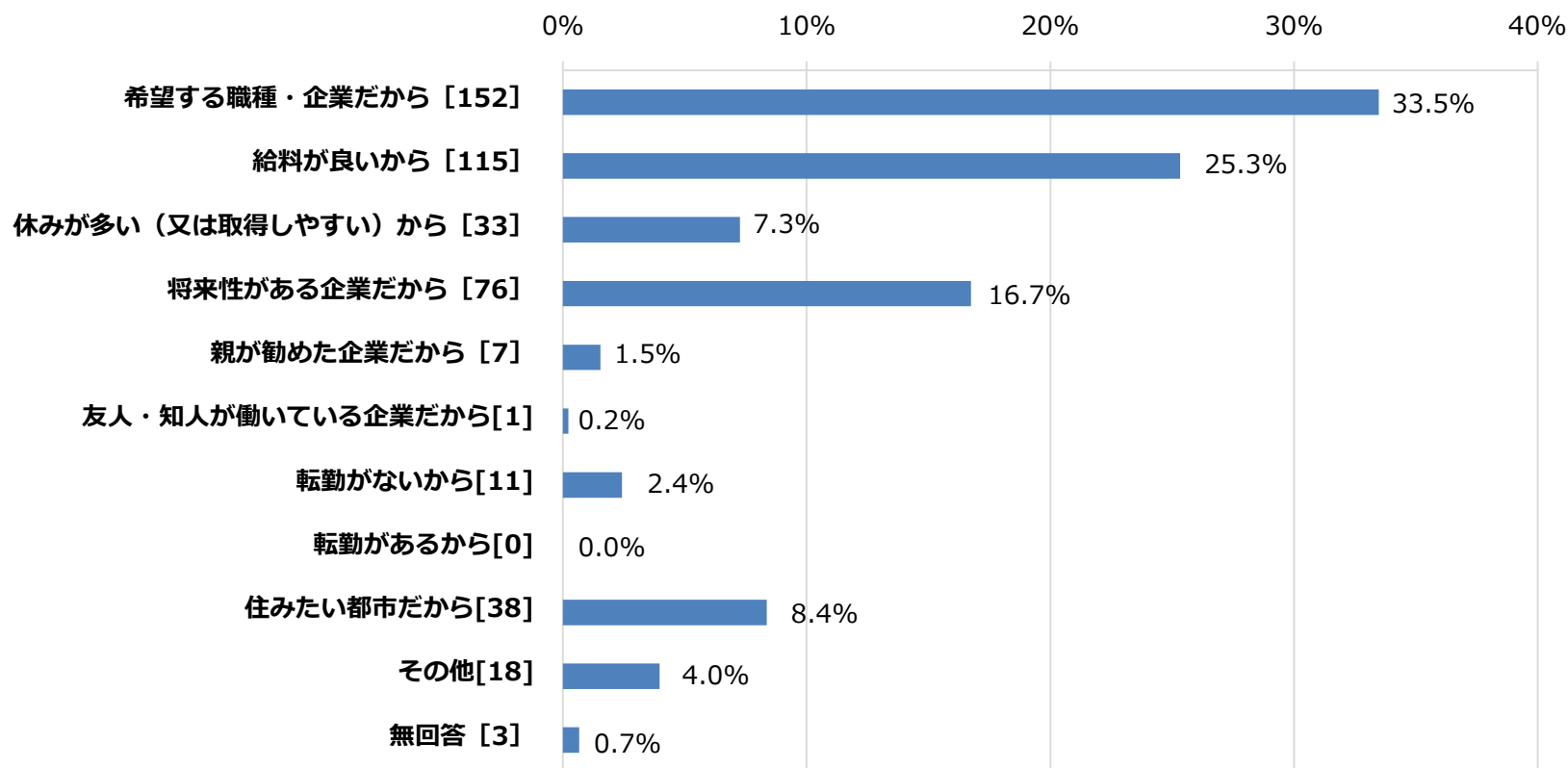


(2) アンケート調査の結果

2 若い世代の就職先や職業等についての意向

⑨ 就職先を選ぶ理由（問9）※複数回答

- 「希望する職種・企業だから」の理由が最も多く33.5%、次いで「給料が良いから」が25.3%、「将来性がある企業だから」が16.7%となっています。



4. 若い世代を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

2 若い世代の就職先や職業等についての意向

⑩ 自身が就職するとして、市内にあって欲しい企業（自由記載）（問10）

事務・オフィス系

- ・ テレビ局
- ・ 電通
- ・ 銀行
- ・ LDH（芸能事務所）
- ・ リクルート
- ・ ティファニー等のジュエリー会社
- ・ 楽天
- ・ 音楽関係企業
- ・ 花王株式会社
- ・ 東証一部上場企業
- ・ ソニーグループ
- ・ 三菱商事
- ・ ツルハドラッグ（本社）

IT・エンジニア系

- ・ NEC
- ・ クリエイト系企業
- ・ Panasonic
- ・ Google
- ・ Microsoft
- ・ IT関連企業
- ・ 富士通

販売・営業・飲食・サービス系

- ・ 大型の飲食店
- ・ LOFT
- ・ IKEA
- ・ タリーズコーヒー
- ・ ニトリ
- ・ ジョイフル本田
- ・ お菓子屋
- ・ SUNTORY
- ・ コカ・コーラ
- ・ LEGO
- ・ 資生堂
- ・ マキアージュ
- ・ 大塚製薬
- ・ カネボウ
- ・ ローソン（本社）
- ・ ローリーズファーム
- ・ ラウンドワン
- ・ ヒトカラ（ワンカラ）
- ・ アイリスオーヤマ
- ・ ナイキ
- ・ アディダス
- ・ プーマ
- ・ コストコ
- ・ 餃子の王将
- ・ 高島屋などの商業施設
- ・ BANDAI

医療・介護・研究・教育系

- ・ ベネッセ
- ・ 心理に関する企業
- ・ 薬剤師が活躍できる企業
- ・ 武田薬品工業
- ・ ファイザー製薬

工場・物流系

- ・ トヨタの製造工場
- ・ ヤマトホールディングス
- ・ Amazon
- ・ 日立製作所

4. 若い世代を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑪ 市内にあって欲しい、店舗や飲食店、企業、施設など（自由記載）（問11）

事務・オフィス系

- ・ 広告関連会社

IT・エンジニア系

- ・ apple
- ・ Google

その他（公共的施設など）

- ・ スケボー公園
- ・ サッカースタジアム
- ・ バスケットのある公園
- ・ 個人利用可のスポーツ施設
- ・ 中華街
- ・ 免許センター
- ・ 観光施設
- ・ 遊園地

販売・営業・飲食・サービス系

- | | |
|------------------|----------------|
| ・ ローリーズファーム | ・ 服屋 |
| ・ ヒトカラ（ワンカラ） | ・ 卓球専門店 |
| ・ ラウンドワン | ・ イオン |
| ・ コストコ | ・ 映画館 |
| ・ 餃子の王将 | ・ ドン・キホーテ |
| ・ 二郎系のラーメン屋 | ・ WEGO |
| ・ ゴールドジム | ・ サンキューマート |
| ・ ショッピングモール | ・ ライブ会場 |
| ・ 鳥貴族 | ・ INGNI |
| ・ TOHOシネマ | ・ BIG（スーパー） |
| ・ ファッションセレクトショップ | ・ タリーズコーヒー |
| ・ 飲食系チェーン店 | ・ 韓国料理店 |
| ・ くら寿司 | ・ カジノ |
| ・ お好み焼き屋 | ・ イケア |
| ・ GU | ・ 三井アウトレット |
| ・ ロフト | ・ デパート |
| ・ スポーツショップ | ・ 叙々苑 |
| ・ いざこい（居酒屋） | ・ 109 |
| ・ マクドナルド | ・ 蒙古タンメン中本 |
| ・ ケンタッキー | ・ アンパンマンミュージアム |
| ・ ファミレス | ・ LUSH |
| ・ ローソン | ・ ANNA SUI |
| | ・ ZARA |

4. 若い世代を対象としたアンケート調査

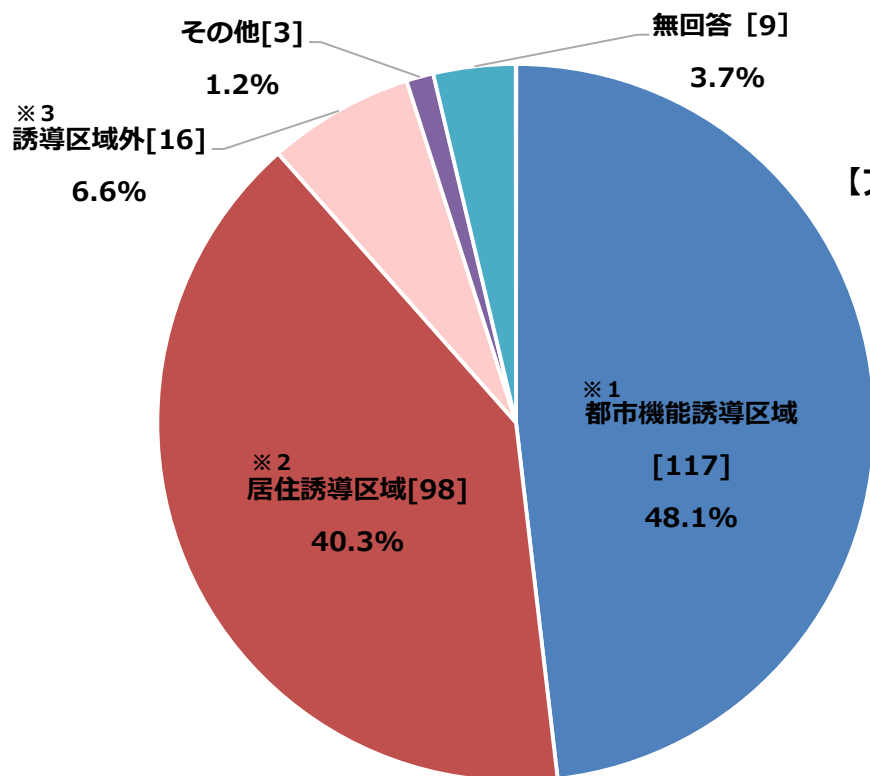


(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑫ 住んでみたい居住環境（都市機能誘導区域、居住誘導区域、区域外、その他）（問12）

- 「都市機能誘導区域」が48.1%で最も高く、次いで「居住誘導区域」40.3%となっており、回答者の約9割が、より利便性の高い居住空間に住んでみたい（住みたい）という結果になっています。



【アンケート設問上での選択肢の内容】

- ※1 居住空間は狭くなるが（マンション・アパート等）、駅周辺で公共交通が充実しており、医療・商業等の都市機能が集積している地区。
- ※2 ある程度の居住空間は確保できるが（戸建て）、駅から若干離れており、医療・商業等の都市機能の持つ地区へは、徒歩や自転車等での移動が必要となる地区。
- ※3 山や川などの自然や緑を身近に感じることができ、十分な居住空間確保できるが、駅からは離れており、医療・商業等の都市機能を持つ地区へは、バス等での移動が必要となる地区。

4. 若い世代を対象としたアンケート調査

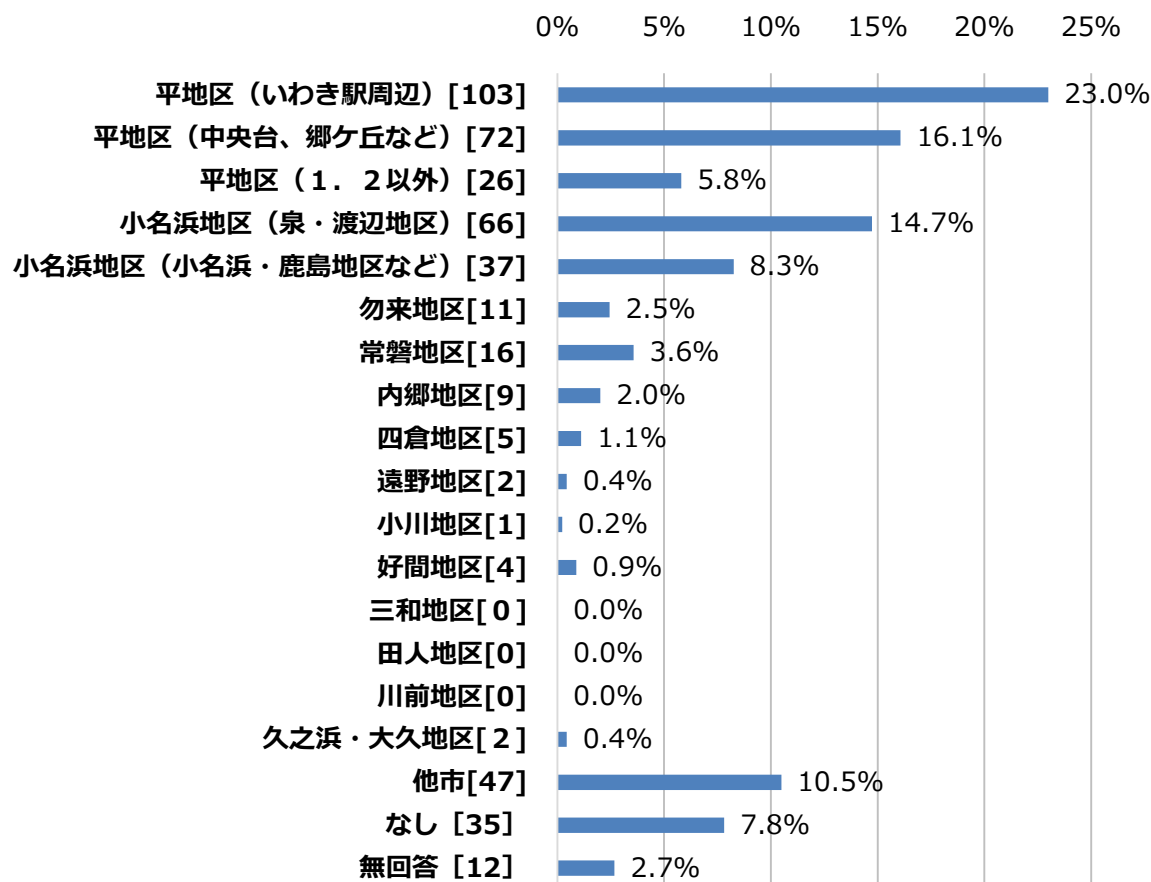


(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑬ 今後、具体的に住みたい地区（問13）※複数回答

- 「平地区（いわき駅周辺）」が23.0%で最も高く、次いで「平地区（中央台、郷ヶ丘など）」が16.1%、「小名浜地区（泉・渡辺地区）」が14.7%の順となっています。



※ [] : 回答数

4. 若い世代を対象としたアンケート調査

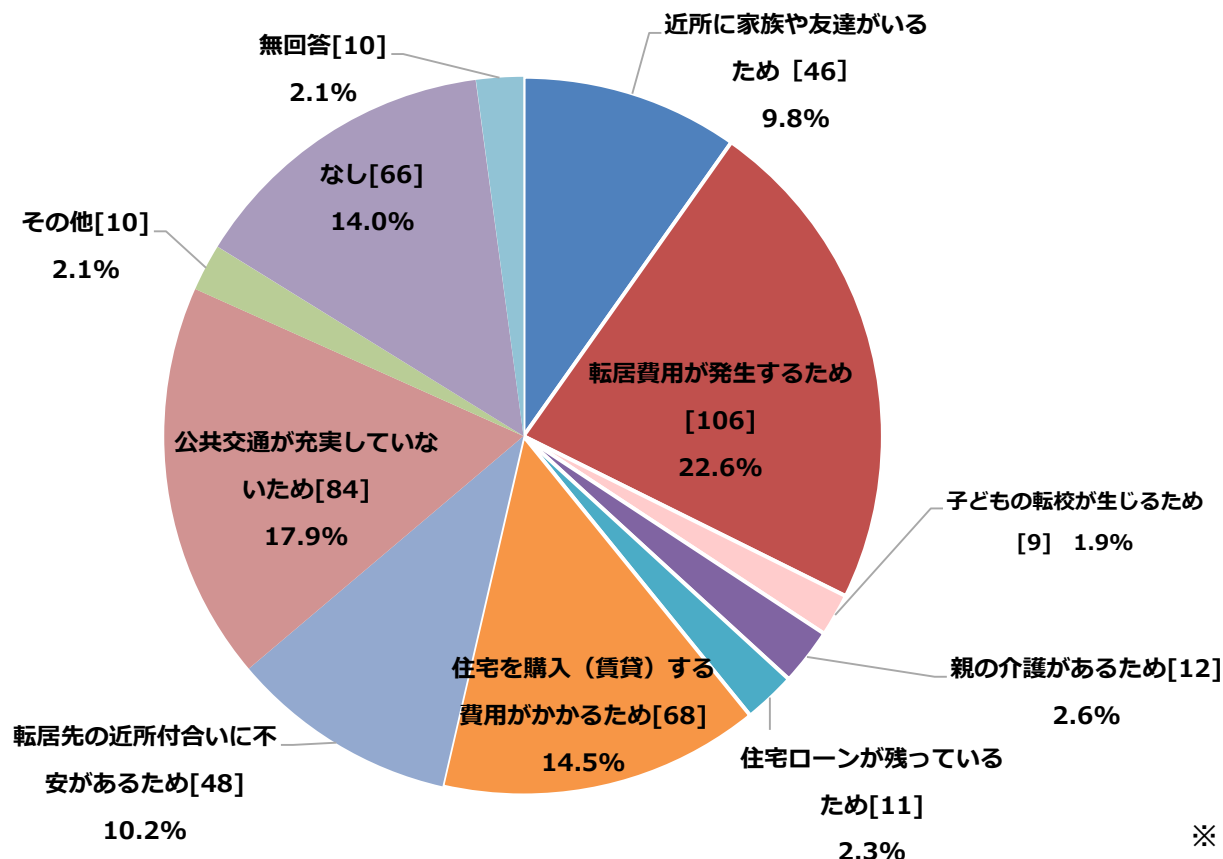


(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑭ 住みたい地区に転居する際の不安や課題（問14） ※複数回答

- 「転居費用が発生するため」が22.6%で最も高く、次いで「公共交通が充実していないため」が17.9%となっています。



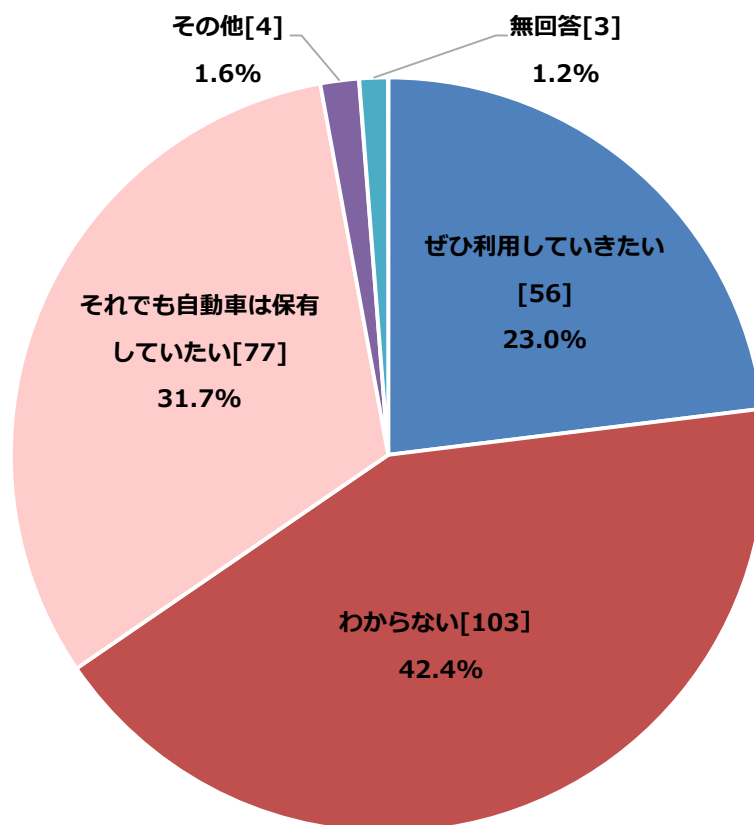
※ [] : 回答数

(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑮ 今後の自動車社会からの転換についての意向（問15）

- 「わからない」が42.4%で最も高く、次いで「それでも自動車は保有していきたい」が31.7%、「（新交通を）ぜひ利用していきたい」が23.0%の順となっています。



4. 若い世代を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

4 これからの都市づくりについての提案[自由意見] 1/4

分 類	意 見
ひと	● 教育環境の充実と人材不足の解決が必要。 ● 子育てしやすいまちづくりの推進。いわきで子育てして住み続けたいと思わせる仕組みづくり。 ● 都市は人がいて活性化と思うので、まずは人口増加に力を入れるといいと思います。震災後から人が戻ってきているとは思いますが、若者が増えないと未来が無いと思う。まずは、雇用の場や遊ぶところを増やす、観光地を増やす等をして人を呼び込めればいいのかと思います。個人的な意見ですが、最近ニュースで見た0円タクシーをいわき市でも走行させてはどうでしょうか。 ● 大学の周りが住宅街なので、もう少し活性化させれば大学の入学者が増える。震災の影響が無いことをもっとPRするべき。 ● 家族向けの機能を充実させる。(移住特典、子育て支援、学校) ● 若い人が他県に移らないよう、インスタ映えスポットや買い物ができる場所、カフェがあれば人が増えると思う。 ● 就職しやすい環境作りが重要だと思う。 ● お見合いパーティを開催する。 ● 高齢者が活躍できる社会環境をつくる。 ● レジャー施設や商業施設などを増やせば若者をより市内に呼び込めると考える。住み続けたいと思える工夫が必要。 ● いわき駅周辺は、ビジネスホテルや居酒屋ばかりではなく、若者をターゲットにした施設などを建設しない限り、今以上に若者の流出が進むと思う。

4. 若い世代を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

4 これからの都市づくりについての提案[自由意見] 2 / 4

分類	意見
まち	● 高齢者へ向けてのサービスなどは、ある程度は充実しているとは思いますが。若い人向けの施設やサービスを作ると口で言うのは簡単ですが、お金がない中で実現するのは大変だと思いました。 ● 大規模な施設等を設置すれば活性化すると考える。いわき市に将来を見出す必要がある。 ● 若者がお金を落とせる場所がない。パチンコ屋が多い。 ● 大型のショッピングモールをつくってほしい。 ● 音楽をもっと発展させてライブハウスやコンサートホールがあると楽しいと思います。 ● 音楽を学びたい人は、首都圏に出てしまうので、音楽大学や音楽を学べる場所を誘致して街に音楽があふれているなんてことも素敵だと思います！ ● 私は県外出身者なので、いわき市の吹奏楽の強さやそれに関するイベントの多さに驚きました。朝活ができるカフェとかツタやみたいなカフェと本が一緒になっているスペースや店があったら是非行きたいですし、目玉になるのではないのでしょうか。
	● 田舎から来た者からすると、いわき市は良い街だと思うが、それは車があることでそう感じているのだと思う。道路整備が色々なところで行われているのを見て、車を持つには良いが、公共交通機関はさらに不利になるなと感じた。
	● 平や湯本には飲み屋が多いので、温泉近くに1杯やれるところがあったら観光客に好かれる（温泉地ならではのお酒）。ワイン、日本酒をもっと推していいと思います。何かのきっかけで移住の可能性はありますし。ライブハウスもあるので、公共交通の時間を遅くしてほしい。
	● アリオスがあるため、若者向けのアーティストやショーの様なものを多く開催してほしい（年寄り向けが多いため）。結果だけを発信するのではなく、経過段階も発信して行ってほしい。若者向けの情報発信方法を。
	● 歩行者としてまちを歩いていると危険な運転も多く、危ないと感じることが多い。そのため、車で移動してしまうことが多いと感じます。自分自身住んでいて、いわき駅にはたくさんお店があるが、泉駅以外はあまり栄えていないと感じます。
	● 道路沿いの植栽の維持管理など、環境整備を行ってほしい。

4. 若い世代を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

4 これからの都市づくりについての提案[自由意見] 3 / 4

分類	意見
まち	● 若者や県外から来た人たちがお金を落としていけるような施設がほしい。
	● 電車やバスなど、公共交通の利便性について改善してほしい。
	● 公共交通機関の料金がもっと使用されると思う。
	● 私が考える都市に必要なものは、平日でもいつでも人が集まっている場所だと思います。コストコなどはいつも人が多くて混んでいると思います。
	● LATOVの横に建設予定の「高齢者住宅」×「商業施設」のアイデアは、とても高齢者に優しいなと感じ、完成が楽しみです。
	● ラトブに、若者が行くアパレルショップ等を入れて欲しい。
	● いわき駅前をもう少し活気づけてほしい
	● 大きなインパクトのある観光地を作るべきだと思う。
	● 高齢者に配慮しつつ若い世代が暮らしやすい環境づくりが必要。
	● 県外から来ていますが、いわきは田舎で空気もよくて良いところだと思います。ただ、坂が多くどこ行くにも遠い。外灯も少ないと思います。お店の閉店時間も早い。若者向けの服屋がないから今日話合ったことが楽しかったです。いわきもっと若者向けに活性化した方がいいと思います。
	● いわき市は、地下鉄がなく、公共交通機関が充実していないので住みづらく生きづらい都市だと思う。また、自動車を所有していない高齢者や交通機関が行き届いていない地区に住んでいる住民は、移動手段がなく、医療機関やコンビニエンスストアを利用したくても気軽に行くことができない現状にあると思います。交通機関についても力を入れて、住みやすい都市にしていきたい。
	● 無料で勉強できる施設を増やしてほしい。
	● 新幹線が必要と考える。また、いわきニュータウンから小名浜へ向かう路線バスを増加させてほしい。
	● 路線バスでSuicaを使用できるようにしてほしい。

4. 若い世代を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

4 これからの都市づくりについての提案[自由意見] 4 / 4

分類	意見
しごと	● IT企業を誘致するとともに、IT関連の学校をつくり技術者の育成に努めると、人材が豊富な都市になるのではないか。 ● 起業をする人に対して、もっとサポートが欲しい。 ● 一次産業の強化を行った方がいいと感じます。福島県は多くの面積があり、有効活用できているとは思えません。農業の担い手不足が進む中で、学生が学校に通いながらでもできる林業、農業を軸に一次産業の人口を増やしていくことも良いのではないかと考えました。
その他	● 南部地域ばかり開発されて以北地域の開発がされていないと感じます。北部の地域もしっかりと考えてほしい。 ● 大学の授業の一環として、「いわき市の人口を5000人増やすためにはどうしたらよいか」という課題に取り組みました。私たちはいわき市の行政にかかわったことがないので、どのようなことが現実的であるのか全く分からない状態で企画に取り組みました。クラス発表を経て、市の関係者の方からの講評がありましたが、「そもそも5000人増やすことなど不可能である」とか、それに便乗するように「大学一年の皆さんには、この課題に十分な答えを出せない」とおっしゃった大学の先生方の意見を聞いて、なんと消極的であろうかと憤りを覚えたのが正直な感想です。若者の意見という事を反映させたいという表向きとは裏腹、耳を貸しても改善案を語れないようなこの市が、今後の都市づくりに向かう事ができるでしょうか。小名浜において、開催されていた「バッテリーバレーフェスタ」においてもどの人も口をそろえて「震災後のいわき市」とかいわき市民の為にとおっしゃってましたが、それはいわき市民に寄り添うものとなっているのでしょうか。発展のためには、これまで形式的に行われている行政や夢がない、持てないいわき市の姿勢を打開していただきたいです。 ● いわき駅の駐輪場に管理人がいるのにもかかわらず、放置自転車があるのはなぜか。自分が使おうと思っても場所がない。 ● 一極集中は過疎地域が増加していくだけの気がする。平ばかり整備するのはどうかと思う。 ● いわきの運転はとても荒いので、交通の規則をどうにかしたほうが良いと考える。

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(1) ワークショップ等の概要

本ワークショップは、※平地区（中心市街地）及び各地区まちづくり計画協定締結5団体を対象とし、主に各地区の市街地の課題や将来の展望などについて意見交換を行いながら、今後、都市（市街地）の再生を図ることを目的に実施した。 ※平地区においては、講演形式で実施。

【ワークショップ実施結果】

○ 対 象：平地区 いわき商工会議所地域振興委員会及びいわき政策塾

○ 開催日：平成30年9月26日（水）

○ 参加者：16名

○ 対 象：小名浜まちづくり市民会議

○ 開催日：平成30年9月27日（木）

○ 参加者：17名

○ 対 象：内郷まちづくり市民会議

○ 開催日：平成30年10月25日（木）

○ 参加者：19名

○ 対 象：勿来ひと・まち未来会議

○ 開催日：平成30年12月10日（月）

○ 参加者：12名

○ 対 象：四倉ふれあい市民会議

○ 開催日：平成31年1月17日（木）

○ 参加者：17名

●ワークショッププログラム

step 1 地区の課題や展望を話し合おう(15分)

step 2 必要な機能（施設）を配置しよう（25分）

step 3 発表を準備しよう（10分）



平地区での講演（政策塾）の様子



小名浜地区でのワークショップの様子



内郷地区でのワークショップの様子



南部地区でのワークショップの様子



四倉地区でのワークショップの様子

○ 常磐地区は、平成29年7月に「常磐湯本地区まちづくり計画」を改訂しており、当該改定にあたっては、平成27年6月より地元まちづくり団体を中心に、多くのワークショップ等を重ねてきた経過がある。また、平成30年度より、湯本駅前緑地の利活用に係る協議を、地元まちづくり団体と協働で進めているなど、地域の意向等は十分に把握できていることから、今後の事業進捗等の状況により開催することとした。

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(2) 講演会での主な意見（いわき商工会議所地域振興委員会及びいわき政策塾）

● 講演内容

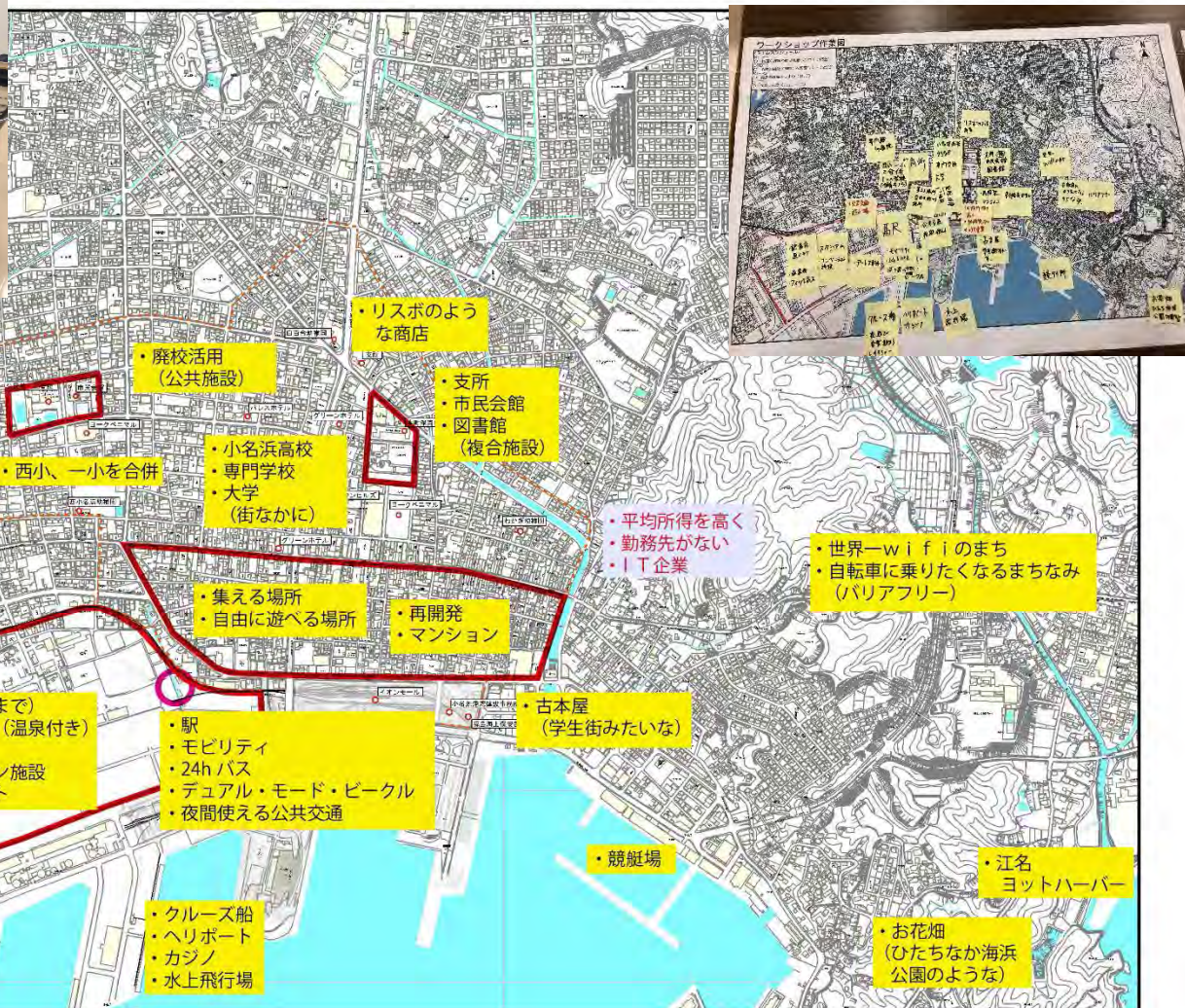
- ・ いわき市の課題等について
 - * 人口減少や都市構造等の課題
- ・ 第二次都市マスの策定状況について
 - * 全体・部門別・地域別構想の概要
- ・ 立地適正化計画の策定状況について
 - * まちづくりの方針、誘導方針等の概要

分類	意見
ひと	● 説明では生産年齢人口を65歳までとしているが、今後年金支給年齢も上がるので、70歳まで年齢層に変更すべきではないか。 ● 立地適正化計画の都市機能誘導区域を見ると、合併前に戻るような気がする。若者は本当にいわきに戻るのかが疑問。
まち	● 勿来は、従来から「副都心」という位置づけのはずだったが、将来都市像の説明の中では、「平や小名浜など・・・」と表現され、“勿来”が抜けている。これまでの取り組みにおいて勿来を副都心とすることへのアプローチが薄かったことが要因ではないか。もっとがんばっていきたい。 ● 勿来は、平や小名浜とのつながりよりも、北茨城や高萩との交流があり、勿来の地域のあり方や県境を視野に入れた都市構想を考えていく必要があり、色濃く検討し、そういった内容を含むまちづくり構想をつくり、南部を強くして欲しい。 ● 2040年には23万人になる、つまり現在から10万人も人口が減少することだが、本当に10万人が減っても耐えられる都市計画マスタープランになっているのか。 ● 居住誘導区域外の将来ビジョンは無いといけない。 ● 農村山地域や漁村地域のところは、今後、自然に人口が減っていくが、これら中山間地域や沿岸部を守るための作成計画や、他地域へ移住することの提案をするようなプランづくりを進める必要があるのではないかと。
しごと	● 中山間地域は、ITインフラが整っていないため、企業が立地できないことが課題となっているため、ITインフラを整備することが必要である。

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(3) ワークショップでの主な意見（小名浜まちづくり市民会議）

(1班)



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(3) ワークショップでの主な意見（小名浜まちづくり市民会議）

（1班）

地区の1番の課題は交通（モビリティ） ➡ **デュアル・モード・ビークルを走らせる。**

⇒ 小名浜地区に**駅をつくり**（FCスタジアム・商業施設・コンベンションセンター）、**福島臨海鉄道の線路を使用し**、小名浜～泉～いわき駅に向かう路線を走らせる。
その後、いわき駅から道路上（鹿島街道）を走り小名浜に戻る**循環をつくる。**

【エリア設定】

- **西側：商業施設を集約**する。
- **本町通りと八間通り（小名浜港線）を結ぶエリア**（再開発を実施）：**横町公園のエリアをパブリックなエリアにして集約**を図る。
⇒ 支所、図書館、専門学校（何らかの特化した学校：アニメーターを輩出する学校等）
- **海側（東港のエリアを含めたエリア）：夜遊びが出来る場所**にする。
⇒ クルーズ船、レイトショー、ヘリポート、カジノ、水上飛行場

【その他】

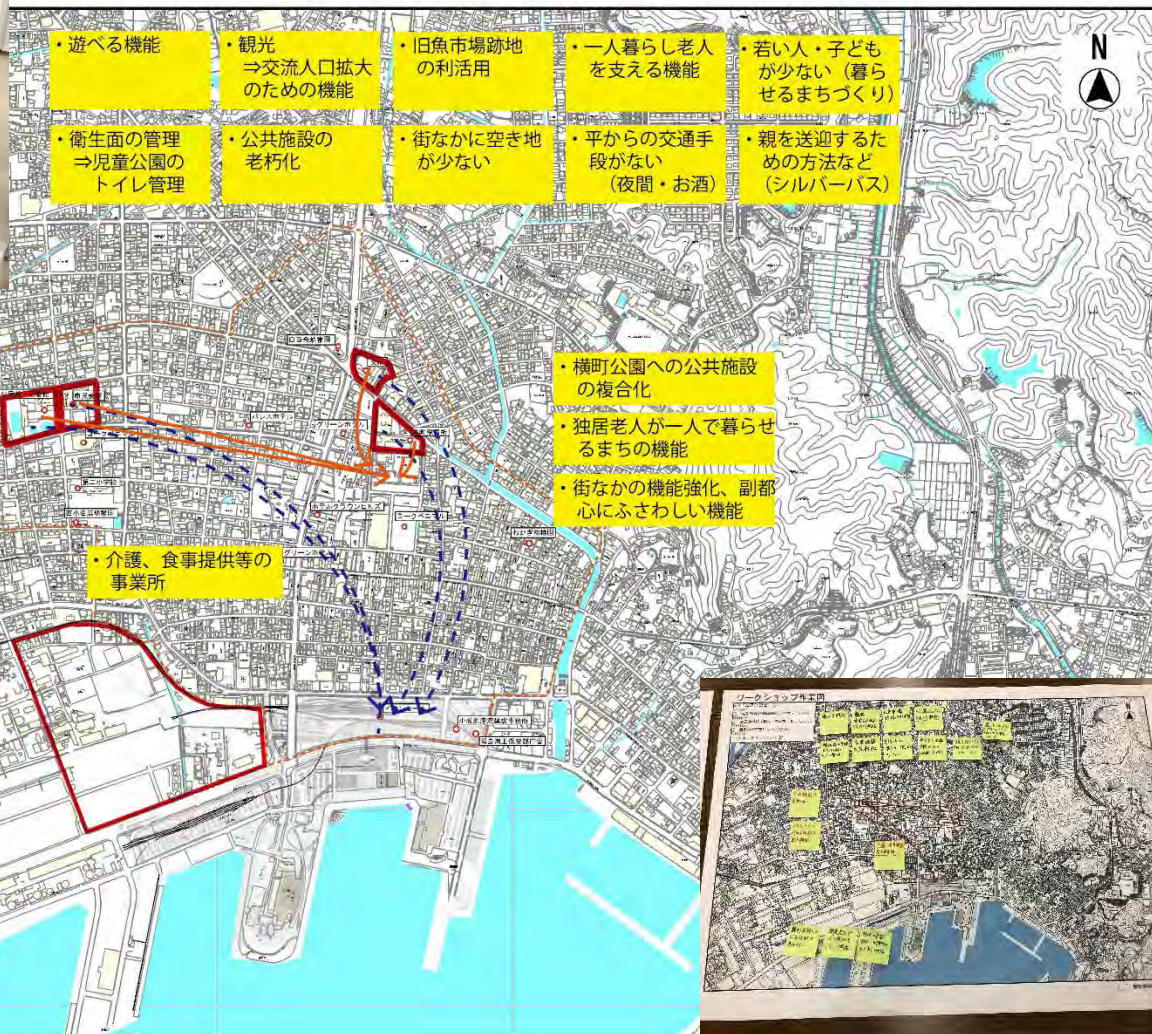
- Wi-fiが世界一つながる小名浜にする。
- 自転車に乗りたくなるまちなみにする。
- 三崎公園を花畑にする。
（ひたちなか海浜公園のようなスポットに）
- 学生街のようにする。
⇒ 西小、一小を合併し近いところに持ってくる
⇒ 小名浜高校もエリア内にもってくる
（都市機能の全てを中心に持ってくる）
- 江名を日本一のヨットハーバーにする。
- 競艇所をつくる。

➤ 実現できれば、地区内に高所得者も住むようになり、再開発のマンションに住む人も増え、**相乗効果でまちも賑わってくる。**

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(3) ワークショップでの主な意見 (小名浜まちづくり市民会議)

(2班)



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(3) ワークショップでの主な意見（小名浜まちづくり市民会議）

(2班)

困っていること

- 支所や市民会館等、様々な公共施設が老朽化している。
- 空き地があふれている。
- 小中学生など若い人たちが少なくなっている。一方で高齢者が多くなっている。
- イオンモールが出来たのに街なかが廃れており、都市機能の維持が難しい。
- 平で飲んだら帰るのがすごく大変。

コンパクトシティってどうなんだろう・・・

- 旧市街地のあたりを区画整理で整理出来れば良いが・・・
- イオンモールに公共施設を移転・集約出来れば良いが、港に全部集めるのは良いことなのか・・・

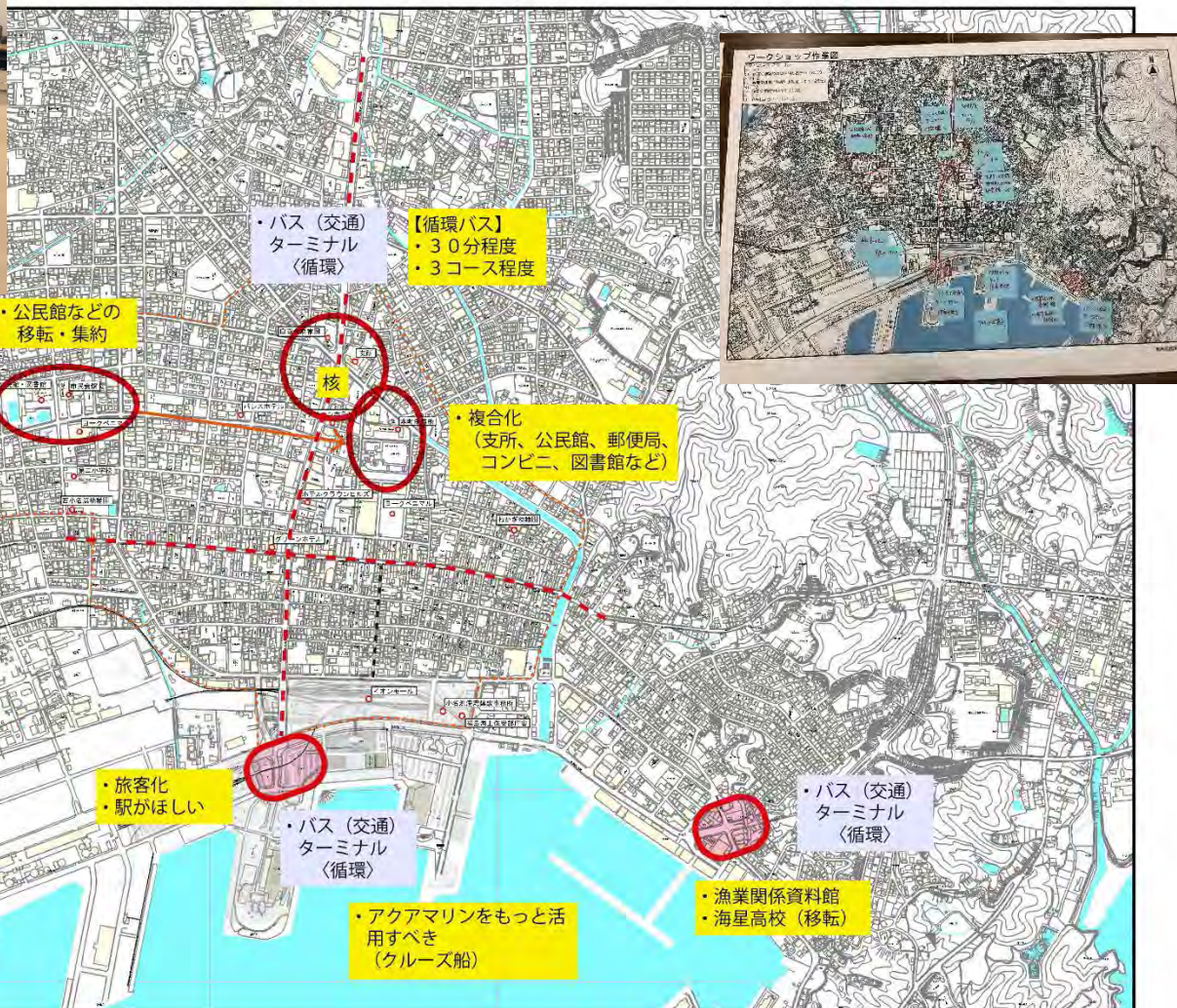
今後必要なこと

- 公共施設の再編については、街なかの空洞化防止や、独居老人の増加などを考慮し、横町公園又はイオンモールいわき小名浜に公共機能や日常生活サービス機能等の都市機能を集約する。
- 小学校等の統合に伴う跡地の活用方法を検討する。
- 循環バスにより市内を回れるようにする。

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(3) ワークショップでの主な意見 (小名浜まちづくり市民会議)

(3班)



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(3) ワークショップでの主な意見（小名浜まちづくり市民会議）

(3班)

小名浜には若者が集まる核が無いのが特徴（駅がない、街なかから高校が離れている）

- 横町公園に都市機能を集約（支所、公民館、郵便局、コンビニ、図書館など）する。
- 小中学校は学区があるので、街なかへの移転は厳しいが、高校は街なかに移転したい。

小名浜発祥の地は米野地区（現在は更地）

- 漁協関係の資料館、漁協のおばちゃんたちがやっている食堂（プレハブで十分）など小名浜の浜文化を発信する場所が出来れば良い。
- 海星高校の分校を持ちたい。

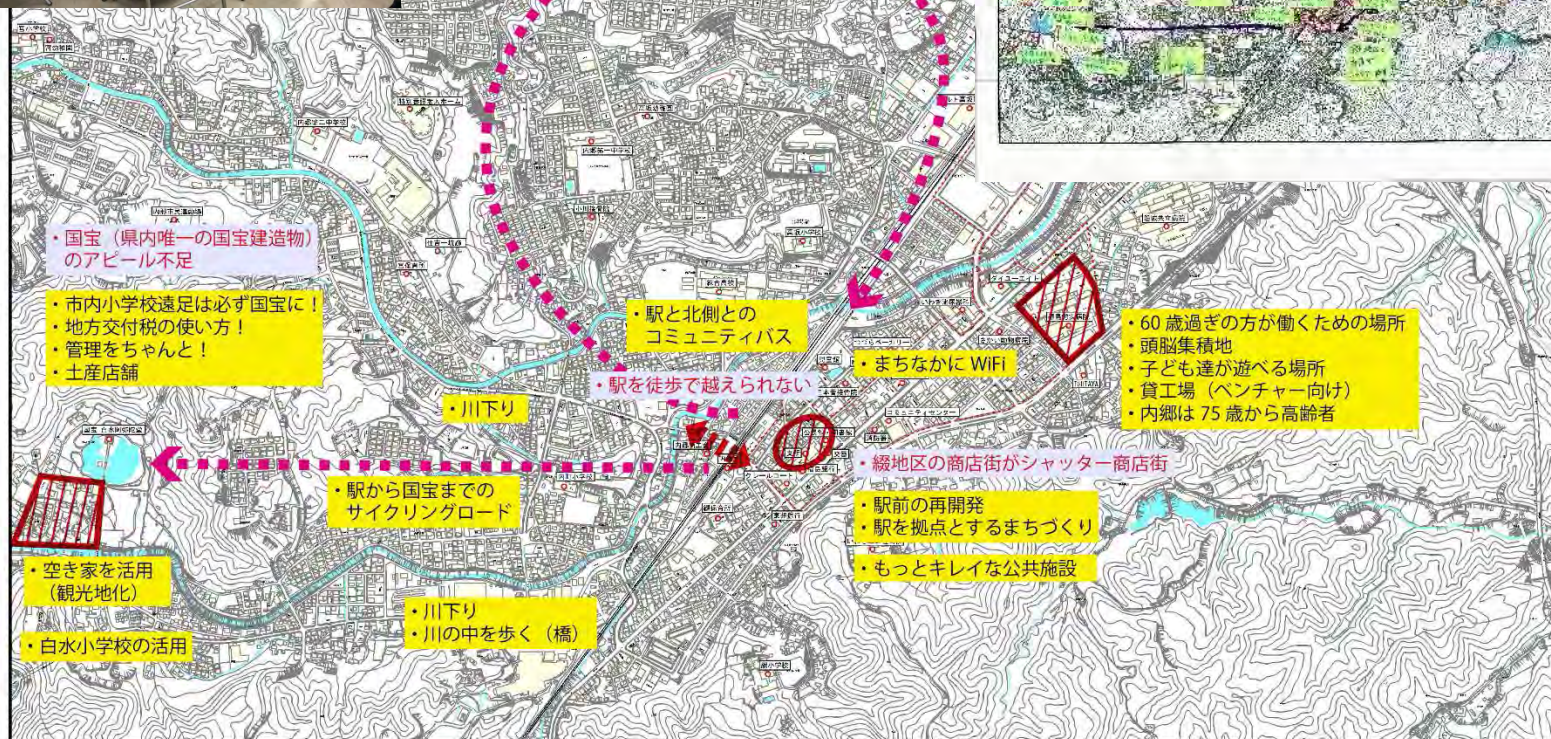
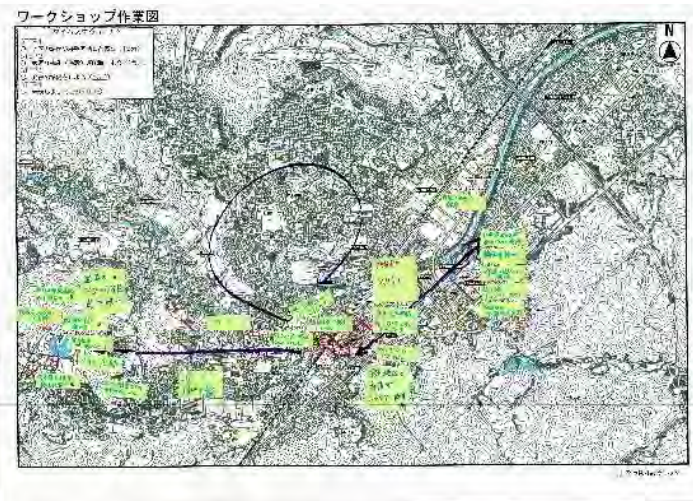
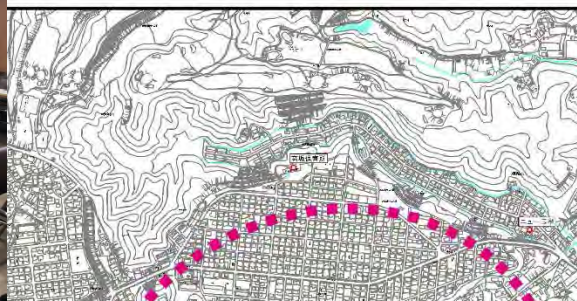
都市機能を結ぶルートが必要

- 循環バス（100円バス） ⇒ 30分程度で回れるルートをつくる。
- クルーズ船 ⇒ 小名浜の絶対的ポイントはアクアマリン。もっと活用すべき。
- 小名浜と平を結ぶ平小線
 - ⇒ 泉駅を経由して平を結ぶというルートは決して夢ではない。（小名浜の人がかつて描いた夢）
 - ⇒ 平小線があったらいわきも変わっていたし小名浜も変わっていた。
- フランチ駐車場（外縁部駐車場）
 - ⇒ 市街地外側に駐車場を設け、その中を公共交通と徒歩を結ぶ。（回遊性の向上にも寄与）

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(4) ワークショップでの主な意見（内郷まちづくり市民会議）

（1班）



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(4) ワークショップでの主な意見（内郷まちづくり市民会議）

（1班）

【駅を中心とした魅力的なまちづくり】

国宝白水阿弥陀堂のアピール不足

- 市内小学校の遠足は必ず阿弥陀堂に行くようにする。
- 地方交付税の使い方をしっかりする。
- 管理をしっかりする。
- 土産店舗を整備する。
- 内郷駅から阿弥陀堂までのサイクリングロードを整備する。

福島労災病院移転跡地の有効活用

- 60歳過ぎの方が働くための場所にする（内郷は75歳から高齢者）。
- 頭脳集積地にする。
- 子ども達が遊べる場所にする。
- ベンチャー企業向けの貸工場にする。

綴地区の商店街がシャッター商店街

- 駅前の再開発を行う。
- 駅を拠点としたまちづくりを進める。

駅を徒歩で越えられない課題の解消

- 駅と北側とのコミュニティバスを走らせる。
- 連絡橋を整備する。

【その他】

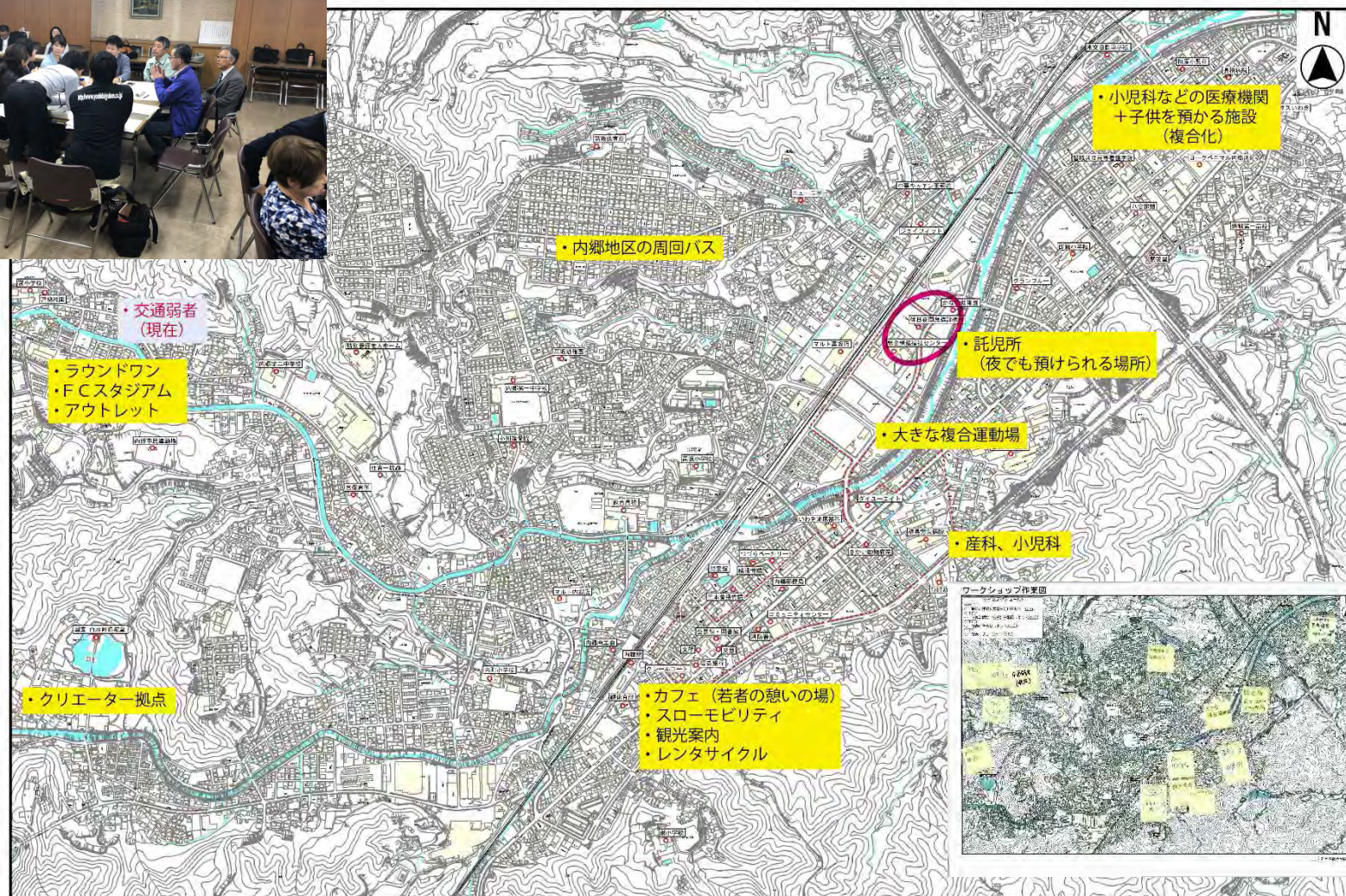
魅力向上に向けた取り組み

- まちなかにW i F iを整備する。
- 川下りを実施する。

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(4) ワークショップでの主な意見（内郷まちづくり市民会議）

（2班）



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(4) ワークショップでの主な意見（内郷まちづくり市民会議）

（2班）

【安心して子育てができるコンパクトなまちづくり】

内郷地区全体の課題解決

- 周回バスを走らせる。
- 小児科などの医療機関+子供を預かる施設を整備する。（複合化）
- 産科、小児科病院を誘致する。

内郷駅周辺の整備

- カフェ（若者の憩いの場）をつくる。
- 観光案内をする。
- スローモビリティを導入する。
- レンタサイクルを導入する。

みろく沢炭砒資料館の活用

- クリエーターの拠点にする。

総合保健福祉センター周辺の整備

- 託児所（夜間でも預けられる場所）を整備する。
- 大きな複合運動場を整備する。

【その他】

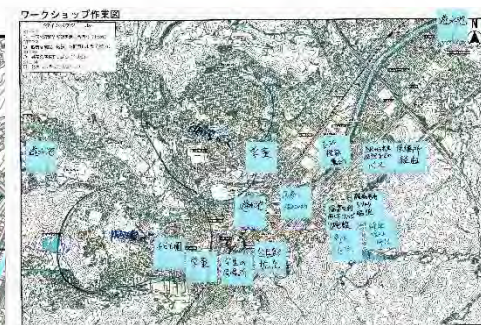
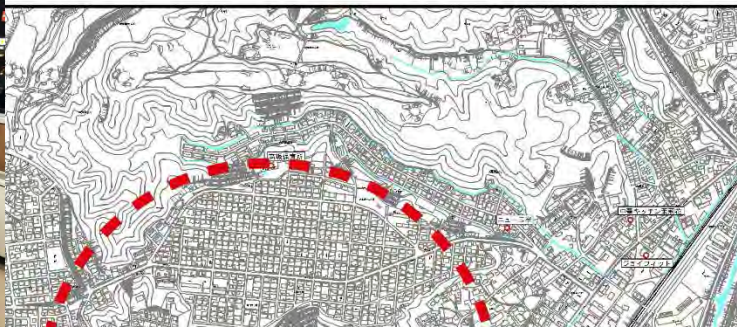
中山間地の活性化、賑わいの創出

- アウトレット、ラウンドワン、F C スタジアムなどの大型集客施設を中山間部に誘致する。

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(4) ワークショップでの主な意見（内郷まちづくり市民会議）

(3班)



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(4) ワークショップでの主な意見（内郷まちづくり市民会議）

（3班）

【医療と福祉のまちづくり】

福島労災病院移転跡地の有効活用

- 温泉を利用したリハビリ施設を整備する。
- 健康増進施設を整備する。
- 難病患者治療病院を整備する。
- 予防医学センターを整備する。

地域交通システムの整備

- 地区内に循環バスを走らせる。
- 駅から共立病院までのバスルート確保（保健所経由）

小学校の有効活用

- 地区内の小学校を学童保育、子ども園として活用する。

低未利用地を活用した公共施設再編

- 支所機能を保健福祉センター南側用地へ集約する。

【その他】

駅前整備

- 学生の居場所をつくる。
- 公民館を拡充する。
- 商業施設を誘致する。

河川の活用

- 遊水池をつくる。

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(5) ワークショップでの主な意見 (勿来ひと・まち未来会議)

(1班)



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(5) ワークショップでの主な意見（勿来ひと・まち未来会議）

（1班）

【植田駅周辺】

- 駅前に高齢者が住みやすい“サ高住”を整備、そこにコンビニや行政機能を入れるなど高齢者が暮らしやすい街をつくる。
- 南部地区は自動車を前提とした街ができている。道路ネットワークの使い方の検討が必要。
- また、常磐線の特急の停車や、高速バスの駅への乗り入れの再開（震災前同様の形）もあわせて検討する。
- 病院が点在している。集約化して残地（未利用地）の有効活用も必要。
- 支所は駅前でなくとも良い。

【勿来全体】

- 馬券場を呼び込んでくるなど大人のアミューズメントがあってもよい。
- 勿来の海はマリンスポーツの中心となれば良い。

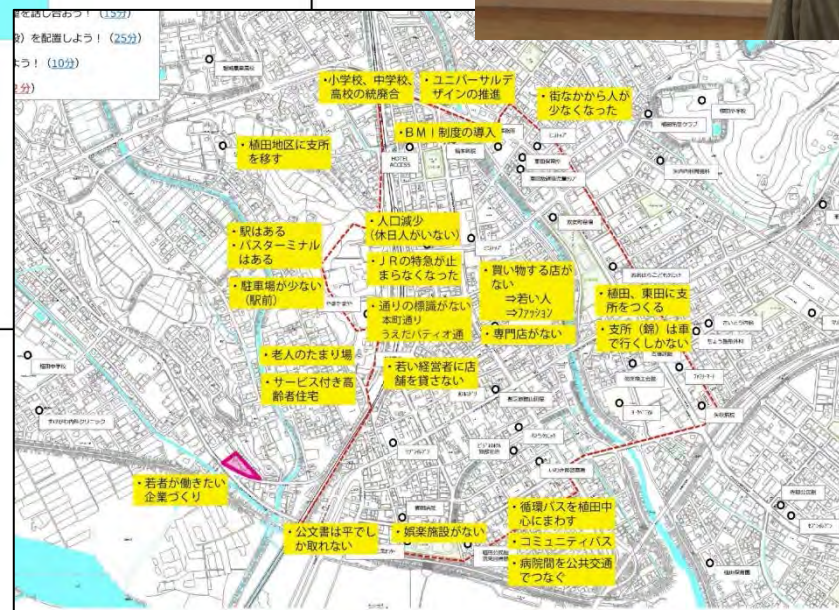
【その他】

- 支所と消防署は分離した方がよいのではないか。
- 支所建物の規模は窓口機能がしっかりしていれば、小さくなくてもよい
- Wi-Fi環境の充実が今後の社会では重要である。
- 今後の人口増加が見込めない中では、住民票受領や公共料金の支払いが可能なコンビニが存在感を発揮するため、まちづくりの視点の一つに据えるべきである。

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(5) ワークショップでの主な意見（勿来ひと・まち未来会議）

(2班)



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(5) ワークショップでの主な意見（**勿来ひと・まち未来会議**）

（2班）

【植田駅周辺】

- 高齢者が楽しめるといったことから、高齢者が集まる場所であったり、住みやすい“サ高住”を整備など高齢者が暮らしやすい街をつくる。
- 空き店舗を活用して**若者が起業しやすいような制度**が必要ではないか。

【勿来全体】

- **支所と消防署の機能は分離し、消防署の出動のしやすさを考えるべき。**
- 支所が移転した場合、今の場所か植田駅周辺になるのかは分からないが、そこを利用する人の**利便性(モビリティ)**を考える。人が集まれば起業する若者も増え、人が集まってくる。
- 市街化調整区域の一部を解除して住宅が建てられるようにしてもよい。

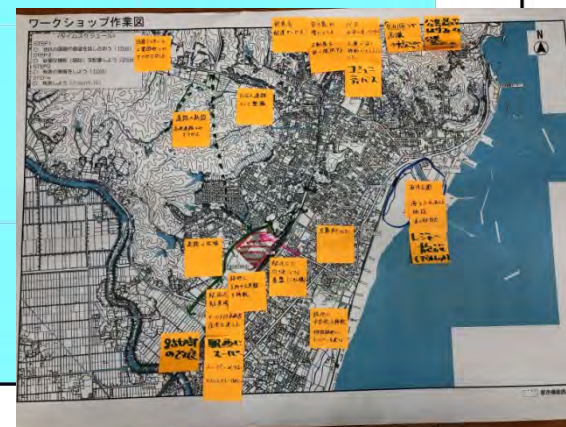
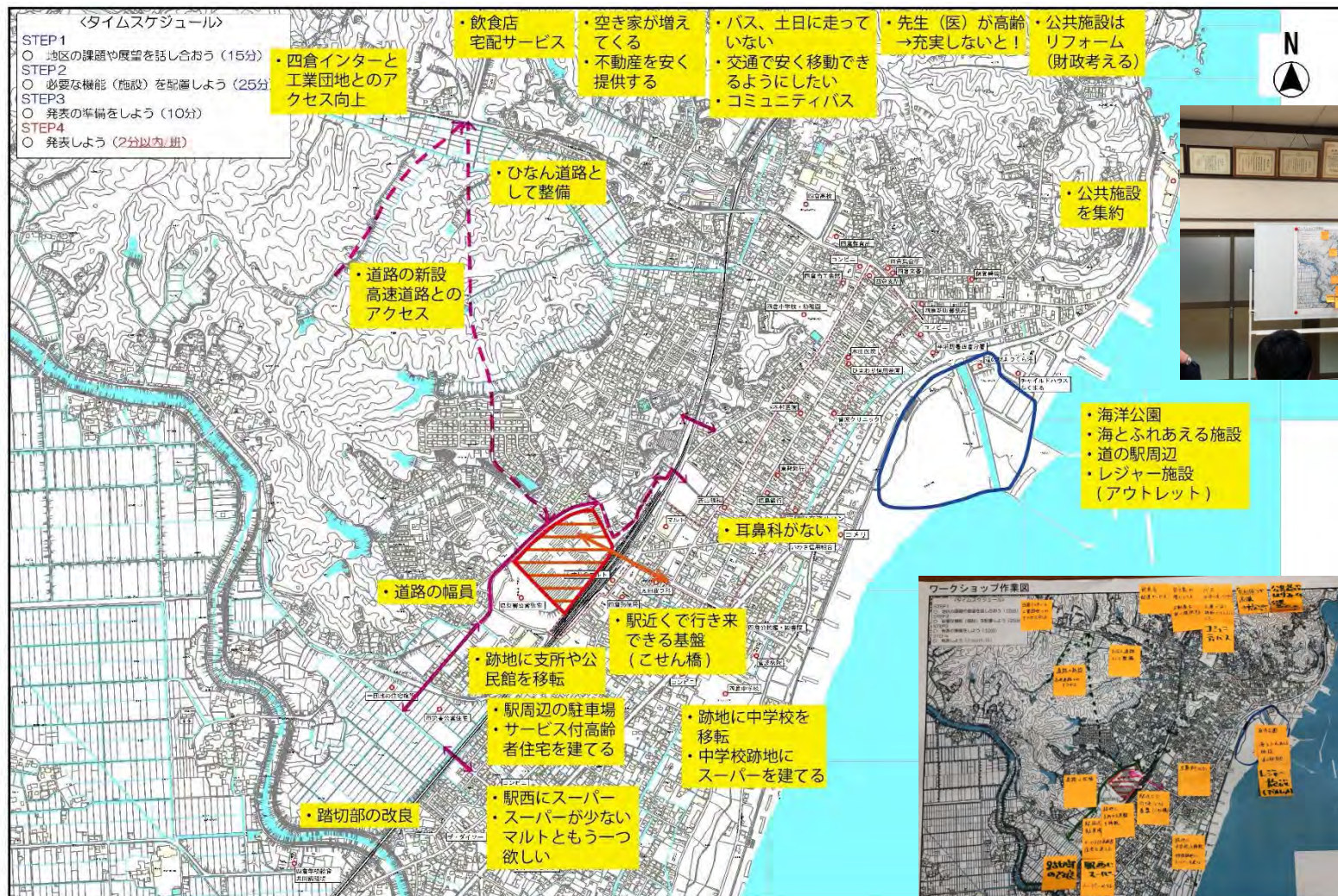
【その他】

- 駅前に使いにくい**小規模な駐車場が点在**していることから、**立地の再編**を検討。
- 郊外は若者が、駅前は高齢者が住みやすいまちづくりを展開する。
- 南部地区全体で考えれば、高齢者を手厚くサポートするシステムを構築し、人が訪れたくなるようなまちを目指したい。
- **公民連携のまちづくり**は重要である。
- **デマンド交通の充実**を図る。
- **植田駅の特急停車**を望んでいる。

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(6) ワークショップでの主な意見（四倉ふれあい市民会議）

(A班)



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(6) ワークショップでの主な意見（四倉ふれあい市民会議）

(A班)

東西アクセスの改善

- 国道6号線へのアクセス道路の整備が最重要課題

駅裏の改良

- 高齢者住宅、スーパー、公共施設（支所、公民館）、学校等の機能を集約化

駅裏改良に伴う施設、跡地の有効活用

- リフォーム、再利用等によるスーパーや医療機関としての活用

↓
【医療機関の整備にあわせて】

- 医療機関の先生が高齢化してきているため、若い先生の斡旋
- 四倉にない耳鼻科等の医療機関の誘致

【その他の意見】

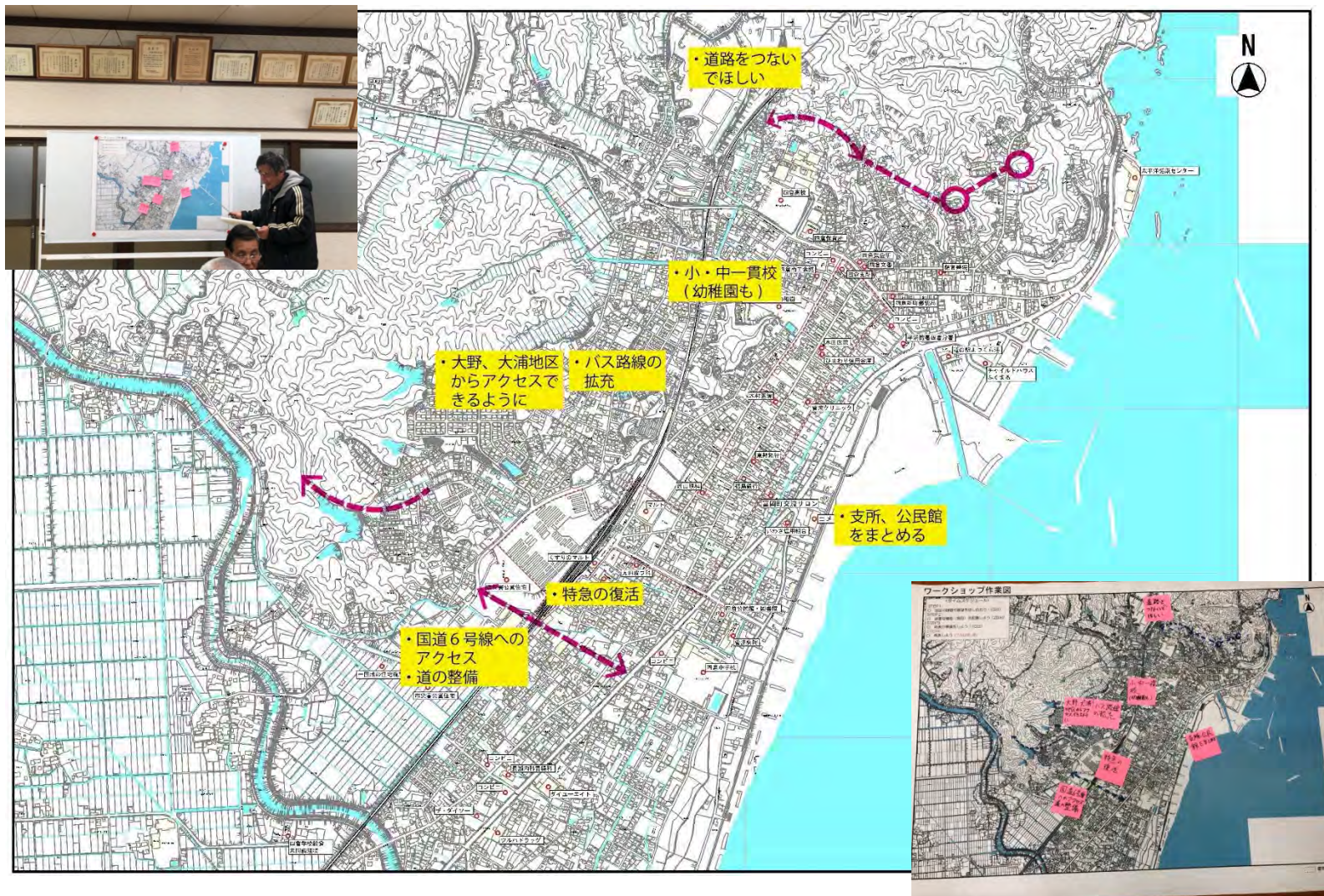
- 【海を活用】 ● 海洋公園、海と触れ合える施設、レジャー施設等を整備できればもっと活気が生まれる

- 【高齢者対応】 ● 街なかの幹線道路を拡張（工業団地から駅裏やI.C.に抜ける道路等）
- 高齢化に伴うコミュニティバス（安く、もしくは無料）の循環
- 宅配サービスの構築
- 空き家の状況把握 → 不動産の斡旋により、若者や高齢者に提供し（安く、もしくは無料）、空き家の解消を図る

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(6) ワークショップでの主な意見（四倉ふれあい市民会議）

(B班)



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(6) ワークショップでの主な意見（四倉ふれあい市民会議）

(B班)

アクセス道路の改善

- 鉄道を挟んだ東西のアクセスがしにくい

公共公益施設の再編

- 支所・公民館の建替え（駐車場の確保）
- 小中学校の再編

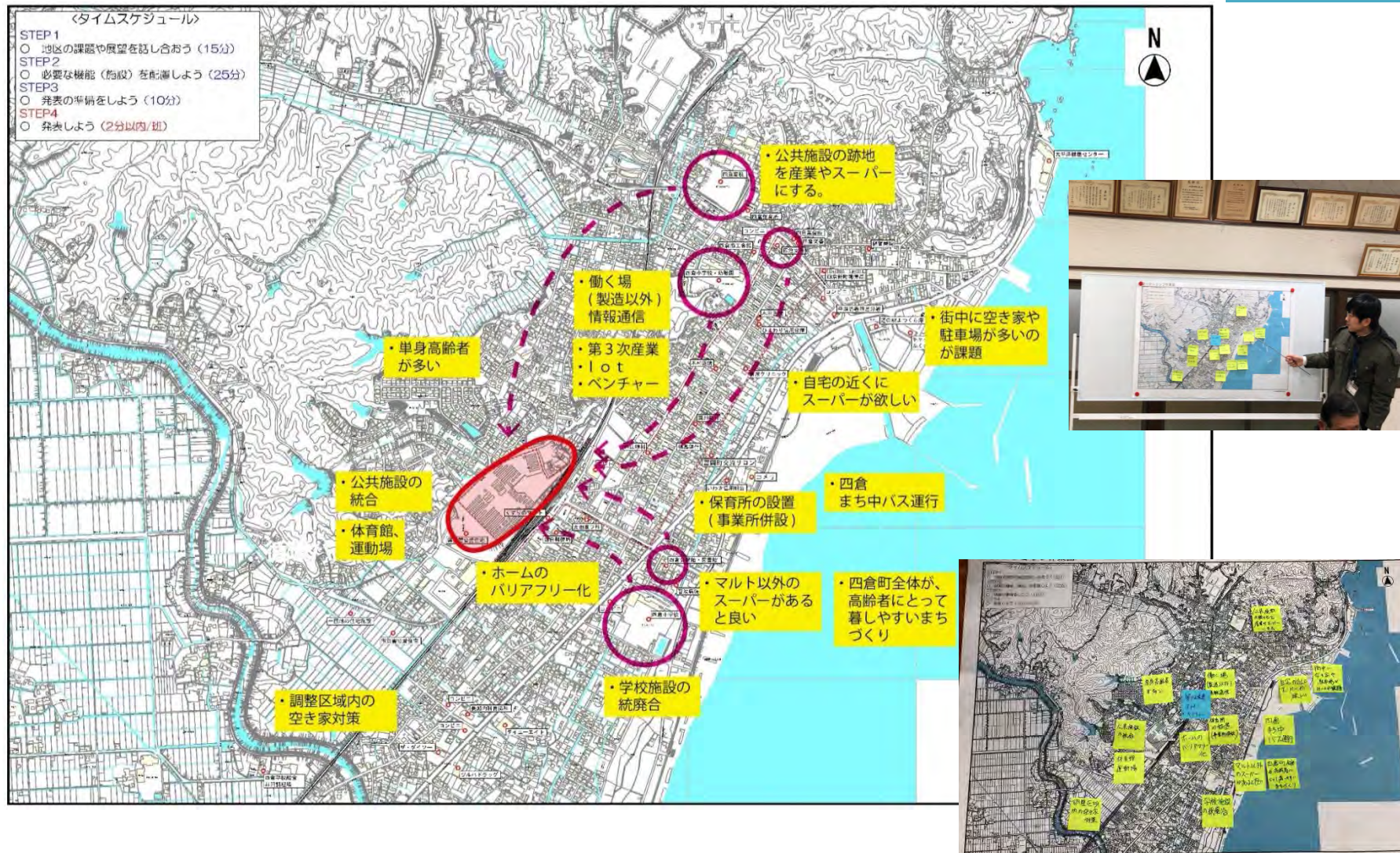
公共交通の利便性向上

- 今後バスをどのように利用していくのか、検討することが緊急の問題
- 四ツ倉駅は緑の窓口がなくなったため、いわき駅に行かないと特急券が購入できない
- 四ツ倉駅はsuicaが使用できない

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(6) ワークショップでの主な意見（四倉ふれあい市民会議）

(C班)



5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等



(6) ワークショップでの主な意見（四倉ふれあい市民会議）

(C班)

仮設住宅跡地の有効利用

- 公共施設（四倉中学校、四倉小学校等）を集約させると便利になる
- 若い人達の働く場やスーパーを誘致する（現在はマルトしかない）
- 高齢者や地区住民のための体育館や運動場の整備

街なかの空き家の解消

- 市街化調整区域を含めた柔軟な対応（まちなかの空き家や駐車場が特に多い）

コミュニティバスの運行

- 有料だと乗らないので無料で運行

【その他の意見】

- 【働きやすい環境づくり】 ● 働く場所に併設した保育所の設置

【高齢者対応】

- 高齢者にとって暮らしやすいまちづくり（街なかだけでなく四倉全体の問題）
- 四ツ倉駅ホームのバリアフリー化（高齢者にとって階段は厳しい）

5. 各地区まちづくり団体とのワークショップ等

(7) 各支所等で実施したポスター掲示の概要

ポスター掲示は、8月21日に開催した「第3回第二次いわき市都市計画マスタープラン等策定委員会」の検討内容等について、広く意見を募集するため、都市計画課窓口をはじめ、市内各12支所、中央台及び泉市民サービスセンターにポスターを掲示し、アンケートを実施（募集）したもの。

- 募集期間 : 平成30年10月5日（金）から 平成30年11月2日（金）まで
- 会 場 : 市内15会場
- 回答数 : 22



小名浜支所での掲示状況

(8) イオンモールいわき小名浜で実施したポスターセッションの概要

ポスターセッションは、各支所等で実施したポスター掲示同様、広く意見を募集するため、多くの市民が集積するイオンモールいわき小名浜において、職員の説明を交えながらアンケートを実施したもの。

- 開催日時 : 平成30年10月20日（土）午前10時から 午後5時まで
- 会 場 : イオンモールいわき小名浜2階（H&M前）
- 回答数 : 80



ポスターセッションの様子

6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査



(1) アンケート調査の概要

アンケート調査は、一般市民各、まちづくり団体などを対象に実施した。

○ アンケート回答総数：183

【アンケート調査項目】

1 回答者の属性

- ① 性別[問1]
- ② 年齢[問2]
- ③ 職業[問3]
- ④ お住まいの地域[問4]
- ⑤ 家族構成[問5]
- ⑥ 居住形態[問6]

2 若い世代の就職先や職業等についての意向

- ⑦ 自分のこどもに（学生であれば自分が）将来、就職してほしい（学生であれば就職したい）職場の立地場所について [問7]
- ⑧ 自分のこどもに（学生であれば自分が）将来、就職してほしい（学生であれば就職したい）職種について [問8] ※複数回答
- ⑨ 就職先を選ぶ理由 [問9] ※該当サンプルが少ないため未記載
- ⑩ 自身が就職するとして、市内にあって欲しい企業 [問10] ※該当サンプルが少ないため未記載

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

- ⑪ 市内にあって欲しい、店舗や飲食店、企業、施設など [問11]
- ⑫ 住んでみたい居住環境（都市機能誘導区域、居住誘導区域、区域外、その他） [問12]
- ⑬ 今後、具体的に住みたい地区 [問13] ※複数回答
- ⑭ 住みたい地区に転居する際の不安や課題 [問14] ※複数回答
- ⑮ 今後の自動車社会からの転換についての意向 [問15]

4 これからの都市づくりについての提案 [自由意見]

6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査

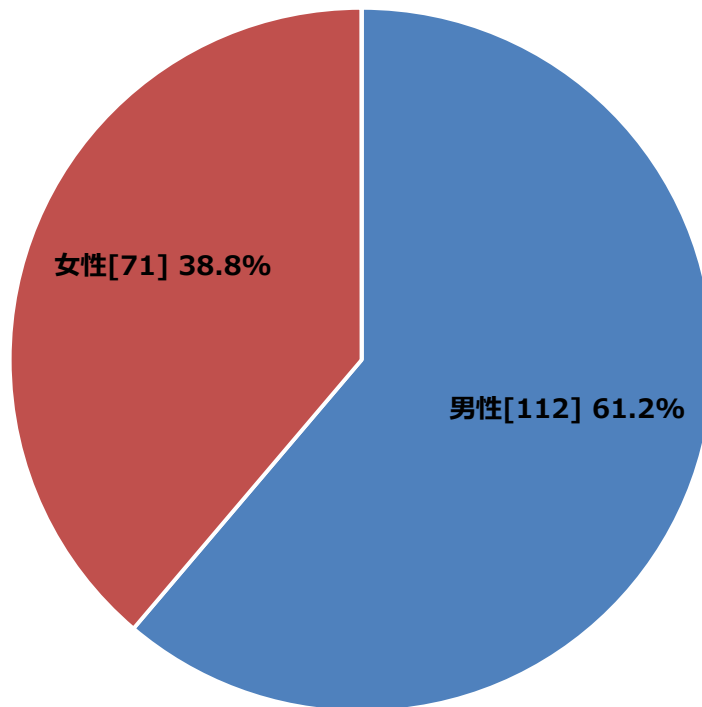


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

① 性別（問1）

- 「男性」の割合が61.2%、「女性」が38.8%となっています。

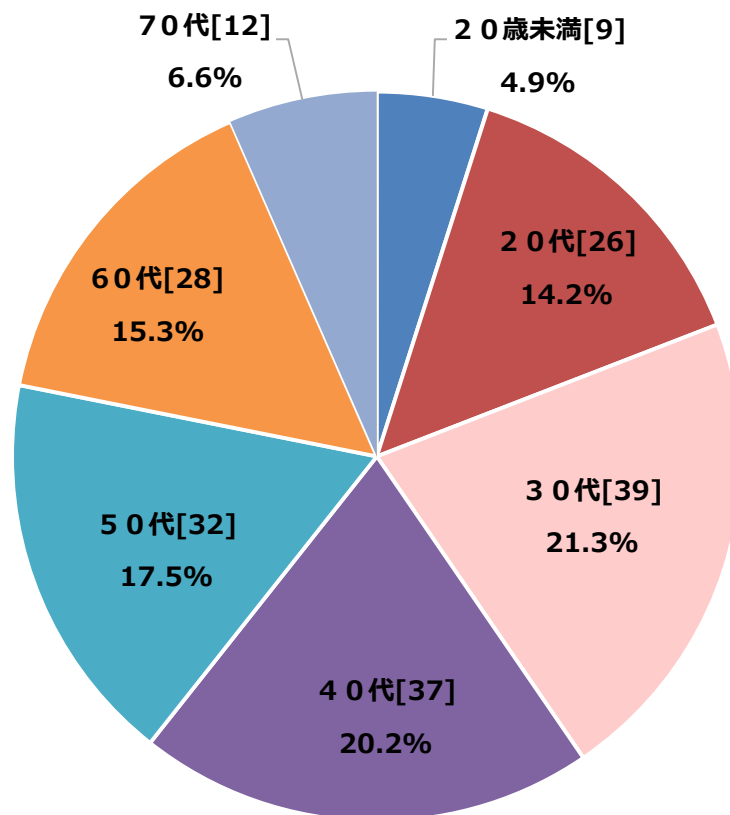


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

② 年齢（問2）

- 「30代」が21.3%で最も高く、次いで「40代」が20.2%となっています。



6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査

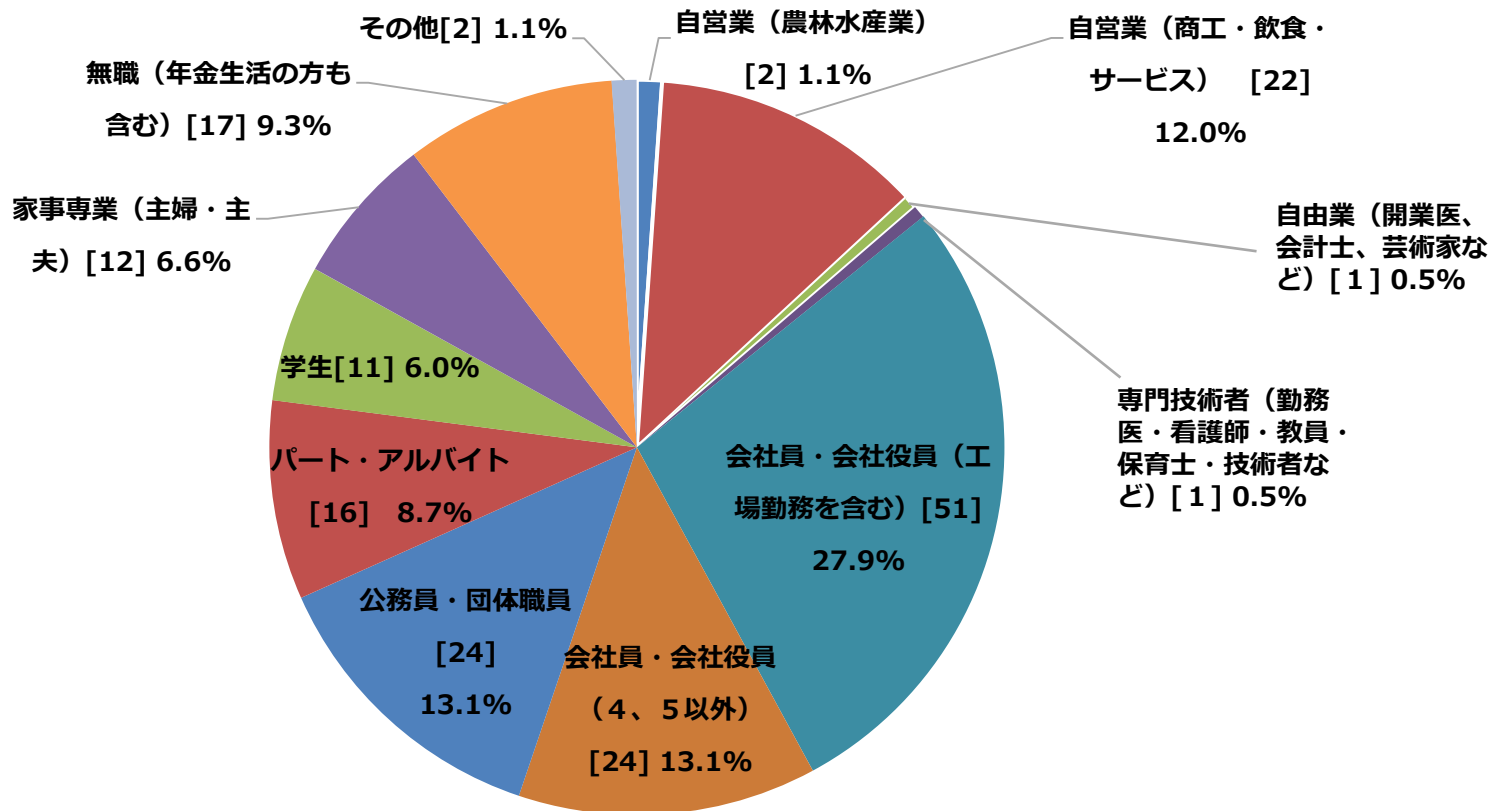


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

③ 職業（問3）

- 「会社員・会社役員（工場勤務を含む）」が27.9%で最も高く、次いで「会社員・会社役員（専門技術者でない）」、「公務員・団体職員」が13.1%、となっています。



6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査

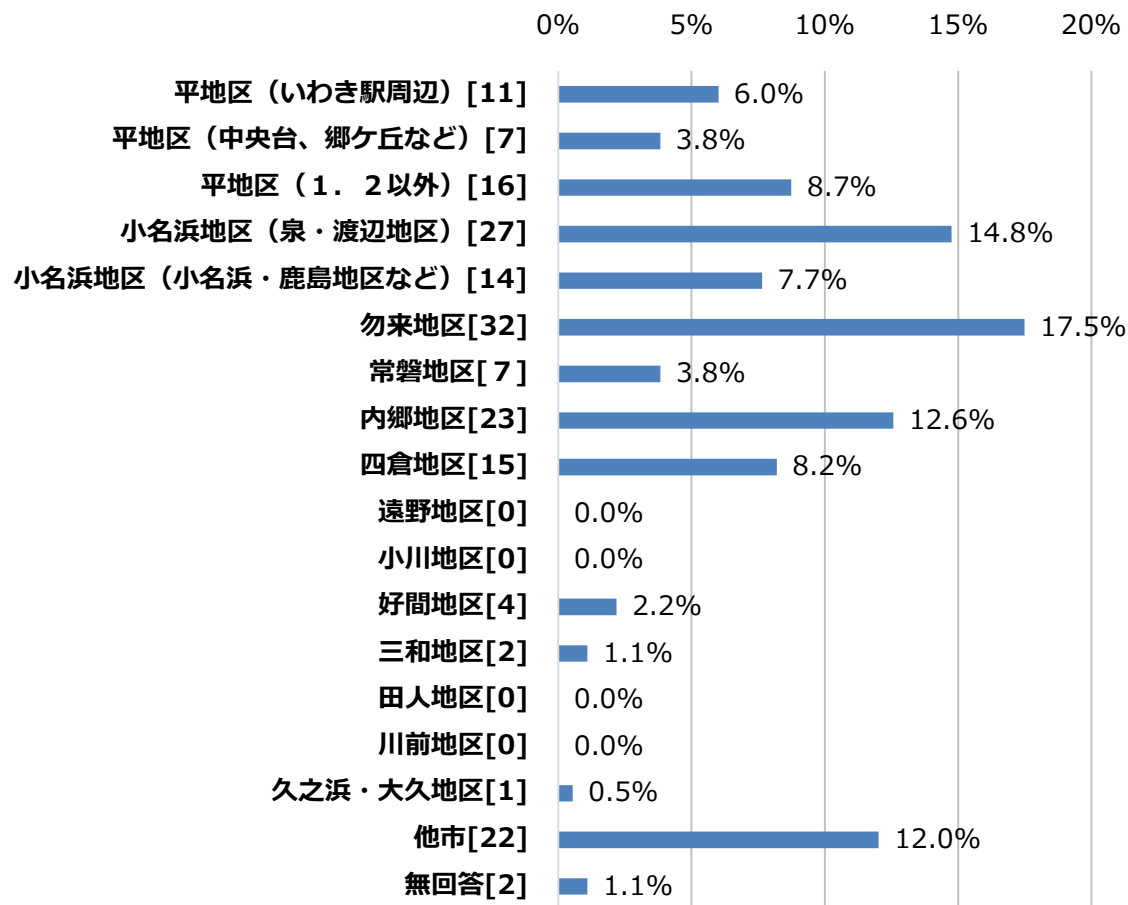


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

④ お住まいの地域（問4）

- 「勿来地区」が17.5%で最も高く、次いで「小名浜（泉・渡辺地区）」が14.8%、「内郷地区」12.6%となっています。



※ [] : 回答者数

6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査

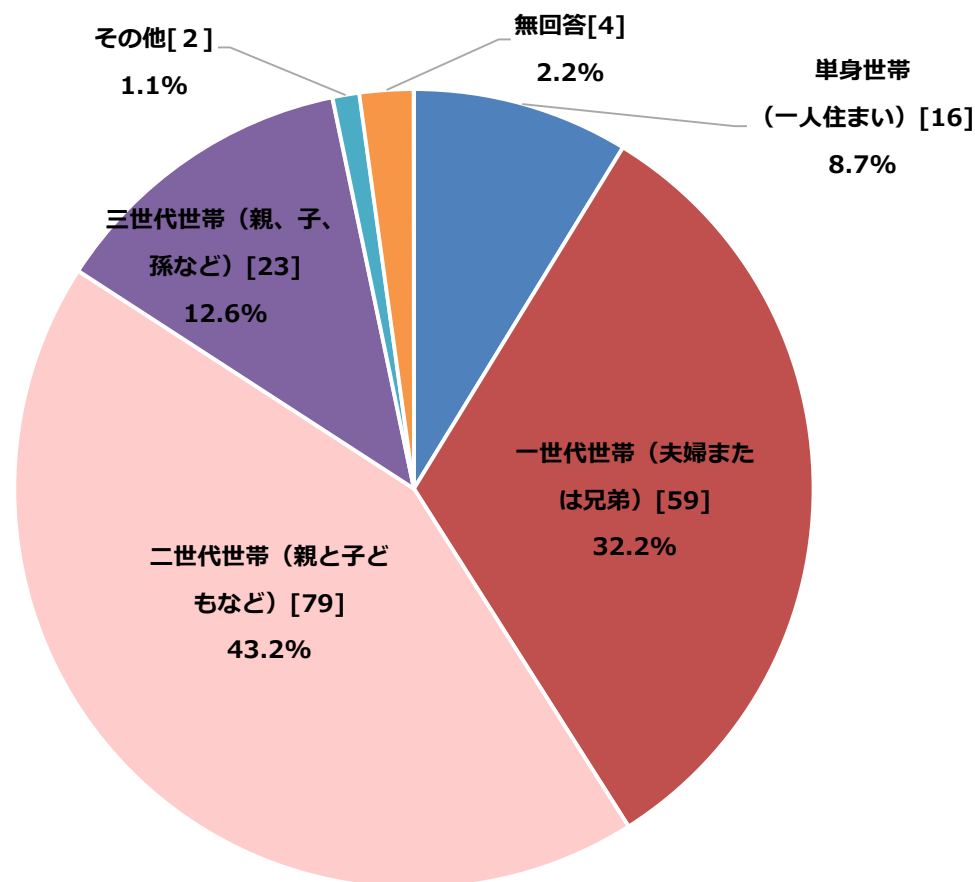


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

⑤ 家族構成（問5）

- 「二世世代世帯（親と子どもなど）」が43.2%で最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦または兄弟）」が32.2%となっています。

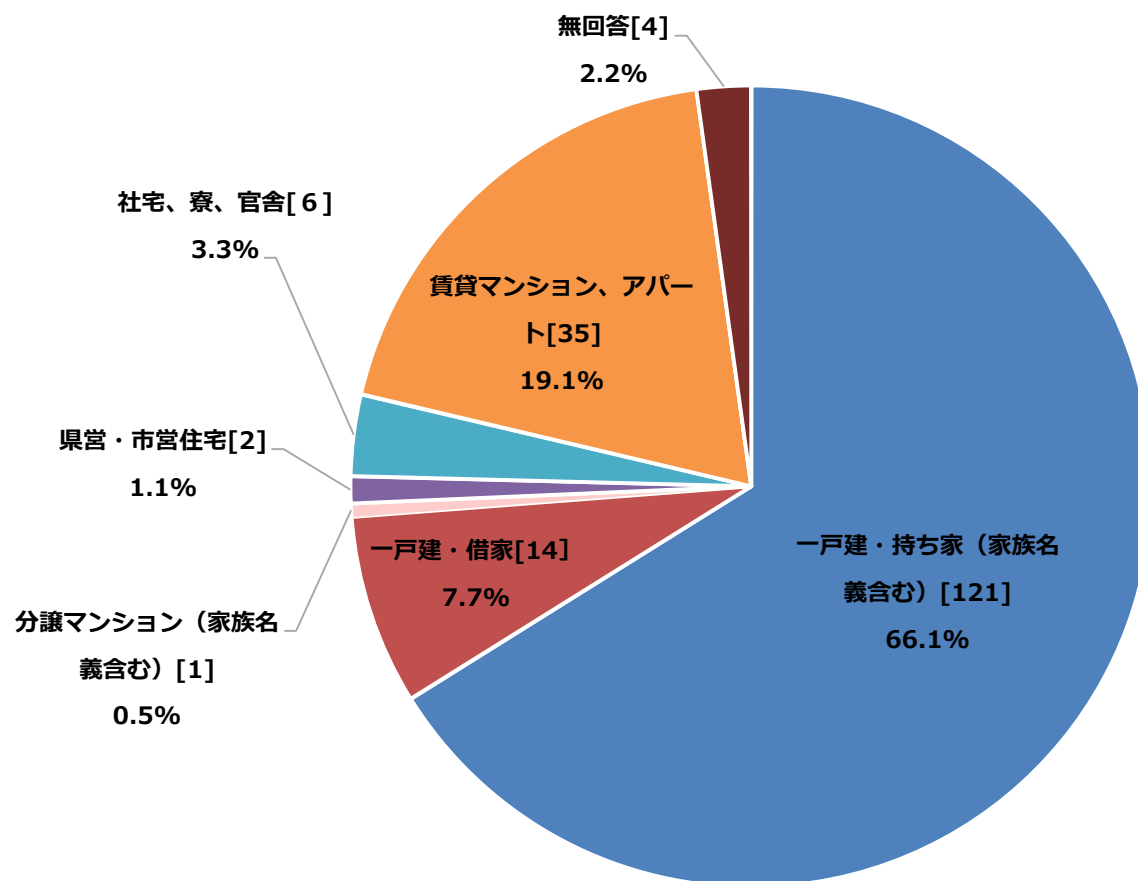


(2) アンケート調査の結果

1 回答者の属性

⑥ 居住形態（問6）

- 「一戸建・持ち家（家族名義含む）」が66.1%、次いで「賃貸マンション、アパート」が19.1%となっています。



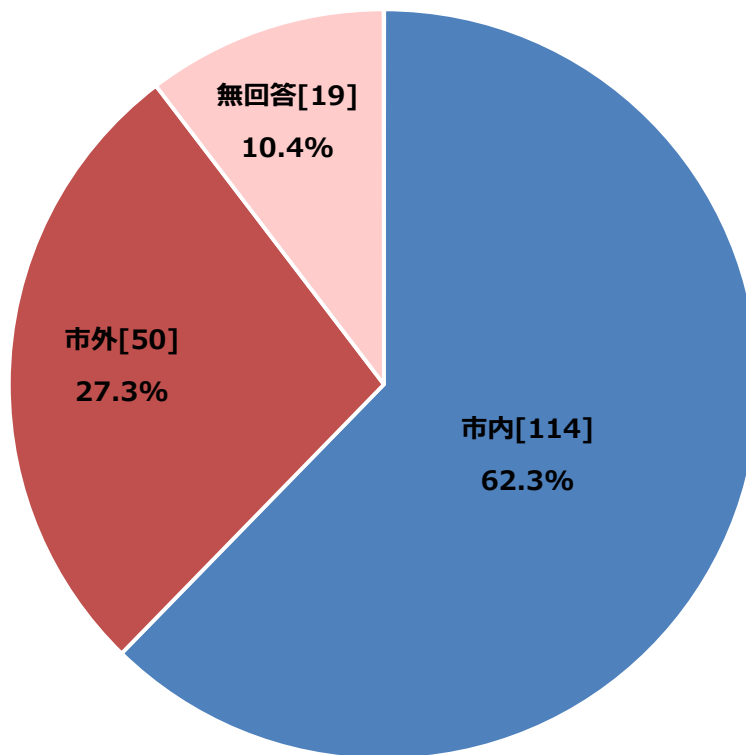
(2) アンケート調査の結果

2 若い世代の就職先や職業等についての意向

⑦ 自分のこどもに（学生であれば自分が）将来、就職してほしい（学生であれば就職したい）

職場の立地場所について（問7）

- 「市内」が全体の6割以上を占めており、回答者の年代層を勘案すると多くの親が、市内に就職してほしいと考えている結果になっています。



(2) アンケート調査の結果

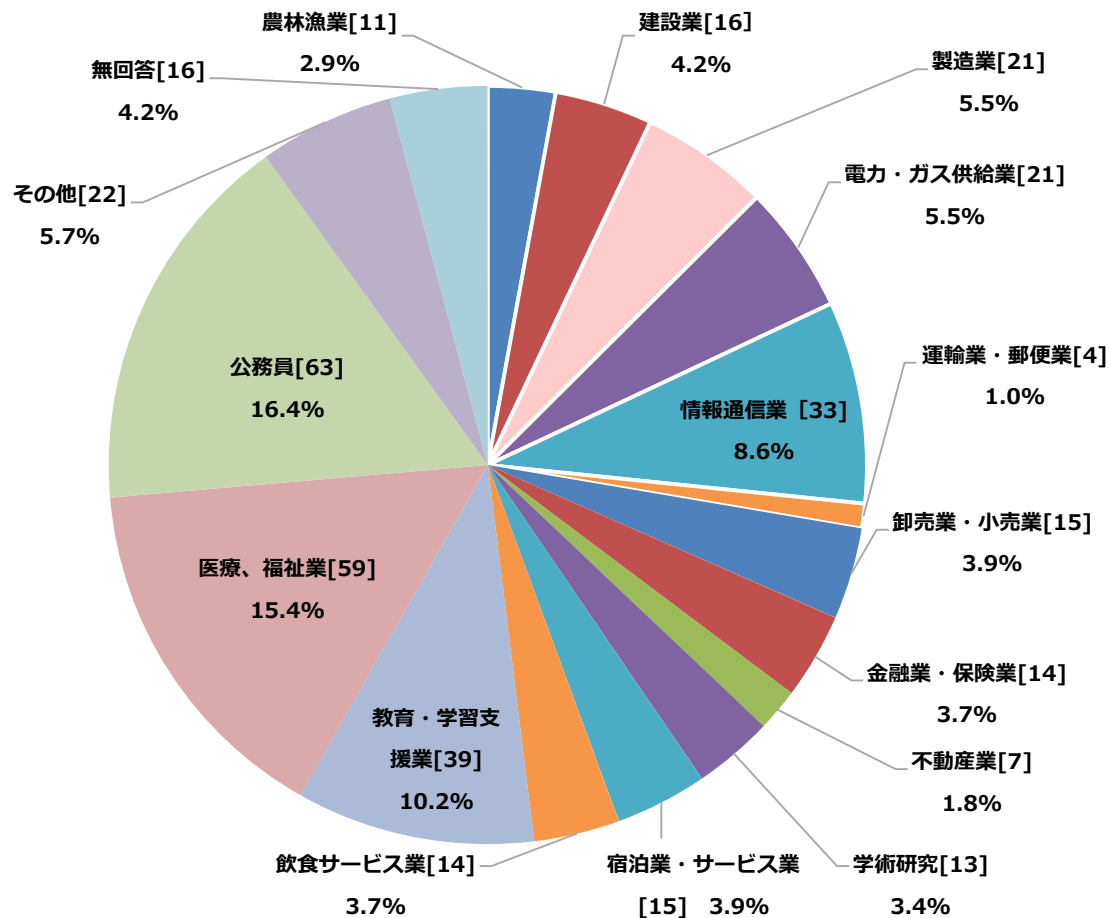
2 若い世代の就職先や職業等についての意向

⑧ 自分のこどもに（学生であれば自分が）将来、就職してほしい（学生であれば就職したい）

職種について（問8）※複数回答

- 「公務員」が最も多く16.4%、次いで「医療、福祉業」が15.4%となっています。

本市経済を牽引している製造業、建設業はそれぞれ5.5%、4.2%と自分のこどもに対する就職意向は、低い結果となっています。



6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑪ 市内にあって欲しい、店舗や飲食店、企業、施設など（自由記載）（問11） 1/2

事務・オフィス系

- ・ 楽天
- ・ 外資系企業
- ・ 仙台ターミナルビル

IT・エンジニア系

- ・ ロボット関連企業
- ・ Google
- ・ IT関連企業

販売・営業・飲食・サービス系

- ・ いわき駅周辺にファストフード、ファミレス
- ・ ラウンドワン
- ・ 日高屋
- ・ 東急ハンズ
- ・ デパート、アウトレットモール
- ・ コストコ
- ・ カラオケ店
- ・ スポーツクラブ（ジム）
- ・ ブックカフェ
- ・ 複合型商業施設
- ・ 成城石井
- ・ 日立グループの企業
- ・ ゴーゴーカレー、てんや
- ・ やよい軒、餃子の王将
- ・ コスメキッチン
- ・ 県内に無い店
- ・ 映画館（TOHOシネマ）
- ・ ゲームセンター
- ・ ビック
- ・ 三井不動産商業マネジメント(株)
- ・ 通販業者
- ・ レジャー施設
- ・ 屋台村
- ・ ZARA
- ・ オシュマンズ
- ・ くら寿司
- ・ CHIANTI
- ・ 金の目（ラムしゃぶ）
- ・ フレッシュネスバーガー
- ・ WEGO
- ・ PLAZA
- ・ 幸せのパンケーキ
- ・ ビュッフェ形式の飲食店
- ・ ペット専門ショップ
- ・ だがし屋
- ・ LUSH
- ・ CD・DVDショップ
- ・ アカチャンホンポ

(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑪ 市内にあって欲しい、店舗や飲食店、企業、施設など（自由記載）（問11） 2/2

医療・介護・研究・教育系

- ・ 大学（看護系を含む国立、公立大学）
- ・ 医療がすぐ受けられる施設
- ・ 健康管理の施設、リハビリ施設を兼ねた健康増進施設
- ・ 学術研究機関
- ・ ポピンズナーサリースクール
- ・ キッズニア

工場・物流系

- ・ 自動車部品企業
- ・ 輸入関係企業

その他（公共的施設など）

- ・ mamaシェア
- ・ 子育てタクシー
- ・ 総合博物館
- ・ 遊園地
- ・ アリーナ、コンベンションホール
- ・ 小さい子どもがのびのび遊べる施設
- ・ バスケ、スケボーができる公園
- ・ 総合運動場
- ・ オリンピック基準等を満たすスポーツ施設
- ・ サバイバルゲーム施設（弘前市のようなもの）
- ・ 母親のサポート施設
- ・ サッカースタジアム
- ・ 幼稚園、図書館
- ・ コンベンションホール
- ・ 先進医療を導入している病院、救急病院
- ・ 総合型社会教育施設
- ・ 公共学習施設
- ・ 長距離フェリー
- ・ 複合型高層マンション
- ・ Wi-Fiスポット
- ・ 地下鉄
- ・ 学童施設
- ・ NPOフローレンス

6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査

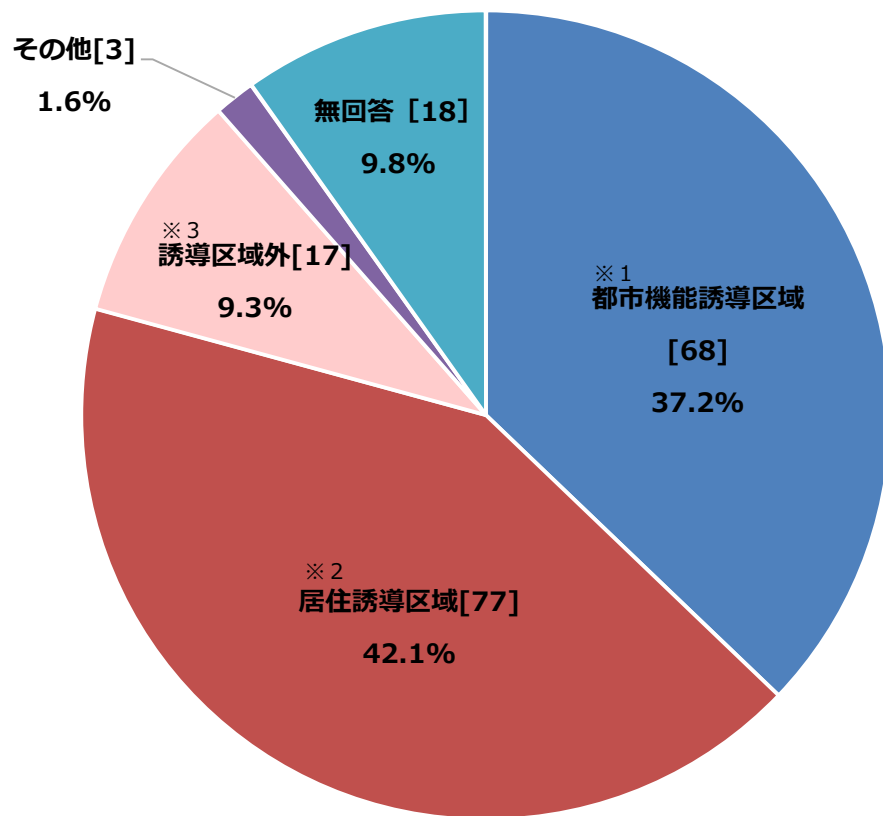


(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑫ 住んでみたい居住環境（都市機能誘導区域、居住誘導区域、区域外、その他）（問12）

- 「居住誘導区域」が42.1%で最も高く、次いで「都市機能誘導区域」37.2%となっており、回答者の約8割が、より利便性の高い居住空間に住んでみたい（住みたい）という結果になっています。



【アンケート設問上での選択肢の内容】

- ※1 居住空間は狭くなるが（マンション・アパート等）、駅周辺で公共交通が充実しており、医療・商業等の都市機能が集積している地区。
- ※2 ある程度の居住空間は確保できるが（戸建て）、駅から若干離れており、医療・商業等の都市機能の持つ地区へは、徒歩や自転車等での移動が必要となる地区。
- ※3 山や川などの自然や緑を身近に感じることができ、十分な居住空間確保できるが、駅からは離れており、医療・商業等の都市機能を持つ地区へは、バス等での移動が必要となる地区。

6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査

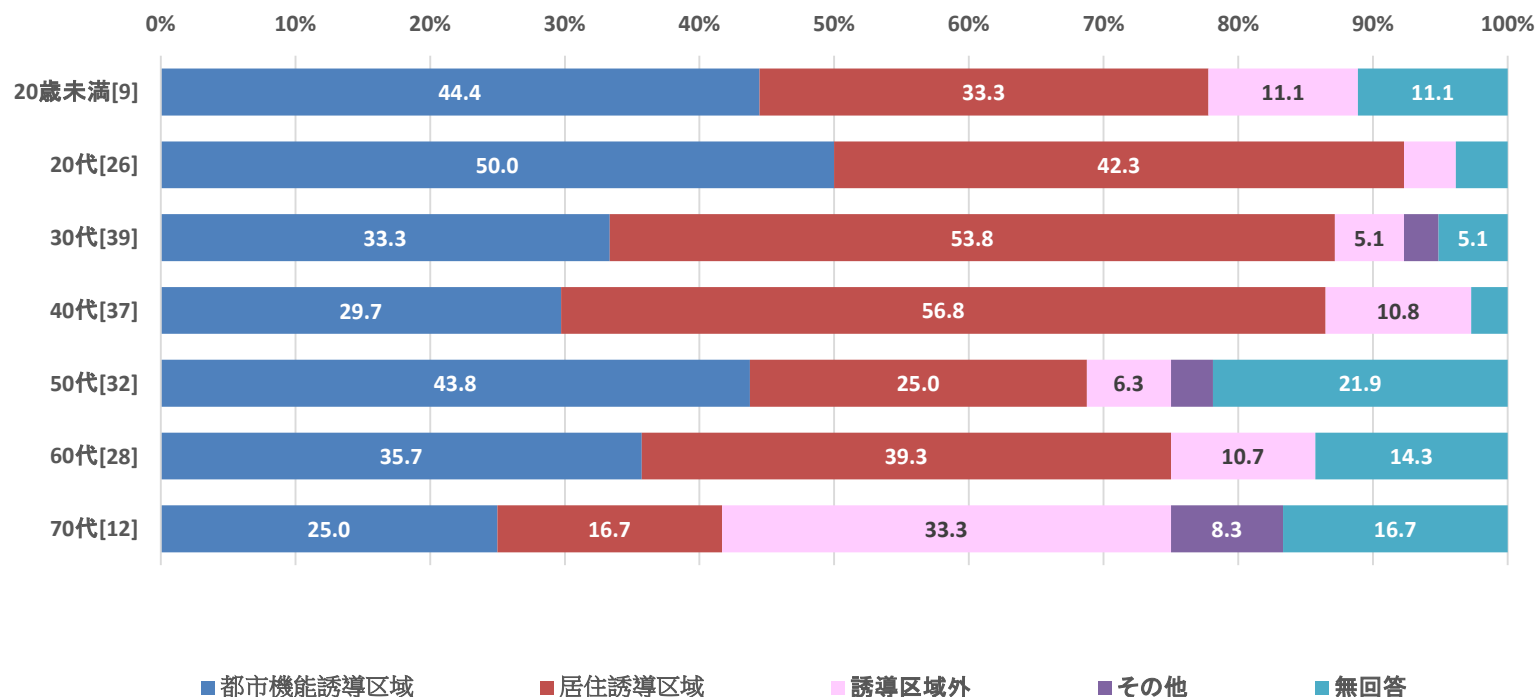


(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑫ 住んでみたい居住環境（都市機能誘導区域、居住誘導区域、区域外、その他）（問12）【年代別】

- 「20歳未満から60代まで」の年代では、概ね7割の方が、都市機能などが集積する利便性の高い居住環境に住んでみたい（住みたい）という結果になっています。
- 一方、「70代」の年代では、半数以上の方が、都市機能などの集積する利便性の高い居住環境よりも、ゆとりある居住環境に住んでみたい（住みたい）という結果になっています。



6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査

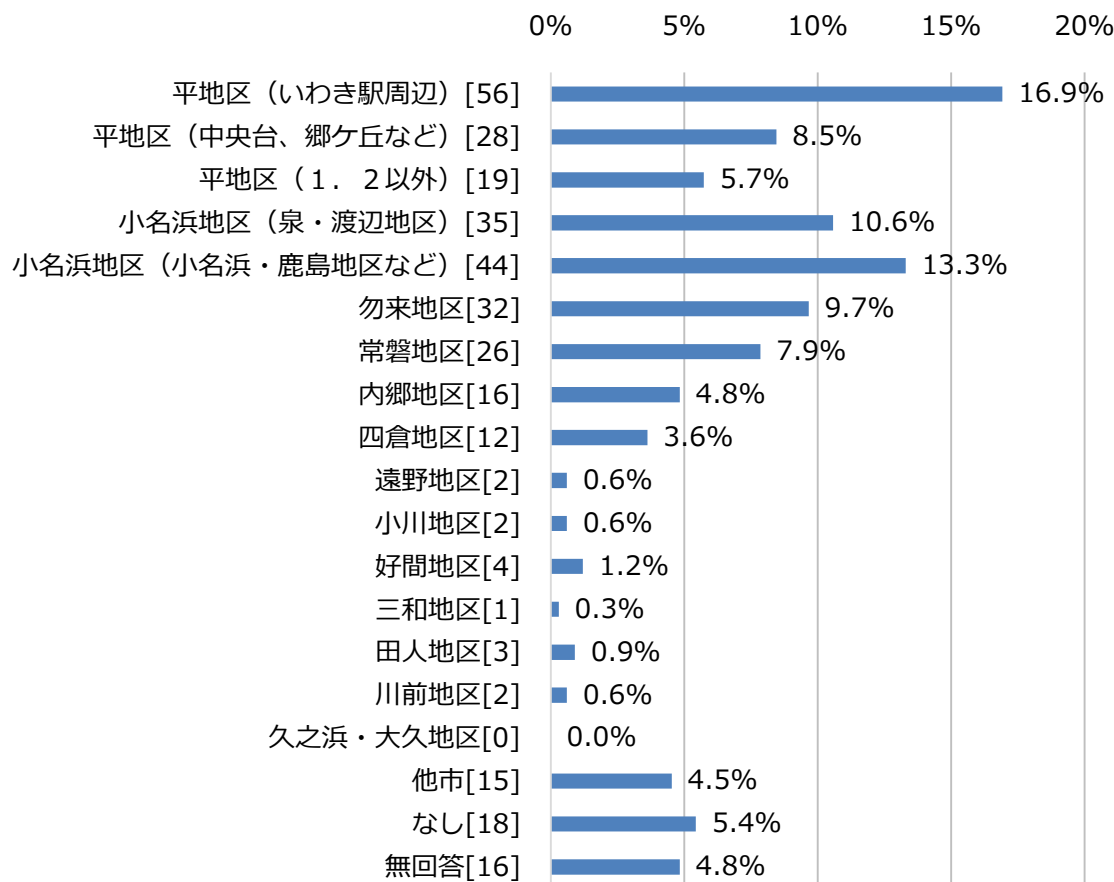


(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑬ 今後、具体的に住みたい地区（問13）※複数回答

- 「平地区（いわき駅周辺）」が16.9%で最も高く、次いで「小名浜地区（小名浜・鹿島地区など）」が13.3%、次いで「小名浜地区（泉・渡辺地区）」が10.6%、「勿来地区」9.7%の順となっています。



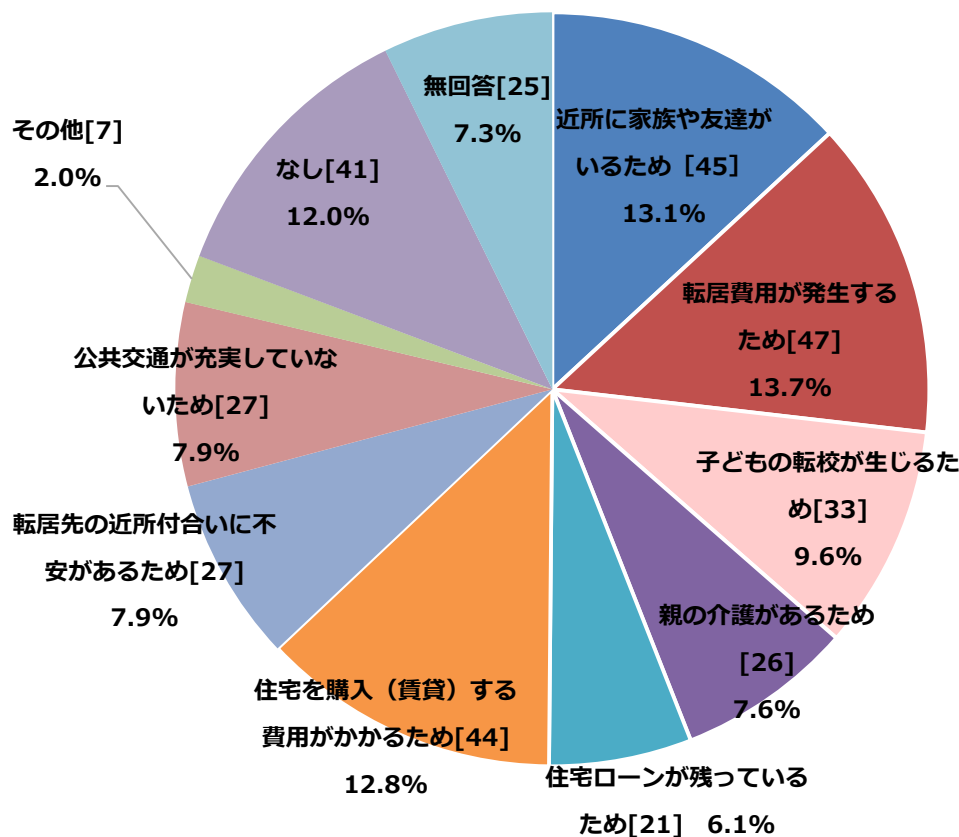
※ [] : 回答数

(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑭ 住みたい地区に転居する際の不安や課題（問14） ※複数回答

- 「転居費用が発生するため」が13.7%で最も高く、次いで「近所に家族や友達がいるため」が13.1%、「住宅を購入（賃貸）する費用がかかるため」が12.8%となっています。

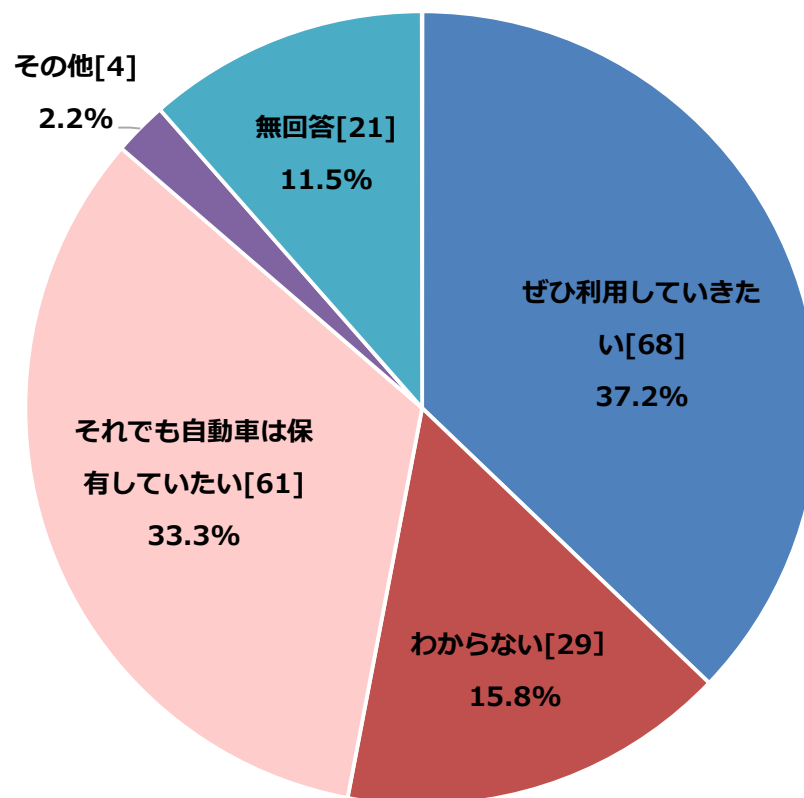


(2) アンケート調査の結果

3 今後の住生活における利便性や住環境等についての意向

⑮ 今後の自動車社会からの転換についての意向（問15）

- 「ぜひ利用していきたい」が37.2%で最も高く、次いで「それでも自動車は保有していきたい」が33.3%、「わからない」が15.8%の順となっています。



6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

4 これからの都市づくりについての提案【自由意見】 1/6

分類	意見
ひと	● 従来の延長線上で人口減、高齢化に対して大丈夫なのか。実行プランが大切であり民間も含めて協力していく。 [50歳代 男性]
	● 若い人の市外流失防止だけでなく山も海も有しているいわきの資源の魅力をもっとアピールして、市外の方のいわき市への移住促進にもっと力を入れるべきではないかと思います。他都市ではシティ・マーケティング等を導入し、市の魅力向上を図ること、また、市域が広いという特色を活かし、多様な移住生活モデルをアピールしていくことにより、他都市との交流拡大を図っていくのも一つの方向性ではないかと思います。[50歳代 男性]
	● 子育て世代、一人暮らしの老人が住みやすい環境づくりが必要。（区画整理含めて）[50歳代 男性]
	● これからの複雑化・高度化する社会の課題解決に向けて、学びを還元できる都市として発展して頂きたい。 ➢ 特に喫緊の課題である学校教育の予算を大きく増額し、人員配置の充実、教育内容に関わる施設・設備の更新、整備など教育環境づくりに力を注いで頂きたい。 ➢ また、課外活動である「部活動」への「地域社会の多様な人材の活用」を実現すべく、統合型スポーツクラブ、社会教育施設の大幅なバックアップ、人材バンクの創設など、予算を計上頂きたい。[20歳代 男性]
	● 市内のみならず、県内外からの交流人口増加や市内への転居も進むような魅力ある政策を行って頂きたい。[40歳代 男性]
	● リサイクルプラザクリンピーの家は環境教育にすばらしい施設だと思います。遠足や課外学習に利用してもらえたらよいのではないかと。[40歳代 女性]
	● 子どもやご老人の方も安心して暮らせるような事を考えていくと良いと思う。[20歳未満 男性]

6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

4 これからの都市づくりについての提案【自由意見】 2/6

分類	意見
まち	● 街灯がほしい。（市役所周辺）[30歳代 女性]
	● 電車や路線バスの本数を多くしてほしい。[20歳代 男性]
	● 居住誘導区域の設定にあたっては、これまでいわき市が実施してきた政策の連続性を考えると、既に事業が実施された土地区画整理事業や地区計画により開発された住宅地は、居住誘導区域に設定すべきと思います。[50歳代 男性]
	● いわき市は広域なこともあり、移動手段の一つとして、デマンドオンタクシーや自動運転車の導入についても先進事例の都市の状況、技術開発見通し等の研究を進めた方がよいのでは。
	● 都市機能誘導区域や居住誘導区域以外に家を構えていらっしゃる市民の中には、先祖代々の土地であったり、居宅を移せない事情をお持ちかもしれず、そのような方でも、これらの交通手段があれば高齢になっても安心して暮らせる社会が到来する可能性もでてくるかもしれないと思います。[50歳代 男性]
	● 再開発、小中高の統合など、まちの中心部に戻すことで学生が集まる。人が集まる仕組みをつくってほしい。F Cサッカー場は必ず小名浜へ。[50歳代 男性]
	● 勿来方面（植田方面）にファミレスがなく、実家（植田）の時に外食に困る。食品（ファミレスetc）を充実させてもらいたい。[30歳代 女性]
	● 千葉の一宮のような海を活かして楽しそうなまち。何でもありではなくてもいいので、何かに特化してオンリーワンで他地区からも住みたいと思って頂けるまち。サーフシティなんかはいいのでは？[50歳代 男性]
	● J Rを利用し、人の交流がスムーズに行われるよう J Rを都市の背骨のように活用する都市づくりが必要と考える。[70歳代 男性]
	● 税金・アパート代・土地代が高すぎる。[20歳代 女性]
	● 若者向けファッション店などを作ってほしい。[20歳代 女性]

6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

4 これからの都市づくりについての提案【自由意見】 3/6

分類	意見
まち	● 山間地域における人口減少への歯止め、居住人口の増加を図るべく、生活インフラや交通インフラの整備、各地区をつなぐ交通インフラネットワークの構築など生活圏の再生にもご尽力頂きたい。[20歳代 男性]
	● 居住面では特に、買い物先等の店舗が乏しいと感じる。イオンモールの開業は魅力ある施設として成功していると思う。半面、デパートや百貨店、いわき市近辺には見られない店舗のある水戸・ひたちなか周辺や郡山への買い物客の流出がある。百貨店やコストコ、アウトレットモール、都市部にある成城石井（スーパー）など、「近隣になく人々が行ってみたい」と思える店舗が必要ではないかと思うし、それらの人々を呼び込むことで、市内はもとより県内外からの集客が大幅に伸びると思う。[40歳代 男性]
	● 平市内では、並木通り再開発の話を聞くと、大規模都市にみられる商業施設やフィットネス施設、展望台とホテルやマンションが一体化した高層複合ビル存在を望みたい。平市街のランドマークに相応しいし、居住人口密度向上や人々の交流の活性化が図れると思う。[40歳代 男性]
	● 小名浜周辺には観光施設が多くあるが、泉駅とのアクセスが悪い。貨物運搬に使われている泉－小名浜線を昔のように貨客列車に利用してはどうかと思う。東京近郊から電車で来る人々がアクセスしやすくなり、観光客増も期待できる。また、現在整備中の小名浜東港の観光利用も期待したい。[40歳代 男性]
	● 錦東小から錦中までが暗いので、外灯を付けてください。[20歳未満 女性]
	● 植田駅まで自転車で通学できるように自転車が安心して通れる歩道を作ってください。[20歳未満 女性]
	● イオン小名浜でイオンモールウォーキングというように歩かせる取り組みをしているが、日常的に歩けるようにしてほしい。歩くこと、自転車に乗ることは健康に良いし、将来の介護保険費の抑制になります。小・中・高生に万歩計を持たせ、日頃どれだけ歩いていないか理解させたほうがよい。[20歳未満 女性]
	● 道路周囲に商店等を誘致して夕方でも少し歩けるようにしてほしい。外灯が少なすぎて危険です。少なくとも中学生の部活の車で送り迎えがいらぬくらい明るいほうがいい。[30歳代 女性]
	● いわきは、平地区にいろいろな面で集中しすぎだと思うので、うまく分散すれば良いと思う。[40歳代 女性]

6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

4 これからの都市づくりについての提案【自由意見】 4/6

分類	意見
まち	● 長年、勿来地区に住んでいます。不満は特にありませんが、病院が少ないというところが少し考えるところがあります。[40歳代 女性]
	● 夜間の救急病院を増やしてほしい。[50歳代 男性]
	● 緑が多い町にしてほしい。海岸沿いが堤防ばかりで海が見えないので、海沿いの施設を整備してほしい。[30歳代 女性]
	● 安全で安心できる都市にしてほしい。[20歳代 女性]
	● 箱物ありきではないですが、勿来支所を移転することによっての再開発は必要と思える。[60歳代 男性]
	● 植田町をコンパクトシティ化するには？ J R 植田駅に特急を停めること。[60歳代 男性]
	● 交通手段の多様化が重要と考える。[60歳代 男性]
	● 車がないと行けないような場所に店などが無秩序にできて一方で公共交通の往来の多い場所や各駅の周辺には空き家、空き地が目につくので、そうした点を改善していただくと自分のような車を持たない者でもより生活しやすくなると思います。[40歳代 男性]
	● 天神岬のような大きい公園がほしい。[30歳代 女性]

6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

4 これからの都市づくりについての提案【自由意見】 5/6

分類	意見
しごと	● 二次・三次産業の活性化にあたっては、市外企業の誘致ではなく、起業による新たなビジネス創出の支援（人材育成含む）という産業創出にも取り組んでいく必要があると思います。[50歳代 男性]
	● 労働面では多様な企業が市内に存在するが、日立のような総合電機メーカーや、トヨタ、日産等自動車会社のグループ企業の誘致、バッテリーバレーを目指すのであれば既存電池メーカー企業の増設を推進し、労働人口の増加・既存企業の更なる活性化を図ってはどうか。[40歳代 男性]
	● 小名浜港については、重要港湾の機能を更に拡充するために、フェリー航路の設置や観光船の寄港誘致、石炭だけでなく貨物類の輸出入機能の増強も図ってはどうか。（私の勤務先の電池材料は現在、横浜港まで陸路運搬し、船便で北米に輸出している。物流に苦慮している同様の企業は市内に複数あるだろうし、市にとっても発展のチャンスロスになっている。）[40歳代 男性]
	● 住民同士が繋がれるようにAsMamaの子育てシェアやママサポが利用できるようにしてほしい。助け合える仲間がほしい。見つけたい。[40歳代 女性]
	● UNIQLO平店で職場体験ができるようにしてほしい。いわき市内の事業所でも職場体験ができるようにしてほしい。いわきには優れた企業がたくさんあるようだが、よくわからない。これから成長する企業かもしれないので、いわき市が働きやすい職場を紹介してはどうか。[40歳代 女性]
その他	● 生物のイベントをいわき市で開催してほしい。[20歳代 男性]
	● 立地適正化計画を策定したために、逆に郊外化が進むのではないかと懸念される ➢ 誘導区域内の地価上昇により、相対的に誘導区域外の地価が下落➡立地適正化計画では規制ではなく誘導であるため、開発に対して拘束力が弱い➡結果、誘導区域外で土地売買され開発が進むのではないかと考えられるのは税の不均一課税が誘導➡規制への転換ではないか（特に市役所職員はリスクを承知した上で事務を進めるべき）。[40歳代 男性]

6. 各まちづくり団体等を対象としたアンケート調査



(2) アンケート調査の結果

4 これからの都市づくりについての提案【自由意見】 6/6

分類	意見
その他	● 若者が集まるまちづくり・仕組みづくりが必要。[20歳代 男性]
	● 今後のマスタープランには目標ビジョン展望が欲しい。[60歳代 男性]
	● 県境北茨城市との連携を考慮した計画を考えてほしい。[60歳代 男性]
	● コストを下げた計画と幸せに暮らせる生活環境整備を考えてほしい（医療・学業：レベルUP）。[60歳代 男性]
	● 各地域の都市計画マスタープランに対する考え方を十分考慮してほしい。[60歳代 男性]
	● 次世代のために「人とまちが輝く煌めきある都市」を目指して頑張してほしい。[60歳代 男性]
	● これからの複雑化・高度化する社会の課題解決に向けて、学びを還元できる都市として発展して頂きたい。 ➢ 特に喫緊の課題である学校教育の予算を大きく増額し、人員配置の充実、教育内容に関わる施設・設備の更新、整備など教育環境づくりに力を注いで頂きたい。 ➢ また、課外活動である「部活動」への「地域社会の多様な人材の活用」を実現すべく、統合型スポーツクラブ、社会教育施設の大幅なバックアップ、人材バンクの創設など、予算を計上頂きたい。 [20歳代 男性]
	● 老若男女すべての世代にやさしいまちを希望します。[50歳代 男性]
	● ハード面での整備より環境の整備を[60歳代 女性]
	● 自分が学生だった頃と比べても急激に良い方向へと変化していると思います。いわきの良い部分を残しつつ、さらに住みやすい町になっていけばと考えます。[20歳代 男性]
	● 全市的なまちづくりだけではなく、各地区を配慮した小さなまちづくりの視点もマスタープランに位置づけるべきと考える。